

官報號外

明治四十三年二月十三日 日曜日 印刷局

○第二十六回 衆議院議事速記録第九號

明治四十三年二月十二日(土曜日)午後一時九分開議

議事日程 第八號 明治四十三年二月十二日

午後一時開議

第一 地租條例中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第二 宅地地價修正法案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第三 相續稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第四 通行稅法案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第五 酒精造石稅徵收猶豫及免除ニ關スル法 律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第六 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第七 織物消費稅法案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第八 賣藥稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第九 砂金採取地稅法案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十 鑄業法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十一 登錄稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十二 取引所稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十三 狩獵法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十四 民事訴訟用印紙法中改正法律案(政 府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十五 印紙稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十六 商事非訟事件印紙法中改正法律案 (政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十七 行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル 法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十八 帝國大學特別會計法中改正法律案 (政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)
第十九 明治四十三年度歲入歲出總豫算案	第一 読會ノ續(委員長)
第二十 (第一號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案	第一 読會ノ續(委員長)
第二十一 (特第一號)明治四十二年度各特別會計歲入歲出 豫算追加案	第一 読會ノ續(委員長)

第二十二

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔ト爲ルヘキ契約ヲ
爲スヲ要スル件

第二十三

(特第一號)明治四十一年度特別會計歲入歲出豫
算追加案

第二十四

非常特別稅法中改正法律案(衆第一四號)(大西五
三名) 提出

第二十五

非常特別稅法中改正法律案(衆第一五號)(島田三
郎君外五名) 提出

第二十六

非常特別稅法中改正法律案(衆第一六號)(島田三
郎君外五名) 提出

第二十七

鹽專賣法廢止法律案(島田三郎君外五名) 提出

第二十八

第一讀會(書記朗讀) 東京市區改正條例中改正法律案
議長(長谷川純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

第二十九

第一讀會(書記朗讀) 明治四十一年度豫備金支出ノ件
明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件

第三十

第一讀會(書記朗讀) 明治四十一年度豫備金支出ノ件
明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件
明治四十一年度特別會計豫備金ニ於テ豫算超過
及豫算外支出ノ件

第三十一

第一讀會(書記朗讀) 一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
豫算案ニ對スル修正案

第三十二

第一讀會(書記朗讀) 提出者 大石正己君 犬養毅君 武富時敏君
島田三郎君 高木正年君 細野次郎君
關口安太郎君 田川大吉郎君 小久保喜七君
藏原惟郭君 駒田小次郎君

第三十三

第一讀會(書記朗讀) 提出者 木村省吾君
加藤政之助君

第三十四

第一讀會(書記朗讀) 提出者 新聞社、通信社電話料金改正ニ關スル建議案
大橋賴摸君 駒田小次郎君

第三十五

第一讀會(書記朗讀) 提出者 木村省吾君
新橋賴摸君 駒田小次郎君

三士 忠造君 鈴木 力君 石橋 爲之助君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

利根川改修工事年限短縮ニ關スル建議案

利根川改修工事年限短縮ニ關スル建議案

稻村 植場 平君 稲村 植場 平君

須藤 嘉吉君 矢島 中君

武藤 金吉君 加藤 政之助君

ト部 喜太郎君 ト部 喜太郎君

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、御詔リヲ致シマス、東條良平君ヨリ病氣

付今十二日ヨリ二週間請暇ノ願出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト……

○東條良平君 取消シマス

○議長(長谷場純孝君) 唯今東條良平君が病氣全快ノ上出席シテ取消スト云フコ

トデゴザイマスカラシテ、今ノ詔問ハ取消シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト……

○議長(長谷場純孝君) 取消シマス

○佐々木安五郎君 關係シテ居リマス

○佐々木安五郎君 關係シテ居リマス

○佐々木安五郎君 此場合ニ議會ノ體面ニ關スルコトデ、國務大臣ノ答辯振ニ對シ

テ説明ヲ請ヒタケコトガアル、一言御許シヲ願ヒタ

○議長(長谷場純孝君) 豫算ニ關係シテ居リマスカ

○議長(長谷場純孝君) 何ゴザイマスカ

○佐々木安五郎君 今日ノ議事日程ニモアリマスル此所得稅法改正法律案ニ付シ

此中議員ノ一人が其撤回ノ理由ノ説明ヲ國務大臣ニ向シテ求メマシタコロガ、國務

大臣即チ大藏大臣桂太郎閣下ハ、ソレハ委員會ノ速記錄ニアルカラ、ソレヲ見ルガ宜

イ、答辯スル必要がナイト云フトコロノ書付ヲ出サレマシタ、是ハ獨リ一黨一派ノ問題デ

ハナカ、議員全體ニ對スルトコロノ侮辱アラウト我輩ハ考ヘル(ヒヤク)下呼フ者ア

リ苟モ五千万ノ同胞ヲ代表シテ、此帝國議會ニ席ヲ列スル以上ハ、其委員會ノ議事

筆記録ヲ見ルトカ見ナイトカ云フ差圖ヲ政府カラ受ケルヤウナモノハアルマイト思フ、委

員會ニ委員會アル、所得法改正法律案ナルモノハ帝國議會ニ附セラレタルモノデアッ

テ、殊ニ此稅制問題ニ關シテハ詔勅ノ中ニモアル通りニ、最モ慎重ニ審議セヨト云フコ

トデゴザイマスカラ、サレハ提出サレタニ付テモ、慎重ニ提出サレタニ付テモ亦慎重ナ

何モ彼モ委員會ノ遠記錄ヲ見ルガ宜イト云フコトニナッテ、終ニハ本會議ト云フモノハ要

ラストコロノモノニナル、無用ノモノニナル私ハ思フ、是ハ即チ五千万ノ同胞が選出シタ
ルトコロノ吾ミ帝國議會ノ議員全般ヲ侮辱シタルトコロノ行動アルト、我等ハ認メルノ
アルガ、之ニ付テ如何ナル説明ガアルカ、其説明ヲ承リタインオアル

○大藏大臣(候爵桂太郎君) 唯今政府が所得稅法案ヲ撤回致シマシタコトニ付キ
マシテ、議員ノ一名ノ御方ヨリ御質問が出来マシテ、之ニ對シテ御答致シマス、如何ニ
セ(佐々木安五郎君)「明瞭ニ希フ」ト呼フ、「昨日デアッカ、此撤回ノ理由ニ付テ政府
ノ説明ヲ聽キタイカラ、大藏大臣ニ出席スルヤウニト云フ、議長ヨリ通知がゴザイマシタ
然ルニ本官他ニ公務ノ差支ヲ以チマシテ出席ヲシ能ハナカタデアル、又其撤回ノ理由
ニ付キマシテハ、嚮ニ委員會ニ於キマシテモ、其理由ノ質問ヲ受ケマシテ、之ニ對シテ政
府ノ意思ヲ答ヘテ置キマシタノデゴザイマス、併シ更ニ本官此所ニ出席致シテ居リマスカ
ラ、其理由ヲ質問者ニ對シテ御答致シマス、「講聽」ト呼フ者アリ)政府ハ再調査ノ
必要ガアリマシテ、所得稅法案ヲ撤回致シタノデゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第一乃至第十八ハ豫算ニ關聯セル議案ナルニ依リ、
先以テ各委員長ブシテ同時ニ報告セシメタイト思ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○元田肇君 諸君、本員ハ當議會ニ於キマシテ最モ重要ナル問題ノ一トナッテ居リマ
スル地租條例改正法律案並ニ宅地價修正法律案ノ委員會ニ於キマシテノ經過、及結果ヲ御報告致シマス、元來本委員會ニ移サレマシタノハ尙數件ゴザイマスガ、或ルモノハ總テノ議案ヲ讀了ヲ俟タナケレバ決議サレヌモノモアリマシ、差當リ豫算ニ緊密な關係ヲ持テ居リマス議案ヲ決議致シマシテ、前ニ御報告スルコトニナッタ次第アリマス、地租條例中ノ改正法律案ハ、委員會トシテハ即チ吾ミ委員ガ出來テ居ルノアリマスケレドモ、勢ヒ豫算ニ關係ヲ持ツノデアリマシテ、隨テ本員ノ如キ豫算委員ヲ兼ネ居リマス者バ、其時機ノ宣シキト考ヘタ場合ニ於キマシテハ、獨リ地租條例中ノ改正法律委員會ニ於テノミナラズ、豫算委員會ニ於テノモ政府ニ質問ヲ致シタ譯アリマス、故ニ茲ニ御報告致シマスルノハ豫算委員會ニ於テ、又地租條例中ノ改正法律案委員會ニ於テ、此案ニ關係シタル重要ナル質問ノ次第等ハ此席テ御報告ヲ致サウト思フノアリマス、御承知ノ通リテ政府ハ明治四十三年度ノ財政計畫ヲ立テラレタノテアリマス、既ニ歲入ニ餘裕ガアルコトアリマスレバ、政府ノ此政綱ヲ立テラレタノハ洵ニ當然ノコトデアル吾ミハ信ズルノアリマス、政綱ハ洵ニ當然ニアリマスルが然ルニ、政府が實際ニ議院ニ提出セラレタルトコロノ稅法整理案ヲ見マスレバ、最モ國民ノ多數ノ休戚ニ關シ、最モ戰爭其他ノ場合ニ於テ力ヲ致シテ居ルトコロノ國民ノ多數即チ土地ノ所有者ト云フルトコロノ吾ミ帝國議會ノ議員全般ヲ侮辱シタルトコロノ行動アルト、他ノ法案ノミヲ修正サレテ出サレテ居ルトコトハ、吾ミが到底服スルコトノ出來ナイ次第アリマス、故ニ此點ニ向テ政

府ノ當局者ニ肉薄シテ其理由ヲ質問致シタコトアリマス、政府モ種々提案ノ理由ヲ述ベラレテ、地租ノ如キハ決シテ閑却シタルモノノデナイン、是モ輕減スベキ計畫アルケレドモ、今日ニ於テ財源ニツレ程マダノ餘地ガナイカラシテ、此ノ如キ次第ニナツタノアルト云フ答辯デアリマシタガ、本員等委員會全體ノ意図ハ政府ノ單ニ財源ガ十分ナラズト云フ言ヲ以テ、國民大多數ノ不權衡ナル負擔ト云フモノヲ、其儘ニ閑却スルト云フノ理由ヲ發見スルコト能ハナカツノデアリマス、ソレ故ニ政府ニ向シテハ吾國民中士農工商——今日士ヲ呼出スノモ變テアリマスルガ、農工商中ニ於キマシテ、國ヲ憂ヒ國ヲ齊フト云フ上ニ於テハ、甲乙ノ差ハ無論ナインデアリマスケレドモ、而モ或者ニ於テハ戰爭ニ付テ大ニ利益ヲ致シ、或者ハソレガタメニ賞與等ノ特典ニ與アルト云フヤウナコトヲ受ケテ居ルニ拘ハズ、我農民ハ子弟ハ滿洲ノ野ニ血ヲ流スト云フ、所謂血稅ヲ拂ツテ居リ、内ニ在ルトコロノ老幼、或ハ爺サン婆サント云フヤウナ者ハ、田畠ヲ耕シ、奇童ノ稅ヲ負擔シテ居ルノミナラズ、一國ノ大事ト心得テカラニ、公債募集等ニ於キマシテモ、己ノ貯金ヲ出シテ應シタト云フコトハ天下隠レナキ事實デアルノテアル、此忠良ノ大多數ノ農民ニ向シテ、第一ニ減租ノ恩典ニ與ラシメヌト云フコトハ、内閣ノ如何ニ説明セラレ、モ、吾ミハ是ニ對シテ誠意ヲ見ルコトハ出來ラレナイコトデアルカラシテ、總理大臣其他ノ大臣ニ向ヒマシテ、更ニ大ニ考慮スルトコロアランコトヲ促シタノデアル、此促シタ次第ハ豫算總會ノ質問ノ上ニ於テ明白ニ本員モ致シマシタガ、各派ノ諸君カラ皆致シテ居ルトコロデアリマス、斯ク政府ニ考慮ヲ煩ハシ、且其他政府ガ提出シテアリマスルトコロノ所得稅ナリ、營業稅ナリト云フモノニ付キマシテモ、名ハ輕減シタ云フコトニナツテ居リマスケレドモ、事實ノ上ニ於キマシテハ下層社會ノ人民ニ對シテハ減稅ノ名ノ下ニ、大ニ重稅ニナツテ居ルト云フ嫌モアルニアリマシテ、何レモ完全ナル案ト云フコトハ未タ吾ミ發見スルコト能ハズト云フコトニ——是ハ地租條例改正委員會ニ受ケタ案デハゴザイマスケレドモ、吾ミ同僚總テ認メテ居ル次第アリマス、此點ニ付テモ隱然政府ニ向シテ更ニ公平ナル誠意ノアリタイト云フ希望ノ議院ニ満チテ居ルト云フコトハ、政府當局者ト雖モ自ラ知ラレタコト、私ハ信スルノテアリマス、爾來簡條ニ移リマシテハ逐條種々ノ質問等ヲ致シマシタガ、其結果ト致シマシテ政府ノ意図モ追ニ信シ得ベキコトガ吾ミハ感シタノデア誠意誠心ハ、大ニ感セラレタコト、信シマスルノテ、所謂考慮ヲ煩ハシタ結果トシテ、政府モ全ク是ヲ拒絶スルノ意思ナキモノアラウト吾ミハ推測スルヤウニ考及シダノデアリ於テ政府ハ同意ガ出來ラレナイラシイガ、併ナガラ土地所有者ノ今日ノ狀況ニ照シ、滿天下ノ人並ニ満堂ノ議員諸君ガ、熱血ヲ注イテ地租ノ輕減ヲ圖ルト云フコトノ其感シタコトハ地租ヲ一分減ズルト云フコトハ、到底今日ノ諸般ノ狀況ニ——

正テ、私ハ信スルノテアリマス、爾來簡條ニ移リマシテハ逐條種々ノ質問等ヲ致シマシタガ、其結果ト致シマシテ政府ノ意図モ追ニ信シ得ベキコトガ吾ミハ感シタノデア誠意誠心ハ、大ニ感セラレタコト、信シマスルノテ、所謂考慮ヲ煩ハシタ結果トシテ、政府モ全ク是ヲ拒絶スルノ意思ナキモノアラウト吾ミハ推測スルヤウニ考及シダノデアリ於テ政府ハ同意ガ出來ラレナイラシイガ、併ナガラ土地所有者ノ今日ノ狀況ニ照シ、滿天下ノ人並ニ満堂ノ議員諸君ガ、熱血ヲ注イテ地租ノ輕減ヲ圖ルト云フコトノ其感シタコトハ地租ヲ一分減ズルト云フコトハ、到底今日ノ諸般ノ狀況ニ——

正テ、私ハ信スルノテアリマス、爾來簡條ニ移リマシテハ逐條種々ノ質問等ヲ致シマシタガ、其結果ト致シマシテ政府ノ意団モ追ニ信シ得ベキコトガ吾ミハ感シタノデア誠意誠心ハ、大ニ感セラレタコト、信シマスルノテ、所謂考慮ヲ煩ハシタ結果トシテ、政府モ全ク是ヲ拒絶スルノ意思ナキモノアラウト吾ミハ推測スルヤウニ考及シダノデアリマス、是ニ於キマシテ質問ヲ大抵終了致シマシテ決ラ採ルコトニナリマシタ、決ラ採ルコトニナリマシタコトロテ、決議ノ場合ニ至リマシテハ、特ニ諸君ノ御異議ナキ限りハ私ハ先以テ宅地價修正法案カラ申上ゲタイト思フノデアリマス、何トナレバ宅地價修正法案ハ此修正法案ノ如ク定タモノトシテ、地租條例中ニ稅率ノ改正が舉ゲテアルノデアリマスカラシテ、便宜ノタメニ宅地價ノ委員會ノ決議ノ結果ノ方ヲ先キニ御報告スルコトニ致シマス、此案ニ付キマシテハ修正ト致シマシテハ第十五條ニ「前條ノ決定ニ對シ不服アルトキハ訴願又ハ行政訴訟ヲナスコトヲ得」ト云フ一箇條目ケデアリマスガ、少シク委員會ノ内容ヲ申上ゲマスカ、此案ニ付キマシテモ第三條ノ但書デアリマシテ「但賃貸價格ノ十倍カ現在地價ノ二十倍ヲ超ユルトキハ現在地價ノ二十倍ヲ以テ其地價トス」之ヲ三十倍ニシタコト云フ修正動議ガ起リマシタガ、是ハ否決ニナリマシタ、其否決ニナタ次第ハ、絕對的ニ理想上ノ公平ヲ求ムルト云フナレバ、三十倍ハ愚カ、

無制限ニ行クモ亦可ナリデアルカモ知レス、若クハ其他ノ規定ヲ設クルノ必要ガアルカモ知レナイガ、併シ此問題ハ數年ノ宿題トナツテ居リマスコトデアツテ、啻ニ絕對的机上ノ理想ヲ本トシテ行クヨリハ、今日ヨリ遙ニ實際ニ公平ニ近イトコロノ案ヲ具シテ其案ガ可決サレテ、ヨリ近ク公平ナル場合ニ實地行フト云フコトガ得策デアルト委員ノ多數ガ信ジマシタ故ニ、政府ノ案ヲ動カスコトヲ止メマシテ、即チ「二十倍ヲ超ユルトノデアリマスカラ、御了承下サルヤウニ願ヒタ、ソレカラ第十五條ノ行政訴訟若クルト云フコトノ修正ヲ致シマシタノハ、是ハ澤山ノ訴願等が出来得ル限りノリマス、畢竟スルニ理想ニ唯公平ヲ求ムルト云フヨリハ、今日ニ於テ出来得ル限りノ公平ナル範圍ニ於テ此案が實際ニ成立スルコトヲ吾ミ熟望スルト云フ趣意ニ出テ居キハ現在地價ノ二十倍ヲ以テ其地價トス」斯様ナ原案ガヤハリ多數ニナタ次第ニアリマス、里競スルニ理想ニ唯公平ヲ求ムルト云フヨリハ、今日ニ於テ出来得ル限りノルノデアリマスカラ、御了承下サルヤウニ願ヒタ、ソレカラ第十五條ノ行政訴訟若クハ訴願ヲ許ス云フコトノ修正ヲ致シマシタノハ、是ハ澤山ノ訴願等が出来得ル限りノスコトデアルカト云フ政府ノ意見モゴザイマシタガ、是ハ委員會が踏切テ修正ガ多數ニナタノデアリマスカラ、御了承下サルヤウニ願ヒタ、ソレカラ第十五條ノ行政訴訟若クハ訴願ヲ許ス云フコトニナツテ居リマスガ、此地價ナルモノハ一度定メタ以上ハ容易ニ變ヘルコトハ出來ナイモノアルコトハ、地租改正以來我田畠地價ノ今日ノ狀況ニ付テ御考ニナツテモ分ルコトデアリマス、此ノ如キ稅ヲ課スルコトノ根本ノ地價ト云フモノヲ定ムルトキニ——勿論政府ノ役人ハ誠意誠心ヲ以テ事ニ從事サレルコトハ吾ミモ信ブルノデアリマスケレドモ、多數ノ中ニハ萬法律規則ニ背イタトコロノ結果ヲ來サヌトモ言ヘナイ、此法律規定ニ背イタ結果ガアツテモ、此場合ニ訴願モ許サバ、行政訴訟モ許サヌト云フコトニナリマシテハ、憲法ノ所謂政府ノ處分ニシテ不法ナントモ信ブルノデアリマスケレドモ、多數ノ中ニハ萬法律規則ニ背イタトコロ得ト云フ、我國民ノ特權ヲ蹂躪スルコトニナリマスが故ニ、是非トモ之ヲ加ヘテ置キマスレハ、多少調査委員ヲ設ケ其調查委員ヲ設ケル選舉ノ方法トカ云フモノハ勅令ニ讓シテ置イテモ、結果ノ當否ヲ審査スルコトが裁判ニ附セラレバ尙忍ビ得ヘシト云フノデ簡単ナル修正ヲ致シタ譯デキハ——法律命令ニ違背スルトキニハ行政裁判ニ訴ヘルコトヲ得ト云フ、河井重藏君「議長」ト呼フ「一ト通りヤツテシマヒマセウ、ソレカラ次ニ地租條例中ノ改正案ニ移リマスガ、第一條ヲ改メマシテ「宅地ノ地價百分ノ二箇半」トアリマス、次ニ「田畠」ト云フノヲ加ヘマシテ「地價百分ノ四箇七」ト云フコトニ致シマシテ、宅地以外ノ土地トゴザイゴザイマス、是ダケが宅地價修正法案ノ委員會ニ於ケル修正ヲアリマス（河井重藏君「議長」ト呼フ）

正テ、私ハ信スルノテアリマス、斯様ニ定メマシタ、ソコテ尙是ニモ修正ノ第二項ヲ「宅地以外ノ土地ノ地租ハ、當分左ノ稅率ニ依ル田畠地價百分ノ三箇四、其他ノ土地地價百分ノ四箇」——此北海道ノ率ハ即チ今回八厘減ト云フ第一項ノ田畠百分ノ四箇七、即チ五箇半カラ八厘ヲ減ズルト云フ率ヲ以テ割出シマシタノガ、北海道其他ノ土地ノ地價ニ修正ヲ來ス所以テアリマス、斯様ニ定メマシタ、ソコテ尙是ニモ修正ノ第二項ヲ「宅地以外ノ土地ノ稅率ハ明治四十二年分地租限」ト云フ文字ヲ加ヘテ、之ヲ廢止スルト云フコトニ致シマシタ、斯様ニ修正致シタ場合ニアリマス、而シテ其中ニ最モ大問題ニ屬スルモノハ、先刻來申上ゲマスル通ニ、田畠ノ稅率ト云フモノガ百分ノ四箇

牟トナシタ點ニアリマス、之ニ對シマシテ一分減、即チ四箇年ト改メヤウト云フ動議ガ大熊君カラアリマシタカ出マシタ、又四個七ト云フ提案ハ、唯今見エマシタ阿部君カラ出マシタ、八厘減ト云フコトノ修正ヲ提出シタ理由ト致シマシテハ、是非トモ一分以上ノ減税ト云フコトサセタイト云ノガ自分ノ意思アル、意思ニアリマスケレドモ、段段豫算、本委員會共ニ政府ニ質問等ヲ致シテ、取調べノ結果ガドウシテモ一分減ト云フコトヲ主張スルト云フコトガ、吾ミニ於テ主張致シテマシテモ結局或ハ不成立ニ陷入ノ處ガアル、ワレヨリハ一厘ノ差ニアルカラシテ、八厘ナレバ他ノ政府提出ノ諸案モ、不成立ヨリハ成立ツ方ガ宜カラウト思ハレルノテ、茲ニ當年ヨリ成立ツコトが出來ヤウト自分ハ確信スルカラシテ、ソレ故ニ一分以上ヲ望ム本心アルケレドモ、暫ク名ノ方ヲ棄テ、實際ニ之ヲ今日ヨリ行ハレルトコロノ八厘ヲ復率スルト云フコトガ得策アルト信シテ、此案ヲ提出スルト云ノガ、提案者ノ意見ニアリマス、又一分ヲ提出サレタ大熊君ノ意見ハ、一分以上ヲ輕減シタ伊ト云フコトハ前發議者モ同様ノ意見デ、此點ニ付テハ少シモ變リハナイコトデ、アルガ、ワレガ實際效果ヲ見ルヤ否ヤト云ニ付テ自分等ノ見解ヲ異ニスルノデアラズ、長ク論ズル必要ハナイ、故ニ自分ハドコマデモ一分減ト云フコトテ修正シタイ、斯ウ云フコトニアリマシテ、餘り詳シ議論ナドコザイマセヌデ採決致シマシタコロガ、ヤハリ阿部君ノ案が成立シテ四箇七トナリマシタ次第ニアリマス、尙此問題ノミナラズ、地價修正法案ニ於キマシテモ大熊君ノ提案ガゴザイマシテ、其際カラシテ、委員長ハ成ルベク鄭重ニ致シマシテ、或ハ修正ガ一ツニ分レ、ハ一修正毎ニ決ヲ採ルテ、其決ヲ採ルトコロノ人等ノ數等モ取調ヲ致シニアリマスが、甚ダ奇異ナル現象ハ、此大問題ニ付キマシテ一方ニ於テヘ一分減ヲ主張サレ、一方ニ於テハ八厘テ辛抱スルト云フニシニ分レテ居ルノニ、八厘減ハ大多數デゴザイマシタガ、一分減ハ遂ニ三分ノアレバ少數者ノ意見ヲ提出スルコトが出來ルニ拘ラズ、何レノ修正案モ少數意見ヲ捨ヘルマテノ定員ヲ缺イタト云フ一事ニアリマス、即チ少數意見ハ絕對的ニ成立セムト云フ有様ニアシタト云フコトハ特ニ此所ニ報告スルノ價值ガアルテアラウト思フ、以テ吾ニ委員會が四箇七ト云フコトニ修正ラシテ、本會ニ報告スルニ至ッタハ、蓋シ適當ノ修正デアシタト云フコトガ、委員會自身ノ有様ニ於テモ徵セララレルカト(「ノウ」ト呼フ者アリ)私ハ信シテ居ルコトヲ報告致シマス

(拍手起ル)

(「質問ガアリマス」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 先づ委員長ノ報告ニ對シテノ質問ハ、曩ニ院議ヲ以テ日程第一ヨリ第十八マテ同時ニ順次委員長ノ報告ヲ得ルコトニナツテ居リマスカラ、其報告ガ濟シテ後デ、此委員長ノ報告ニ對シテノ質問ヲ願ヒタイ

(村松恒一郎君「質問ハ唯今御許シニナツタ方ガ宜イ」ト呼フ)

○議長(長谷場純孝君) 是モ總テ委員長ノ報告ノ濟シテ後ノ方が秩序が立ツト思ヒマスカラ、其通り致シマス

(村松恒一郎君「今ノ問題ニ付テ質問ヲ起スノアリマス」ト呼フ)

○議長(長谷場純孝君) ソレハ後トテ質問ヲ御起シニナツテモ同ジコトニアリマス

(モウ宣告ガ濟シテ居ル「質問ヲ許スベシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 第三、第四、第五相續稅法中改正法律案外二件、特別委員長大岡育造君報告

第三 相續稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
 第四 通行稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
 第五 酒精造石稅徵收猶豫及免除ニ關スル 第一讀會ノ續(委員長)

〔大岡育造君登壇〕

○大岡育造君 諸君、私が此處ニ報告ヲ致シマスル法律案ハ元ト所得稅外四件ノ委員會ニアリマシタ、其四件ハ營業稅、相續稅、通行稅、及酒精造石稅徵收猶豫及免除ニ關スル法律案、此五件ニアリマシタ、而シテ先づ所得稅ヨリ質問ヲ始メシタ、營業稅ニ移ルベキアリマスケレドモ、營業稅ハ非常ニ質問スペキ箇條が多く、混雜ノ憂ガアリマスノデ、クラ最後ニ回スコトノ決議ニナリマシタ、因テ相續稅、通行稅、酒精ニ關スル稅ト審査ヲ始メタ次第ニアリマス、此所ニ最モ大ナル案ハ、所得稅、營業稅、及通行稅、此三案ガ五案中デハ最モ大キイ案ニアリマス、而シテ此度政府が稅制整理ヲ爲スト云フ其中デ、稅ノ輕減ニ係ル大部分ガ此五案 今舉ゲマシタ其中ノ三案ニアリマス、通シテ約六百五十萬圓程ノ減少ノ譯ニアリマス、而シテ此所得稅及營業稅、最モ大ナル輕減ノ金額ヲ掲ゲタルモノニ付テノ概略ヲ申シマスレバ、營業稅ハ下層ノ人ニ多く負擔ヲ増スヤウニナリマシタ、ソレカラ所得稅ノ方ハ中以下ノ負擔ヲ増セヤウニ出來テ居リマス、兩案共ニ輕減ト云フ數字ハ出テ居リマスケレドモ、法ノ自體ニ於キマシテ、半バ輕減シ、半バ増稅スルト云フ實ガアルノアリマス、此ノ如キモノデ、殊ニ此營業稅ハ非常ニ下層ノ人ノ痛苦ヲ訴ヘルコトノ多イ、名ニ於テ輕減ノ如クニ見エマスケレドモ、家族ノ同居者三課稅スルコトニナリマシタメニ、津々浦々ニ瓦ツテ夫婦ガ營業ヲ致シマスルニモ、其家内ヲ直ニ同居者ト見テ之ニ從業稅ヲ掛ケマスル、タゞニ通算致シマスルト、現在ヨリモ遙ニ多クノ稅ヲ納ムルト云フコトニナル(「營業稅ハ問題外ナリ」ト呼フ者アリ)ソレガ一般ニ及ブト云フコトニナリマスルノデ、斯ウ云フ傾キアリノアリマスカラ、大體ヲ御話申シテ置キマス、「日程以外ナリ」ト呼フ者アリ)静ニ願ヒマス、サウシテ相續稅ニ於キマシテハ、家督相續ニ關スル稅率ヲ下ゲ、若ハ延バスト云フコトガ此法ノ特典ニアリマス、是ハ遺產相續ノ目的トスル歐羅巴ノ法律ノ意ヲ取テ移シタモノニアリマシテ、今日日本ノ實際ニ此家督相續ノ上ニ行ウテ見マスルト甚ダ不公平ヲ見ルト云フ意味カラ、此修正が出來タモノアリノアリマス、ソレカラ通行稅ニ付キマシテハ、單ニ市内ノ交通稅ノミヲ減ズルト云フコトニアリマス、此質問ノ結果ハ非常ニ錯雜致シマシテ、當局モ即チ大藏ノ答辯員モ隨分事實之ニ適用スルニ困シタト云フ狀態ニ陥シタノアリマス、是モ一例ヲ擧ゲテ通シテ解釋シマスレバ、例ヘバ東京ノ如キ百十何哩ノ電車ヲ無稅ニスルコトハ出來マスルガ、地方ニ於ケル三哩若クハ五哩、此ノ如キ短距離ノ郡村ト市トノ聯絡ト云フ間ニアルヤウナモノニナリマスルト、一錢カニ二錢ノ上ニヤハリ一錢ノ重稅ヲ掛ケルト云フ譯ニナル、甚ダ不公平極マル、百哩ニハ無稅アルガ、三哩ニハ有稅アル、斯様ナルコトニナルノアリマス、是ガ先づ大體ニアリマス、而シテ此議事ニ漸ク移ラントスルニ當リマシテ、政府ハ先づ所得稅ノ改正法律案ヲ撤回致シマシタ、ソレカラ酒精ノ方ハ翌月納モノヨリ三箇月納ト云フコトニ變ヘタ位ノモノアリマス、勿論異論ナク原案ノ如ク可決致シマシテ、通行稅ハ第三條ニ「左ノ場合ニ於テハ通稅ヲ課セス一市内又ハ命令ヲ以テ市内ニ準スヘキモノト定メタル區域内ノミシ通行

スル時、此第一項ヲ削除スルコトニ決シマシタ、而シテ次ニ二三ト揚ゲテアル項ヲ繰上ケ
テ一一ト致シマシタ、此決議ヲ採ルニ當リマシテハ異論が出マシタ、即チ通行税ニ關スル
此法案ハ全部否ひト云フ議が出来マシタガ、是ハ少數デ（全廢ト云フ意味ヲ以テ……）
ト呼フ者アリ）全廢ノ意味ヲ以テ云フコトモ加ヘテアルヤウデス（全廢意味ナリ、委
員長ハ其要領が達ラト呼フ者アリ）否決ノ人ハ又更ニ説明シテ可ナリデアリマス、即チ
右ノ如ク全部此法案ヲ廢スル即チ通行税全廢ヲ希望スル意味ニ於テ主張ニナリマシタ
ケレドモ、此主張ハ成立シマセヌデ、私が最初ニ報告シマシタ通りニ、市内及之ニ準ズル
ト云フ此一項ダケヲ削除セラレテ、他ハ繰上ケルコトニ否決致シマシタ、而シテ此營業稅
ノコトハ尙審査中ニアリマスカラ他日報告シマス（拍手起ル）
○議長（長谷場純孝君） 日程第六乃至第十三砂糖消費稅法中改正法律案外七
件、特別委員長菊池侃二君

第六 提出） 砂糖消費稅法中改正法律案（政府

第一讀會ノ續（委員長 報告）

第七 織物消費稅法案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長 報告）

第八 賣藥稅法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長 報告）

第九 砂金採取地稅法案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長 報告）

第十 銀業法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長 報告）

第十一 登錄稅法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長 報告）

第十二 取引所稅法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長 報告）

第十三 牧獵法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長 報告）

（菊池侃二君登壇）

○菊池侃二君 御委託ヲ受ケマシタル、砂糖ノ消費稅法中改正法律案外七件ノ
法律改正案ニ付キマシテハ、我委員會ハ數回質疑審査ヲ遂ゲマシタ、就中最終ノ
委員會ニ於テハ特別委員ノ選定ヲ致シテ特ニ審査ヲ致シタノアリマス、其結果過
ル九日ヲ以テ委員會ハ此八件ニ對シテソレトモ決定ヲ致シタノアリマス、是ヨリ順
次其結果ヲ御報告ヲ致スアリマス、第一ハ砂糖消費稅法中改正法律案デアリマ
ス、是ハ原案ニ決定ヲ致シマシタ、此砂糖消費稅法案ニ於キマシテハ委員中ニモ段々
議論ガアツカ法案アリマス、此法案ハ從來ノ砂糖ノ消費稅ノ稅率ヲ大ニ改正ヲ
致シタモノアツテ、サウシテ御承知ノ通り此砂糖ハ臺灣ヨリ來ル砂糖モアレバ、内地
ノ琉球ノ砂糖モアレバ、香川縣ノ砂糖モアレバ、外國輸入ノ砂糖モアル、故ニ或砂糖
ノ種類ニ消費稅ヲ少シ高クスレバ、或種類ノ砂糖が響ク受クルト云フヤウナル種々ノ
關係ガアツテ、餘程此法案ニ付テハムツカシイ議論モ出タノアリマス、併ナガラ段々審
查ノ上終ニ是ハ原案ト云フコトニ委員會ハ決定ヲ致シタノアリマス、是ハ少數デ（全廢ト云フ
ハ砂糖消費稅法ノ現行十一條ノ一二於テ、酒精用ノ砂糖ニ付テハ此消費稅ヲ免除
スルコトニナシ居ルノアリマス、故ニ委員中ヨリ酒精ノミナラズ工業ノ原料トナルベキ
砂糖ニ付テハ、同様ニ消費稅ヲ減ズルガ適當デアルト云フ議論ガ出タノアリマス、併
併シ此點ニ付テハ政府ハ工業ノ原料ト申シテモ廣キモノデアルカフ、能ク調查ヲ致シ
件、特別委員長菊池侃二君

ニ此稅ヲ掛クルト云フコトハ適當、ナイガ故ニ、政府モ能ク調査ヲシテ進ンデ改正ス
ルコトアルベシト云フヤウナル說明モアリマシタカラ、別段修正ハ致シマセナシダアリマ
ス、唯政府委員ノ尙調査ヲシテ、追テ改正ヲスルコトアルベシト云フ言葉ヲ頼ンデ、總テ
原案ニ決定ヲ致シタデアリマス、第一ハ織物消費稅法案デアリマス、是ニハ一箇條
修正ヲ致シタデアリマス、此法案ノ第十八條ノ四「收稅官吏ノ尋問ニ對シテ虚偽
ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ若クハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキ」ト
アリマス、是ハ此十八條ノ第一項ニ「左ノ各號ニ該當スルモノハニ圓以上三十圓以
下ノ罰金又ハ科料ニ處ス」トアル、其範圍内ノ條項デアリマスルが故ニ、此第四ノ如
ク致シテ居ルナラバ、收稅官吏ノ尋問ニ對シテチヨット嘘ヲ吐イテモ、直ニ此刑事上ノ
制裁ヲ受ケルト云フコトニナルノアリマス、是ハ餘リ殘酷アルト云フコトガ、委員會
ニ現ハレタコロノ議論デアリマス、今日ハ高等ナル司法官ノ尋問ヲ受ケテモ證人トナ
ルヤウナル或ル場合ノ外ハ、訴訟當事者ガチヨット虚欺ノ陳述ヲ致シタトテ直ニ刑事
上ノ制裁ヲ受クルコトニハナツテ居ラナイノテアリマス、然ルニ此收稅官吏ノ尋問ニ對
承知ノ通リ收稅官吏ノ中ニハ實ニ一小吏か地方ニ多ク配置シテアル、此尋問ニ對
シテ一言嘘ヲ吐ク、貴様ノ家ニ木綿ヲ何程仕入レルカ、五十反ト答ヘキノアリマス
反ト答ヘテモ、直ニ此制裁ヲ受ケル、實ニ是ハ苛酷ナル制度デアル、況ヤ地方ニ於キマ
シテハ誅求苛察ヲ主トスルコロノ小吏ノ多クアルト云フコトガ、今日非難ノ一ツニ
ナツテ居ル時代ニ於テ、斯ル嚴シキ法律ヲ設ケルコトハ、此立憲治下ノ政府ガ國民ニ
對スルトコロノ相當ノモノテナイト云フ意味ヨリシテ、之ヲ修正致スコトニナツタ、其修正
ハ「收稅官吏ノ職務執行ヲ拒ミタルトキ」是ダケノコトハドウシテモ存シテ置カネバナリ
マセス、收稅官吏ガ職務ヲ執行スルニ帳面ヲ見セロ、家宅ヲ捜索スルトキニ之ヲ拒ム
コトハ出來ナイカラ、是ハ拒ムコトハ出來ナイ、併ナガラ前ニ申スヤウナル尋問ニ對シテ
チヨット嘘ヲ吐イテモヤラレルト云フヤウナルコトハ、全ク時勢ニ不適當ナ法律案ト認メ
タノアリマス、之ニ對シテ政府委員ハ熱心ナル反對說ヲ提出セラレタ、左様ナル修
正ヲセラレルト收稅ノ上ニ於テ非常ニ差支ヲ生ズル、又他ノ法律トノ關係ガ取レヌ、
收稅ニ關シテノ他ノ法律ニモ同様ナコトヲ記載シテアルガ故ニ、是ハ是非存續ヲ望
ムト云フコトデアリマシタナレドモ、委員會ハ其政府ノ說ヲ採用セザルノミナラズ、尙茲
ニノ適例ヲ舉ゲラ、政府委員ガ此後ニ反駁ヲセラレ豫防ニ供シテ置カウト存シマス、
現行ノ砂糖消費稅法ノ第十五條ニハ「收稅官吏ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ
テ其執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ
罰金ニ處ス」トアル、是ハ今丁度修正シタ通りニ現在ノ砂糖法案ガナツテ居ル、尋問
ヲ受ケタトキニ嘘ヲ吐イタ者ハ直ニ制裁ヲ受ケルト云フヤウナコトニナツテ居ラヌ、故ニ
其他ノ或ル徵稅法ノ中ニ此織物稅ニ掲ゲマシタヤウナル奇察ナル法文ガアツタナラ
バ、是ハ宜シク改正爲サツタ方ガ宜シカラウト思ノノデアル、サウ云フ譯デソレダケヲ修
正シテ、他ハ原案ニ決定ヲ致シマシタ、尙之ニ付テ織物業ニ大關係ノ事柄ガアツテ、
政府ハソレニ對シテ明言ヲセラレテ居ルコトガアリマスルカラ、其事ヲ此處ニ申添ヘテ置
クハ適當ノコトデアルト存ズルノデアリマス、ソレハ此織物消費稅ノ第四條ニ「消費稅
ハ製造所稅關又ハ保稅倉庫ヨリ織物ヲ引取ルトキ引取人之ヲ納付スヘシ」トアル、引
取人之ヲ納付スベシアレバ、製造者ト引取人トハ全ク別個ノヤウニ見エルノデアル、併
シ政府ハ別個デハナイ、製造者モ其品物ヲ引出ス者ガ即チ引取人ト見
ル、斯ウ云フヤウナ説明デアリマスルカラ、是等ノ點ニ付テ當業者ノ側ヨリイロ／＼
心配ヲ申出タ者モアリマスルケレドモ、此説明ニ依テ心配ハナイカト存シマス、ソレ

カラモウ一ヶ從來織物ノ消費稅ヲ徵スルニ、製造織物ニ對シテ標準課稅ト云
フ方法ガアル、政府ノ方デハ之ヲ標準價格ト申サレル、標準課稅、標準價格ト云
フノハ製造シタ品物ニ對シテ、標準ノ價格ヲ政府が定メテ、ソレニ依テ租稅ヲ
納入セシムルト云フ例ガアル、ソレハ當業者ノタメニ大ニ便利ニナル事柄ダサウテアリ
マス、此法文ヲ見ルト課稅標準價格ト云フコトガナクナリハシナイカト云フヤウナコト
ヲ委員中ニモ段々御質問ガアリマシタカ、政府ハ此標準課稅、標準價格ト云
付テハ、少シモ從前ト異ラヌコトニスル、決シテ此改正ノタメニソレ等ノ利益ヲ廢シテ、嚴
格ニ徵稅ヲスル意味デナイト云フコトヲ明言セラレテ、是ヲ筆記セシメテアリマスルカラ
左様御承知ヲ乞ヒタノイデアリマス、第三ハ賣藥稅中改正法律案テアリマス、是ハ多
少ノ議論ガアリマシタガ、要スルニ原案ニ決定ヲ致シタノテアリマス、唯此賣藥ニ付テ
一ツ此際政府ニ警告ヲシテ置クベキ條件ヲ委員會ニ於テ議定シテ居リマス、ソレハ現今
賣藥同様ナルモノガアッテ、サウシテ政府が此モノニ對スルノ調查ヲ粗漫ニシテ居テ、其
モノガ無印紙ノ儘世ノ中ニ賣藥カレテ居ル、一方ニ賣藥ナルモノハ相當ノ稅ヲ納メ、多
額ナル印紙ヲ貼テ居ル、一方テ無稅ノ儘無印紙ヲ賣ル、サウシテ其品物ハ殆ド賣藥ト
賣ラヌ物ガアルサウダアリマス、ソレハ政府ニ於テ如何ニナサル考アルカト云フ質問が
起シトキニ、ソレハ今調査中デアルト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマスル故ニ、委員
會ハ然ラバ速ニ調査ヲシテ相當ノ處分ヲスルコトヲ政府ニ警告スルガ適當ト云フ
コトニ極マフタ、其葉ノ名前ハ「アスター」等ノ類アリマス、第四ハ砂金採取地稅法
案デアリマス、是ハ修正ガアリマシタ、元來此砂金採取稅法ト云フ文字カラガイケナイト
云フ議論ガ出タノテ、是ハ砂鑛區稅トシナイト、適當シナイト云フコトデアリマス、ソレデ
斯様ニ修正ヲ致シタ、「砂金採取地稅」ヲ「採鑛區稅」ト替ヘマス、「砂金採取業者」ト
アルノヲ「砂金採取ヲ目的トスル砂鑛權者」ト改メマス、其他尙「砂金採取地稅」トアル
處ハ同様ニ替ヘルノデアリマス、ソレカラ「採取區域」ト云フコトヲ「砂鑛區」ト云フコトニ
改メマス、ソレカラ是ニ第二條ヲ加ヘテ「北海道府縣及市町村ハ砂鑛區稅ニ對シ各
百分ノ十以内ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得」ト云フ一項ヲ加ヘルコトニ致シマシタ、是ハ
今日テモ砂金三對スルノ鑛稅ハ鑛業法ト同様ニ課セラレテ居ルモノデアリマスル、ケレカ
モ是ハ鑛業法中ニ於テ砂金採取ニ付テハ鑛業法ヲ適用ストアッテ、鑛業法ノ適用ニ
依テ此課稅ヲセラレテアルノデアリマス、今度鑛業法ト別途ニ獨立シテ、此砂金採取
地稅法ヲ定ムルトキニハ、斯様ニ修正ヲ致サヌベナラヌト云フコトヲ修正ヲ致シタノデアリ
マス、政府ハ全然此案ニ同意ヲ表シタノデアリマス、其他ハ總テ原案テアリマス、ソレカ
ラ第五ノ鑛業法中改正法律案ハ修正致シマシタ、是ハ八十八條ト云フモニ修正ヲ
加ヘマシテ、本稅百分ノ十ヲ「鑛產稅百分ノ十」、試掘鑛區稅百分ノ三、採掘鑛區
稅百分ノ七」ト云フコトニハ附加稅ノカツタノテアリマス、所が此度非常特別稅ト本稅
鑛區稅ノ非常特別稅ニハ附加稅ノカツタノテアリマス、此二ツノ修正案ハ飯田君ヨリ提出
ト合シテ以テ一ノ法案が出來タガ故ニ、此一ノ法案ヲ以テ徵收スル租稅ノ中三附加稅
ノ取方ノ區別ヲ致サヌベナラヌ、故ニ「本稅百分ノ十」ヲ「鑛產稅百分ノ十」、試掘鑛區
稅百分ノ三、採掘鑛區稅百分ノ七」三改メルト、ソレガ適當ニナルト云フコトデアリマ
ス、政府モ此修正案ニ同意セラレタノデアリマス、此二ツノ修正案ハ飯田君ヨリ提出
セラレテ、委員會一ノ法案が出來タガ故ニ、此一ノ法案ヲ以テ可決シタモノデアリマス、其他ハ此鑛業稅ニ付テハ原案ヲ
賛成致シマス、ソレカラ登録稅法改正法律案ハ全然原案ニ決定ヲ致シマシタ、ソレカラ
取引所稅法改正法律案ニ付テモ原案ニ決定ヲ致シマシタ、第八ノ狩獵法中改正法
法律案ハ終止ヲ致シタノデアリマス、ソレハ法律ニ第十一條中「金二十圓」ヲ「金四十圓」

トアルノヲ「金三十圓」ト云フコトニ、ソレカラ「十圓」ヲ「二十圓」トアルヲ「十五圓」ト云
フコトニ、「二圓」ヲ「五圓」トアル處ヲ「二圓」ヲ「四圓」ト云フコトニ改正ヲ致シタ、之ヲ
細別致シマスルト、改正法律案ニアル一等ガ四十圓、二等ガ二十圓、三等ガ五圓トナル
ノデス、ソレヲ修正シタノデ、申シマスルト一等ガ三十圓、二等ガ十五圓、三等ガ四圓、
原案ヨリハ――此改正法律案ヨリハ總ア一一三等トモ稅額ヲ減少致シタノデアリマス、其
理由ハ是ハ減少致シマシテモ是ガタメニハ收入ニハ差支ガナイト云フコトヲ認メテ、斯様
ニ致シタノデアリマス、狩獵法ノ狀態ヲ見マスルト稅が廉イト願人ガ多イ、免許鑑札ヲ
受ケル者が多イ、ソレガタメニ今ノ如ク稅率ヲ減シマシテモ是ガタメニ歲入ノ上ニハ少シモ
影響ヲシナイト云フコトデ、修正ヲ致シタノデアリマス、其他ノ狩獵法中ノ文字ハ原案ノ
通デアリマス

○議長（長谷場純孝君） 日程第十四、十五、十六、十七即チ印紙法中改正法律
案外三件、特別委員長佐竹作太郎君

（拍手起立）

第十四 印紙稅法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長）

第十五 民事訴訟用印紙稅法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長）

第十六 商事非訟事件印紙法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長）

第十七 行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長）

（佐竹作太郎君登壇）

○佐竹作太郎君 印紙稅法中改正法律案外三件ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、
委員會ニ於キマシテハ印紙稅法中改正法律案ノ物品切手金高一圓以下ノ物品切手
ハ印紙ヲ貼用シナイ、斯ウ云フコトヲ修正可決ヲ致シマシタ、此改正ニ付キマシテハ政
府モ不同意ヲ主張セヌト云フコトヲ明言セラレテ居リマス、語ヲ換ヘテ申シマスルト、此改
正ニ同意ヲスルト云フコトニ歸著致シマス、次ニ民事訴訟用印紙法中改正法律案、本
案ニハ修正ノ意見が出マシタノデアリマスガ、結局字句ノ修正ヲスルダケニ歸著致シマシ
テ意味ノ修正デハアリマセヌ、其他ハ原案ニ可決致シマシタ、次ニ商事非訟事件印紙
法中改正法律案、是ハ原案ノ通可決ヲ致シタノデアリマス、次ニ行政訴訟書類印紙
法中改正法律案、チョット間違ヒマシタ、行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律
案、是ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、ニ二案共、唯今ノ修正ヲ除クノ外ハ原案ニ可
決ヲ致シタノデアリマス、此段ヲ報告致シマス

○議長（長谷場純孝君） 日程第十八、帝國大學特別會計法中改正法律案特別
委員長報告

（演名信平君登壇）

第十八 帝國大學特別會計法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長）

○演名信平君 帝國大學特別會計法中改正法律案ノ委員會ノ決議ヲ報告致シマ
ス、本案ハ説明書ニモザイマスル通り、此度政府が増俸ノコトヲ行フニ當リマシテハ、
東京、京都兩大學ノ方ニ亦同様ノ措置ヲ採リタイト云フコトデアッテ、ソレニハ財源ト
律案ハ終止ヲ致シタノデアリマス、ソレハ法律ニ第十一條中「金二十圓」ヲ「金四十圓」

が出来タノアリマス、然ルニ委員會ニ於キマシテハ政府ノ増俸ノ程度ニ於キマシテハ、同

大學政府支出ノ金額ニ付キマシテハ百三十五万八千八百三十八圓、京都帝國大學生會ハ満場一致ノ決議ヲ致シマシテ、他ノ豫算案其他增俸ニ關スル方面ノ金額ノ即チ増俸ニ對スルトコロノ程度ニ於キマシテ此特別委員會ニ於キマシテハ、政府ガ此改正案ニ承認ヲ與ヘルコト、ナシタノアリマス、即チ其金額ハ御手許ニ差上ゲテ置キマスル報告書ノ通

リ、東京大學ノ支出金額ニ付キマシテハ百零四万千圓百圓、即チ此修正ヲ以テ特別委員會ハ満場一致ノ決議ヲ致シマシテ、サウシテ此段御報告ヲ致シマス

○村松恵一郎君 本員ハ元田委員長ニ質問ヲ致シマス

○元田肇君 動議ガアリマス

○村松恵一郎君 発言權ヲ得テ居ル、默クテ御居デナサイ、本員ハ元田君ニ御尋ガアル

ノテアリマスカ、先刻ノ御報告ノ中ニ國民負擔ノ公平ヲ保ツト云フコトヲ主トシテ審査ヲシタト云フヤウナ御報告デアッタ思ヒマス、若シ然ラバ此所得稅ノ如キ今回ノ稅制整理ノ中テ稍減程的ノ意味ニナシテ居ラズ、其金額モ彼此五百万圓近イ金アルト思ヒマスガ、左様ナモノヲ取シマシテ置イテ、サウシテ此一方ニ於テ僅ニ八厘ノ減租ヲシタ

ト云フコトヲ、即チ一方ニ於テハ所得稅ノ金額ノ中ニ五百万圓近イモノヲバ一方ニ於

テ——八厘ノ減租ヲシテ、ソレガ果シテ國民ノ負擔ノ公平ヲ保ツト云フ考デアリマスカ、ウシタト云フ御考デアリマスカ(ノウ)ト呼フ者アリ)ソレカラ第一ニハ此地租ノ八厘減ト云フコトヲ申シマシタガ、名稱ノ上デハ八厘減アルカモ知レナイガ、先ツ此四十三年度ニ於テ減額スベキ七八十萬圓ノ中カラ彼ノ所得稅ノ中ノ五百万圓近イモノヲ取リマスルト、實際國民ノ負

擔ノ輕減スルモノハ僅ニ三百萬圓内外シカナインデアリマスガ、ソレデモ國民ノ負擔ヲ輕減ト云フ御考デアリマスカ(ノウ)ト呼フ者アリ)ソレカラ第三ニハ委員會ニ於テ多數ハ八厘減が多カシタノアルカラ、ソレヲ見テモ輿論デアルト云フ御言葉ガアリマスガ、委員會ニ於テ多數デアツカラト云シテモ、本會ニ於テ屢々反對ノ結果ヲ見ルコトガアル(ノウ)ト呼フ者アリ)議場騒然)況ヤ地租一分減ト云フモノハ最近マテ政友會全體ノ輿論デアタ、現ニ協議會トカ或ハ政務調査會ニ於テハ一分減ヲ決定シタト云

フコトヲ聞イテ居ル、然ラバ其當時マテハ元田君モ一分減ヲ輿論デアルト御認メニシタルト云フノハ、抑、如何ナル理由デアルカ、之ヲ伺ヒタ

○元田肇君 私ハ御答スル前ニ少シ落シタコトガゴザイマスカラ、一言ダケ前報

補テ置キマスルガ、地租條例中改正法律案修正ノ結果ト致シマシテ、宅地價修正法案中ノ第一二十一條一項一號中ノ百分ノ四箇トゴザイマスルノヲ、百分ノ三箇四ト云フ

コトニナリマシテ、同二項中ノ百分ノ五箇半ヲ百分ノ四箇七ト致スノガ當然ノ結果トシテ改メルノデ、改メアルノフ詳シク報告シテアリマセナンダカラ、之ヲ補テ置キマス、ソレカラ唯今村松君カラ甚ダ奇異ナル御尋ニ與シタノデアリマスガ、本員ハ委員長トシテ委員會ノ經過ヲ報告シタノデアル、吾輩ノ意見ヲ御尋ニナルト云フナラバ吾輩ノ意見ハ

イロイロゴザイマセウガ、ツマリ委員會ニ於テ質問ヲ政府ニ致シテ、今日ハ餘裕ガアルカラシテ稅制整理ニ及シダト云フ政府ノ言明、並ニ其政綱ハ誠ニ結構デアルガ、負擔ノ均一ヲ保ツト云フコトヲ政綱ノ箇條トシテヤラレルナラバ、何故ニ地租ヲ困却シタカト

云フコトヲ苛ク政府ニ事情ヲ具ヘテ質問ヲ追シタト云フ報告ヲ致シマシタガ、是ハ報告ナシテ捕者ノ意見デハナイ、委員長ハ自己ノ意見ヲ述ブキモノデハナイ、唯報告ヲ致シタ

ノデ(ヒヤー)ト呼フ者アリ)ソレカラ所得稅ヲ撤回シタノハ、サウシテ其財源ヲ地租ノ方ニ持ツテ往ツタノハドウ云フ譯カト云フニ、是ハ間違ヒノ御尋デアルト思フ、本員ガ所

得稅ヲ撤回致シタコトハナイ(ヒヤー)ト呼フ者アリ拍手起ル)政府ハ調査不十分デ

アルト云フコトヲ致回サレタノデ、何モ關係ノナイコトデアリマスカラ、答辯スルノ責任ヲ有マセヌ、是タケラ申シテ置キマス……

○福田又一君 動議ガアリマス

○議長(長谷川輔孝君) 福田君ニ許シマシタ

○福田又一君 唯今庄田君ノ御答ハ餘程理窟ニ適テ居ルヤウデアリマスカラ、少々ノ時間ヲ藉サレントコトヲ願ヒマス、先程元田君ハ若シ一分減ヲ主張スルナラバ不成立ノ眞

人カラ云フタト云フコトヲ聞イテ居ラズ、此不成立ニ終ルト云フ事柄ハ委員長自身が感ゼラレテ述ベラレタヤウニ聞イテ居リマスガ、若シ併ナガラ不成立ニ終ルト云フコトガ委員會ノ何

ガアル、トスウ云フコトヲ云ハレタガ、私ハ其不成立ニ虞ガアルト云フ言葉ハ委員會ノ何

人カラ云フタト云フコトヲ聞イテ居ラズ、此不成立ニ終ルト云フ事柄ハ委員長自身が感ゼラレテ述ベラレタヤウニ聞イテ居リマスガ、若シ併ナガラ不成立ニ終ルト云フコトガ委員會ノ何某ガ言ハレタナラバ其人ニ問ヒマス、不成立ニ終ルト云フコトガ委員長ノ御意見ナレバ不成立ニ終ルト云フコトハ何等ノ意味デアルカ、或ハ政府ノ解散デモ恐レルト云フ

ノデアリマスカ、之ヲ私ハ承リタ

○元田肇君 滿足サセルタメニ御答ヲ致シマス、是八厘減ヲ稱ヘマシタノハ——動議ヲ

起シタノハ阿部君ニアリマス、先刻演壇デ報告シテ置キマシタ、阿部君提案ノ理由ニ曰

ク云々、大熊三之助君ノ地租一分減ノ提議ヲ致シタ其理由ニ曰ク云々、ト云フヤウニ

悉ク報告シテアル、宜シク御考慮ラ願ヒマス

○守屋此助君 私ハ今日ノ日程ノ第一ヨリ第十八ニ關聯シタノ問題ヲ提出シテ内

閣ニ問ヒタインデ、ソレハ當年ノ財政計畫ニ於テ四百万圓、五百万圓ト云フ財源ノア

シテ、此事柄ニ付テハ委員會ニ於テ政府委員ハ何ト答ヘタ、餘程正直ナ答ヲシタ、何ト答ヘ

タカト云フト地租八厘減ヲスルタメニ其財源ガナイカラ、其財源ノ一つニ數ヘルタメ所得

稅法案ヲ撤回致シマスルト政府委員ハ——責任アル政府委員ガ斯様ナ答ヲシタ、サウ

云フト先刻總理大臣ヨリ御話ガアッタコロノ例ノ所得稅法案ノ撤回ノ結果デアリマス、此事柄ニ付テハ委員會ニ於テ政府委員ハ何ト答ヘタ、餘程正直ナ答ヲシタ、何ト答ヘ

タ法案ヲ又スニヲ退ケルノナル、斯ウ云フコトヲ言シテ、立憲國ノ責任ヲ大臣宰相ノ舉動ハ如何ニモ大臣宰相ノ舉動ヲシクシテ貴ヒタ、ソレテ是ハ斯クノ點が再調査ノ必要ヲ感ズルト云フ事柄ヲ言ハルレバ、此今日ノ第一ヨリ第十八マデノ議案ニ付テ賛否ヲ決スルニ大變ノ根本ニナル、ソレテ再調査ノ必要ヲ感シタノアル、此再調査ノ必要ヲ感シタノア、此議會ニ又再調査ヲシテ出サレルカ、モウ此議會ニ出サヌノカ、此次ノ議會ニ再調査ヲシテ出スノカ、結局ハ問題ガ一ツニナル、再調査ノ必要ヲ感ゼラレテ、アノ法案ノ何處何處が不備ト感シテ自ラ出シタ勅命ヲ奉ジテ出シタモノヲ退ケルト云フ事實ニ付テ「一々言シテ貰ヒタ、次ニ再調査ノ上提出スル時期如何、此議會アルカ、次ノ議會アルカ其事柄ヲ問ヒタ、何ノ事ハ委員會明言シ、八厘減ノ稅源ニ使ハレルノデナイト云フコトハ明カニ言ハレタカラ、サウスルト四百五十万カラ五百萬ノ金ガ剩ルコトニナル、此金ハドウナサルカ此事ハ附ケタリニ問ウテ置キマス」

（内閣總理大臣兼大藏大臣侯爵桂太郎君登壇）

○内閣總理大臣兼大藏大臣（侯爵桂太郎君）唯今ノ質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、勅裁ヲ經テ而シテ出シタモノヲ撤回ヲシク理由ハドウデアルカト云フコトアル、即チ先刻此問題ニ付テ申述ベマシタ如ク、再調査ノ必要ガアルカラシテ再ビ勅裁ヲ經テ、裁可ヲ經テ、撤回ヲ致シタト云フコトヲ御答ヲ致シタ

○守屋此助君 其事實ヲ問フノダ、ソレカラ其次ニ提出スル時期ヲ答ヘテ貰ヒタイ

（金ガ剩ルゾ」ト云フ者アリ）

（内閣總理大臣兼大藏大臣侯爵桂太郎君登壇）

○内閣總理大臣兼大藏大臣（侯爵桂太郎君）調査ノ必要ガアルカラシテ、撤回ヲ致シタノテ、分シテアレバ隨ラテ撤回ヘ致サヌノアリマス

（來年ノコトヲ聞イタノデス」ト呼フ者アリ）

○長晴登君 議長

（答フル能ハザルカ」ト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君）長晴登君

（「ノウノ」ト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君）長晴登君

（「贊成々々」ト聲起ル）

○小川平吉君 議長

（「贊成々々」ト聲起ル）

○議長（長谷場純孝君）小川君ハ長晴登君ノ動議ニ對シテデスカ

○小川平吉君 ソレニ對シテデス、議場ノ紛擾ヲ避ケルガタメニ此際動議ノ趣意ヲ明カニシテ置キタイト思フ、只今長君ノ動議ニ依レバ、十八ノ議案ヲ一括シテ議題ニ供スルト

豫算ト關係シ、互ニ相關聯スルガ故ニ、之ヲ一括シテ討論ニ致シタトイ思ヒマス

○議長（長谷場純孝君）小川君ハ長晴登君ノ動議ニ對シテデスカ

○小川平吉君 ソレニ對シテデス、議場ノ紛擾ヲ避ケルガタメニ此際動議ノ趣意ヲ明カニシテ置キタイト思フ、只今長君ノ動議ニ依レバ、十八ノ議案ヲ一括シテ議題ニ供スルト

云フコトアリマスガ、此議案ハ如何ニモ財政計畫三關係シタ點カラ見マスレバ、互ニ相

關聯スルトコロガアル議案アリマスガ、併ナガラ各法律案ハ各別個ノ性質ヲ備ヘタ案ア

而シテ今發言ノ通告ニ依リマスレバ、政友會ノ方カラハ尾崎、大岡、竹越君此三君

が凡テノ十八ノ議案ヲ通シテ發言通告ヲセラレテ居ルノミアリテ、其他ノ諸君ハ一人モ

政友會ニハゴザイマセヌ、然ルニ他ノ派ノ通知表ヲ見マスルト、各派ヨリ各人ミ或ハ武富

君或ハ島田君、或ハ阪本君各法律案ニ付テ別々テノ反對演説ノ通告ガアルノアリマス、此ノ如キ場合ニ於テ私ノ氣遣ヒマスルコトハ、此處ニ十八ノ議案ヲ一括シテ一ツノ議題ト致シタクメ、此反對ノ方ノ人ハ各一箇若クハ一箇ノ法律案ニ付テ反對ノ演説ヲシテ、又其他ノ反對派ノ人モヤハリ各一箇若クハ一箇ノ法律案ニ付テノミノ反對演説

ヲシテ、而シテ他ノ法律案ノ大部分ニ付テ反對ノ演説ヲスルコトヲ遮リテ討論終結ヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、此ハ法律規則ニ反シテ討論ヲ遮ルト云フ結果ヲ來シマスカラ容易ナラス結果ニナル、此ノ如キコトガアリマスナラバ議場ハ又驚クベキ紛擾ヲ讓サナケレバナラヌ、故ニ私ハ茲ニ確メテ置キタイコトハ、長君ノ動議ハ十八ノ議案ヲ一括シテ議題ト爲スケレドモ、各法律案ニ付テ法律規則ノ許ストコロノ討論ヲスルコトヲ遮ギル趣意テナイト云フコトヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス

○長晴登君 私ハ便宜ノタメ一括シテヤルニ付テ、此修正案ハ別々ニ決採ルノ必要ガアレバ、議長ハ當然整理上便宜ヲ計テ別々ニ決ヲ御採リニナルデアラウト信ズル、併ナガラ是ハ註文モ何デモアリマセヌ、只一括シテ討論ヲシタトイ

ト言權ヲ有シテ居ル次第デ、之ニ對シテハ議長ハ相當ノ行動ニ出ヅルコトト思ヒマスカラ、私ノ答辯スル必要ハアリマセヌ、又討論終結ノ問題ニ付テハ未ダ起ラヌコトデ、是ハ私ガ起ラヌモノト限シタ譯デハナク、又私が起ラスカモ知レマセヌガ、其事ハ今申上ケルコトハ出來マセヌ、而シテ唯此十八ノ議案ヲ一括シテヤルニ付テハ、此修正案ハ別々ニ決

ト採ルノ必要ガアレバ、議長ハ當然整理上便宜ヲ計テ別々ニ決ヲ御採リニナルデアラウト信ズル、併ナガラ是ハ註文モ何デモアリマセヌ、只一括シテ討論ヲシタトイ

ト言權ヲ有シテ居ル次第デ、之ニ對シテハ議長ハ相當ノ行動ニ出ヅルコトト思ヒマスカラ、私ノ答辯スル必要ハアリマセヌ、又討論終結ノ問題ニ付テハ未ダ起ラヌコトデ、是ハ私ガ起ラヌモノト限シタ譯デハナク、又私が起ラスカモ知レマセヌガ、其事ハ今申上ケルコトハ出來マセヌ、而シテ唯此十八ノ議案ヲ一括シテヤルニ付テハ、此修正案ハ別々ニ決

地租條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續

(武富時敏君登壇)

(拍手起ル)

○武富時敏君 私ハ地租條例中改正法律案委員會ノ報告ニ反對ヲ致ス^{タメニ}此演壇ニ立ツタ次第デゴザイマス、此問題ハ事理極メテ明白、殆ド多辯ヲ弄スルノ餘地ガナイト信シマス、ソレ故ニ私ノ述ブルトコロモ極メテ簡單、第一地租ヲ減輕スルト云フコトハ今日舉國一致ノ輿論ニナシテ居ル、政友會ノ諸君モ大同派ノ諸君モ吾ミ進歩黨其他ノモノハ勿論ノコト、政友會ノ諸君サヘモ地租ノ八厘減ト云フコトニ遂ニ政府ヲシテ同意セシメラレタ、其苦心ノアルトコロハ吾々モ多ストスルニ憚カラヌ、併シ唯憾ムラクハ其地租八厘減デ莫大ナ犠牲ヲ拂フテアル(ヒヤー)ト呼フ者アリ)是がタメニハ所得稅ノ改正法律案ヲ撤回サレ、通行稅ノ一部廢止法律案モ否決サレントシテ居ル、營業稅ノ改正案ノ如キモ、案其ノモノ、可否ノ得失ハ措イテ問ハズ、免ニ角是ハ政府ガ歲入ヲ減ズル國民ノ負擔ヲ減ズルト云フ趣意ニ依ツテ組立ツテ出シタ案デアル、ソレモトウナリマスカ今日デハマダ分リセヌガ、是モ多分ハ愚圖々ニ延期サレテ、此議會ヲ過スコトデアラウト信ズル、此ノ如ク此地租八厘減ノタメニ大ナル犠牲ヲ拂ハレテ居ル、殊ニ又此案ニ向テ政府が同意ヲ表シテ居ルト云フニ至ツテ驚カザルヲ得ナ(ヒヤー)ト呼フ者アリ拍手起ル)當議會ノ初メニ當ツテ桂内閣總理大臣ハ何ト演説ヲシテ、政府ノ施政ノ方針トシテ非常特別稅法ハ戰時多忙ノ際ニ制定セラレタモノニアツテ、其各種ノ法律中ニハ、納稅者ノ彼此負擔ノ均衡ヲ失スル甚シキモノガ幾ラモアル——幾ラモアルト云コトヲ政府ハ自白スルニ憚ラヌ、ソレ故ニ之ヲ改正シテ國民負擔ノ均衡ヲ得セシムルト云フコトハ今日ノ急務アル、ソレ故ニ其中ノ最モ急ナルモノ——最モ急ナルモノト云フ言葉ニ對シテハ總理大臣ハ殊ニ力ヲ籠メテ言タ(拍手起ル)最モ急ナルモノヲ改正案ヲ具シテ議會ニ提出シタ、是ガ政府ノ財政計畫デアル、政府ノ施政ノ方針デアルト云フコトハマダ吾々ノ耳ニ極ク新シク残ツテ居ル、ソレヲ今度ノ計畫ニ依レバ委員會ノ決議ニ依ツテ明カル通り地租ヲ八厘減ニスル、ソレガタメニ所得稅ハ撤回スル、營業稅ノ改正モ先ツ止メル、通行稅ノ廢止モ止メル、然ラバ政府が施政ノ方針トシテ當議場ニ演説シタノハ何處ニ存シテ居ルカ、政府ノ財政策ト云フモノハ根本カラ壞ハサレテシマツテ居ル、勿論政府ノ財政策ニ對シテハ吾々ハ反對スル、贊成スルモノデハゴザイマセヌ、併ナガラ此政府ノ財政策モ免ニ角一種ノ財政策アル、而シテ是ガ政府ノ方針トシテ天下ニ宣明シタモノハ根本カラ壞ハサレテ、而シテ恬然トシテ其位ニ安シテ居ルト云フコトハ何ノ面目ガアル(拍手起ル)凡ソ此意見が行ハレテ進ミ、行ハレサレハ退クト云フコトハ、古ノ大臣宰相モ皆然リ、況ヤ今日ニ立憲國ノ國務大臣タルモノニ於テヲヤ(拍手起ル)自己ガ天下ニ宣明シタ政策ハ根本カラ壞ハサレテ、而シテ晏然トシテ其位ニ安シズルト云フノハ何ノ理由ゾ(拍手起ル)誠ニ責任ヲ知ラザルノ甚シキモノト言ハザルヲ得ナ(拍手起ル)人或ハ政府ヲ辯護スルモノハ是ハ輿論ヲ容ル、ノデアル、地租八厘減ヲ同意ヲシテ、ソレガタメニ政府ノ計畫ニ係ル財政策ハ捨テ、シマッテ、地租輕減ト云フコトが今日ノ輿論アルカラ輿論ニ從フノアアル、斯様ナコトヲ申シテ居ル、成程輿論ヲ容ル、ト云フコトハ誠ニ是ハ政治家ノ美德、殊ニ政府ニ立ツ者が始終輿論ヲ察シナケレバナラヌ、又輿論ヲ容ル、ト云フコトハ誠ニ結構ナ次第デゴザイマスガ、政府若シ果シテ輿論ヲ容ル、ノ誠意ガアルナラバ、吾々ノ地租一分輕減ニ向シテ無條件同意ヲ表サナケレバナラヌ(拍手起ル)輿論ハ有ラユル犠牲ヲ拂シテモ地租八厘減ヲ主張スルノアハゴザイマセヌ、一方ニ所得稅ノ輕減スベキモノヲモ止メ、年來惡稅中ノ最モ惡稅トシテ苦情百

出シテ居ル、通行稅ノ廢止ヲモ止メテマテモ、地租八厘減ヲ望ムノデハゴザイマセヌ、又徵稅上ノ困難が非常甚シクシテ納稅者ノ困難非常ナ苦痛ヲ極メテ居ル營業稅ノ改正ヲ止メテマテモ、地租八厘減ヲ望ムノデハゴザイマセヌ、所得稅ノ輕クスベキモノヲモ止メ、通行稅ノ廢止スベキモノモ止メ、而シテ地租ノ八厘ヲ減ズルノハ國民負擔ノ上ニハ幾許ノ違ヒガゴザイマセウ、地租ノ八厘ヲ減ジタダケアハ、所得稅通行稅ノ増シクノニ同シ結果デアル、斯様ナ朝ニ暮四ノ計、而モ立憲國ニアルベカラザル暮夜閣僚ト黨派ノ首領ト相會シテ天下ノ輿論ヲ無視シテ、互ニ私利ヲ争フト云フニ至ツテハ輿論ノ奮起シテ攻撃措カザルトコロデゴザイマス(拍手起ル)眞ノ輿論ハ——國民ノ輿論ハ絕對ニ國民ノ負擔ヲ輕減シ、民力ヲ休養シテ經濟ノ發達ヲ計ルト云フノデアル(拍手起ル)然ルニ諸君ノナストコロハ皆朝ニ暮四ノ計、而モ立憲國ニアルベカラザル暮夜閣僚ト黨派ノ首領ト相會シテ天下ノ輿論ヲ無視シテ、互ニ私利ヲ争フト云フニ至ツテハ輿論ノ奮起シテ攻撃措カザルトコロデゴザイマス(拍手起ル)此故ニ吾々ハ真正ノ輿論ヲ表明スルタメニ此委員長ノ報告ニハ反對致シマシテ、地租ノ一分輕減說ヲ主張致シマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 尾崎行雄君 演壇ニ登ル前ニ確メテ置クノハ、唯今ハ一讀會アルカ、二讀會デア

ルカト云フコトデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 唯今ハ一讀會ノ續デアリマス

○尾崎行雄君 今武富君ノ言ハレタ一分減ト云フノハ、是ハ二讀會ニ提出スベキ問

題デアルト思フ、一讀會ニ於テ全體ノ反對ヲスルナラバ此場合ニ……

〔「反對ノ理由タ」「順序ヲ知ラヌノダ」「委員長ノ報告ニ反對スルノダ」ト呼フ者アリ〕

○尾崎行雄君 演壇ニ登ル前ニ確メテ置クノハ、唯今ハ一讀會アルカ、二讀會デアルカト云フコトデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 唯今ハ一讀會ノ續ニ各條ノ修正ヲ御許シニナリマス

○尾崎行雄君 一讀會ノ續ニ各條ノ修正ヲ御許シニナリマス

(「ソレハ反對ノ理由ナリ」「一分減反對ノ理由ナリ」ト呼フ者アリ議場騒然)

○尾崎行雄君 御黙リナサイ、本員ハ此地租條例ノ二讀會ヲ開クト云フコトニ付テハ、滿場一致ヲ以テ反對者ハナイモノト認メテ居リマス——此邊ノ連中ハ二讀會ヲ開クト云フコトニ付テハ反對ヲシテハ居ラヌ苦ニ違ヒナ、然ラバ第一讀會ニ於テ(「反對ノ理由ナリ」ト呼フ者アリ)本員ハ討論ヲスルノハ無用ナリト信シマスが故ニ……(「尾崎君ノ言フ通「贊成者ハナノダ」ト呼フ者アリ、議場騒然)

○尾崎行雄君 全體其邊ノ連中ハ間違テ居ルノカモ知レナ、議長モモウシ議場ヲ整理ナス^{タラ}宣カララウシ、又間違テ居ル御方ハ其間違ヲ御改メニナルガ宜カラウト思フ

(「ノウ」「ヒヤー」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 議長ハ議場ノ整理ハシテ居ル管アリマス、ソレデ武富時敏君ノ通告ハ第一讀會ニ通告シテ居ルノアリマス、ソレデ武富君ヲ呼ビマシタ(「ヒヤー」ト呼フ者アリ)

○武富時敏君 吾々ハ地租條例改正法律案ノ第一讀會ヲ開クニ反對ヲスルモノニアリマス(拍手起り、笑聲起ル)

○大岡首造君 是ハツ御相談ヲ致シタ方ガ宣カラウト思ヒマス(「無用タマ」ト呼フ者アリ、議場騒然)一讀會ニ諸君ノヤウニ反對シテシマフト一部ノ修正ヲスルコトが出来ナクナル(「ヒヤー」「ノウ」「ヒヤー」ト呼フ者アリ、議場騒然)此意味ニ於テ議長ニ議場ノ整理ヲシテ貴ハナケレバ、此議事ノ進行ハ出來ヌト思ヒマス

○議長（長谷場純孝君）先刻諸君が御決定ニナシタガ如ク、日程第一ヨリ第十八マデヲ一括シテ議題トナス、サウシテ一讀會ノ續ノ討論ヲ開クト云フコトニナシテ居ルノアル、然ルニ武富時敏君ハ第一讀會ニ於テ地租條例ニ對シテノ發言通告が第一番ニアリマスカラ、之ヲ許シタノデス、所が今武富君が明言サレルが如ク自分ハ一讀會ヲ開クベカラズト云フ意見デアル、之ヲ述ベタト云フコトヲ今明言サレタ、ソレテ分ダテ居ル（政友會ノ議長ニサヘ分ダテ居ル）ト呼フ者アリソレ故ニ此頤席ニ依ダテ通告者ヲ呼ブノアル——尾崎行雄君

（「議長々々ト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君）尾崎君ニ發言ヲ許シマシタ

○尾崎行雄君 本員ハ演壇ニ登ル前ニ一讀會ニ於テ殆ド原案ヲ維持スルノ必要ナキモノト認メテ居リマスルガ故ニ、此言說ハ無論ノコトニ二讀會ニ於テ論ズベキ八厘減ト云フコトニ重キヲ措クノテアルガ、ソレヲ述ベテ宜イカ否ヤト云フコトヲ豫メ許可ヲ得テ置キ

（「ソレハ勝手ダ」ト呼フ者アリ）

○尾崎行雄君 勝手トハ言ヘマセス

○議長（長谷場純孝君）原案維持デアルナラバ此場合ニ御述ニナルガ當然ト思ヒマス、即チ一讀會ヲ開クベシト云フ御說ナラバ……尾崎行雄君

（「議長公平ナリ」ト呼フ者アリ）

（「尾崎行雄君登壇」拍手起ル）

○尾崎行雄君 本員ハ此場合ニ於テ第一讀會ニ反對者ノアラウト云フコトハ豫期セナカッタノデアリマス、元來カラ言フナラバ一讀會ニ反對スルト云フコトハ、申スマデモナク原案全部ヲ廢棄スルコトデアル、廢棄スレバ是ニ於テ地租問題ハ消滅スルノデアリマス、地租問題が消滅スレバ其後ニ於テ八厘減モ一分減モ左様ナ問題ノ起ラウ筈ハナイノデアリマス、全體一讀會ヲ經過シテ然ル後其問題ニ入ルノガ當然ノ順序アル、併ナガル所トドコニ違ヒガアルノデアリマスカ、吾々農民ノ疾苦ヲ憐シテ、地租ヲ減ラサウト云フノデアル、諸君モ亦減ラサウト云フノデハナイカ、若シ廢棄シテ減ラスニハ反對ト云フナラバ、是ハ免ニ角議論デアル、吾ミカ減ラサウト云フ、諸君モ亦減ラサウト云フ、唯違ラ所ハ八厘減ラスカ一分減ラスカト云フノデアル、其差僅ニ二厘、此二厘ノ差ハ諸君ヲ狂セシム程ノ値打ガアルヤ否ヤ、本員ハ問ヒタイノデアル（「吾ミハ妥協ニ反對」ト呼フ者アリ）……

○議長（長谷場純孝君）先づ皆サン靜ニ御聽キナサイ、規律ヲ守ダテ……

○尾崎行雄君 二厘ハ金額ニスレバ僅ニ二百有餘万圓、一年ニ二百有餘圓ノ金ハ全國農民ノ頭數——四千万農業ノ人口ニ割當シレバ一年僅カ五錢カ六錢ノ金デハナイカ、其五錢カ六錢ノ金ヲ以テ狂スルバカリ駆立テルト云フノハ諸君ハドウカシテ居ルノデナイカ（「ノウ／＼ト呼フ者アリ」）若シ得ベクンバ吾ミト雖モ出來ルダケ減額ノ多キコトヲ望ンデ居ルノデアル（「ヒヤ／＼ト呼フ者アリ」）恐ラク農民ニ同情ヲ表スルト云フ一默ニ於テハ、吾ミ同志ノ士ハ何人ノ後ニモ落チヌデアラウト思フ、即チ本員ノ如キハ、明治二十二年ヨリ今日ニ至ルマテ、此地租問題ノタメニハ畢生ノ力ヲ盡シテ爭ウテ

居ルノデアリマス、苟モ其歴史ヲ知シテ居ル者デアルナラバ、今日ニ於テ本員以上ノ盡力ヲシタト云フコトヲ述べ得ル者ハ一人モナイ筈デアル、議會ニ入ラテカフ二十三年以來一日ノ如ク地租問題ノタメニハ盡力シテ居ルノデアル、議會ニ入ラザル以前ト雖モ、著書ニ於テ、其他ノ方法ニ於テ、總ノ途ニ於テ、一ト通りノ力ハ盡シテ居ルノデアル（「本論ニ入給ヘ」ト呼フ者アリ）唯此ノ如キ問題ハ前記語メレバ僅ニ八厘減ニスルカ、「一分減ニスルカ、即チ其差僅ニ二厘、金額ニシテ二百三四十万圓、是が唯今ノ問題デアル、實ヲ云フナラバ今日五億万圓、六億万圓ト云フ歲計ヲ議スルニ當ツテ、是バカリノ事柄ヲ仰ケシク問題ラシク論ズルノ價值ハナインデアリマス（「ノウ／＼ト呼フ者アリ」）將來ニ於テモ恐ラクハ此ノ如キ議事ヲ見テ可笑シキ議事デアッタト世間ニ批評スルノデアラウ、唯此場合ニ於テ本員ノ喜びノハ、久振リニ武富君ノ雄辯ヲ聽クコトヲ得タノヲ喜ブノデアルガ、唯此問題ノタメニ此雄辯ヲ費サレタコロノ點カラ見レバ、武富君ノタメニ惜ムノデアル、相待ツノ禮デアリマス、故ニ本員ト雖モ亦一言ノ辯ヲ費サルヲ得ナイ（枝葉ニ亘レリ、早ク本論ニ入給ヘ」ト呼フ者アリ）此地租問題ハ減ラス金額ガ多ウケレバ多々益々可ナルコトハ殆ド論ズルノ値打ハナイノデアリマス、八厘ヨリハ一分が宜イ、一分ヨリハ一分五厘ガ宜イ、二分尙可ナリ、唯多キヲ喜ブナラバ何ゾ一分ト云フコトニセズ、一分五厘若クハ一分、イツノコトニ一分二厘ヲ唱ヘテ地租復舊ヲ論セラレタナラバ、稍、筋ノ立ツ議論ニナル（「ソレハ分ダテ居ル」ト呼フ者アリ）ソレ分ダテ居リナガラ之ヲ行ヒ得ナイノハ何トか出来ナイタヌ、諸君ト雖モ忍ンデ一分ト云フ說ニ主張ヲ止メルノデナイカ、諸君が忍ンデ一分ノ主張ニ止メルノ心ハ即チ吾ミガ八厘ヲ主張スルト間シ心デアル、其心アッテ初メテ諸君ト吾ミ殆ド目的モ行キ道モ何セ違ノコトハナインデアル、唯是ニ於テ違フ所ハ出來ルカ出來ナイカト云フ問題、吾ミハ農民ノ疾苦ハ眼前ニ忍ブベカラザル程度ニテ居ルコトヲ知シテ居ルガ故ニ、一日モ早ク之ヲ救ハントスルノ熱誠ヨリシテ、出來ルナラハ一分以上ヲ唱ヘタイノデアル、ケレモ實行ノ不可能ナルヲ見テ已ムラ得ズ八厘ヲ以テ忍シテ居ルノデアル（議場騒然）其理由ハ聽カザレバ分ラザルモノト共ニ此問題ヲ順序ヲ知ラズシテ又之ヲ亂シモ構ハスト云フノデハナイカ、若シ廢棄シテ減ラスニハ反對ト云フナラバ、是ハ免ニ角議論デアル、吾ミカ減ラサウト云フ、諸君モ亦減ラサウト云フ、ガ瑞タシテ騒グトコロノ本問題ノ本體ハ、ドコニアルノデアルカ、吾ミノ唱ヘル所ト諸君ノ唱ヘル所トドコニ違ヒガアルノデアリマスカ、吾々農民ノ疾苦ヲ憐シテ、地租ヲ減ラサウト云フノデアル、諸君モ亦減ラサウト云フノデハナイカ、若シ廢棄シテ減ラスニハ反對ト云フナラバ、是ハ免ニ角議論デアル、吾ミカ減ラサウト云フ、諸君モ亦減ラサウト云フ、アリメルコトが出來ルト思ノノデアル、既ニ實行ヲ主トスル以上ハ、即チ實行シ得ベキ程度ニ於テ、忍ズベキハシラ急バケレバナラス、今日八厘ヲ減シテ吾ミハ未來永劫是テ満足ト云フノデナイ、何レノ場合ト雖モ機會サヘアルナラバ、其非常ナル困苦ヲバ出來ルダケ輕メテヤリタイト云フ心ハ人後ニ落チズ持テ居ルノデアリマス（「ヒヤ／＼ト呼フ者アリ」）實ニ今日農業者ノ困苦ハ本員等ノ口テ述ベタトモ天下ニ分ダテ居ルノデアル、非常ナル重稅ヲ帶ビ、其上ニ穀價ハ下落シ、如何トモ堪ユベカラザル程度ニ至ツテ彼等ハ飢へ且ツ餓ヘテ居ルノデアル、今日ノ場合ハ空言ヲ以テ彼等ヲ救フベキトキデ、ナクシテ、事實ヲ以テ救フベキトキデアリマス、單ニ言葉ヲ以テ喜バセテ濟ムナラハ、吾ミハ一分ト言ハヌ、二分ト言ウテモ宜イガ、實行ヲ是ニ伴ハセントスレバ、實行シ得ベキ程度ニ於テシナケレバナラス、諸君ハ描ケル美酒佳肴ヲ以テ天下ノ人民ヲ喜バセルコト久シ、誠ニ美酒佳肴ハ結構デアルケレドモ、諸君ノ提供シタルモノハ繪ニ描イタモノダケデアル、之ヲ見テ樂シムコトハ出來ルデアラウガ、之ヲ以テ渴者ノ腸ヲ潤スコトハ出來ヌノデアリマス（「ヒヤ／＼ト呼フ者アリ」）而シテ世間若シ裕カニシテ食ヲ十分ニ持チ、衣モ十分ニ著ルコトが出來ルデアルナラバ、美術的ニ綺麗ナル美酒佳肴ヲ描イテ、而シテ世間ヲ喜バセルモ是亦可ナリ、今人ガ饑餓ニ號泣シテ居ルト云フ場合ニ於テ、描ケル美酒佳肴ヲ以テソレヲ

喜べセントスルニ至テハ、本員ハ寧ロ諸君ノ殘酷ナル悲ムノアリマス（拍手起ル）又ツ

レガ若シ左様ナコトダモ、眞ニ諸君が想像スルが如ク、全國民衆ヲ喜バスルニ足ルナラバ、本員ハ又舊同志ノ誼トシテ之ヲ咎メマセス、併シガラ繪ニ描イタ美酒佳肴ヲ以テ世人ハ決シテソレニ満足ヲスルコトハ出來マセス、故ニ苟モ民ヲ救ハント欲スレバ、今日ハ直ニ飲ムコトノ出來ル、直ニ食フコトノ出來ル、食物ヲ與ヘナケレバナラヌノアリマス、八分減ハ極メテ本員ト雖モ十分トハ申サヌノアル、併ナガラ強テ之ニ反対ヲ致シ、之ヲ壞ハシテ一分ト云ヒ、ソレ以上ト云ヒ、而シテ若シ政府ト衝突シ貴族院ト衝突シテ、議論倒レニナッタナラバ、農民ハ如何デアリマセウ（「衝突スルモ可ナリ」ト呼フ者アリ）諸君ハ衝突ノ歴史ヲ知ツテ居ラル、カ、是マデ吾ミが總ア衆議院ノ權能ヲ以テ有ラユルモノヲ排斥シ、其目的ヲ達セント努メタコトハ二十三年以來何回ト云フコトヲ諸君ハ知ラレテ居ルノデアリマセウ、而シテ其衝突ノ結果ハ既ニ茲ニ一年後レ、二年ニ後レ、今日ニ至ルマテ尙未ダ十分ニ其目的ヲ達シ得ナイコトハアリマセヌカ、（「ソレ愚論デアル」ト呼フ者アリ）諸君、愚ト云ヒ、狂ト云ヒ、唯諸君ノ呼ブニ任ズル、唯我全國四千万ニ近キ農業者ハ諸君ノ如ク氣憤ニシテ唯快ヲ一時ニ貧シテ満足シテ居ルモノノアリマセス（拍手起ル）殆ド將ニ溺レントスルモノガ、救フ途ガ一刻ニ瞬時モ早ク來ルコトヲ待ツカ如ク、寶ニ息ヲ殺シテ救ノ來ルノヲ待ツ云房ルノアリマス、此時ニ當ツテ捕ケル食物ヲ提供シ、愚論ヲ主張シテ之ヲ救ハント欲スルセ、彼等ハ決シテソレニ欺カレル程ノ愚デアリマセヌ（拍手起ル）故ニ諸君、願クハ今日ノ場合ニ於テ苟モ農民ノ疾苦ヲ憐ムト云フ情ガアルナラバ、直ニ吾ミノ意見ニ賛成ヲ致シテ、國論ハ此ノ如ク強キモノノアルト云フコトヲ示シ、其勢ヲ以テ貴族院ノ同意ヲ得、政府ノ同意ヲ得、尙其餘勢ヲ以テ來年ニハ更ニ一層輕減ノ實ヲ擧ゲルト云フコトニ力ヲ爲スモ亦可ナリテ、アリマセヌカ、然ルニアルナラバ、直ニ吾ミニ賛成スベキヤアル、吾ミニ賛成シ、國論ヲ茲ニ集メ、其力ヲ通用ハ致シマセヌ、如何ナルモノガ輿論アルカ、恐ラク輿論ノ聲ハ議院ノ中ニ於ケルヨリカ、外ニ於テハ尙更ハキリ分シテ居リマス、舉國一致ノ實ヲ擧ゲントスルニハ、諸君ハ宜シ志ノ無イコトヲ示シタナラバ、或ハ地租八厘ハ八厘減ニシテ將來重ネテ之ヲ減ラス機會ク其提議ヲ撤回シテ吾ミニ賛成スベキヤアル、吾ミニ賛成シ、國論ヲ茲ニ集メ、其力ヲ强大ニスレバ其目的ヲ達スルコドガ出來ルノアル、然ルニ己ニ自ラ端ラズ、勢ノ微弱ナル委員會ニ於テ示セルガ如ク、本會ニ於テモ出來ルノアルカ、金額ニ於テ二三百万圓ノ金ハ小問題アル、全國農民ノ人口ニ之ヲ割當テレバ一人僅ニ五六錢ニ過ギナインアル、之無イカモ知レナノアル、之ヲ要スルニ此ノ如キ小問題ニ熱狂シテ（小問題ニアラズ、强大ニスレバ其目的ヲ達スルコドガ出來ルノアル、然ルニ己ニ自ラ端ラズ、勢ノ微弱ナル委員會ニ於テ示セルガ如ク、本會ニ於テモ諸君ノ同志ノ無イコトヲ示シタナラバ、或ハ地租八厘ハ八厘減ニシテ將來重ネテ之ヲ減ラス機會ク其提議ヲ撤回シテ吾ミニ賛成スベキヤアル、此今日ノ時勢、此今日ノ社會ノ狀態ヲ理解セラレザルモ、敢テ怪ムニ足ヌノアル、之ヲ要スルニ本員ハ此問題ヲ多く辯ヌルノ必要ハナシ、唯八厘減ヲ成立セシムルカ、或ハ全ク何モ一厘モ減ラサナイカト云フダケノ境アル、一分ト言シタコロガ、成立タヌノアル、一分五厘ト言シタコロガ、成立タヌ、皆愚論アル大問題ト云フ程ノ諸君ナラバ、此今日ノ時勢、此今日ノ社會ノ狀態ヲ理解セラレザルモ、敢テ怪ムニ足ヌノアル、之ヲ要スルニ本員ハ此問題ヲ多く辯ヌルノ必要ハナシ、民ヲ愛スルナラバ、十二ニシテ八ヲ達スレバ稍々其目的ニ近キモノトシテ賛成スルが當リ前テアル、天下公平ノ識者、院外公平ノ識者ハ此八厘ヲ減ラスコトニ真正民ヲ愛スル誠ヲ見ルデアラウト信ズルノアリマス（拍手起ル）

（早速整爾君登壇）

（拍手起ル）

○早速整爾君 諸君、私ハ此地租條例改正案ニ付キマシテハ、委員會ノ報告ニモ反對ヲ致シ、又原案ニモ反對ヲスル一人アゴザイマス、唯今ハ尊敬スペキ尾崎行雄君ノ御演說ヲ拜聴シタノデゴザイマスル、先づ最初ニ尾崎君ハ、武富君ノ議論ヲ誤解ヲセラレテ、當席ニ於キマシテイロ／＼武富君ノ意見ノ誤解ニ付テ、言論ヲ費サレタト云フコトハ私共ノ甚ダ遺憾トスルトコロデアリマス、此案ニ反對ヲスルガタメニ、反對ヲスル理由トシテ、武富君ハ八厘減ノ說ヲ駁セタルニ對シ、尾崎君ハ其點ニ謂シテ一讀會或ハ二讀會云々ノ言ヲ弄セラレタルハ、私思フ、尾崎君ハ此讀會ノ規則ニ精通セラレナイ結果ニアラウト思フ（拍手起ル）殊ニ諸君、尾崎君ハ此問題ヲ反對ヲシタ場合ニハ、地租問題ノ議論ヲスル題目ガナクナルデアラウト云フ一言ハ、尾崎君ハ今日ノ議事日程ヲ見ラレナイ認デアル、地租ノ問題ニ付テハ、尙議論ヲスベキ問題が此議事日程ノ中ニ掲グラレテアル、議事日程ノ二十四ニ於キマシテ、非常特別稅法中改正法案ハ既チ明カニ地租問題ヲ諸君ヘ立派ナル趣旨デアルノアル、然ルニ尾崎君ハ此議事日程ヲ一續セラル、ノ勞ヲ奢マレタルカタメニ、マルテ的ヲ外レテ、一讀會一二讀會ノ議論ヲセラレタト云フコトハ、先づ尾崎君ノ御議論ヲ承ル前ニ於テ私共ノ頗ル遺憾ヲ感シタ點デゴザイマス、尾崎君ノ御議論ハ、要スルニ地租ノ八厘減ト云フモノハ即チ實行スベキ考案アル、一分減ヲ唱道スルノハ即チ不可實行のノ議論ヲ弄スルモノアルト云フノガ、即チ尾崎君ノ論旨アル、諸君、一分減以上ノ說ヲ唱ヘルノハ何故ニ不可實行的アルカ、私ハ想フ、諸君が鞏固ナル決心ヲシテ、鞏固ナル意思ノ下ニ、此院論ヲ強メラレタナラバ、一分減ノ實行何カララン、諸君、何故ニ一分減ノ實行セシメナインデアル、諸君、諸君ノ勢力ニ依ツテ——諸君ハ諸君ノ勢力ニ依ツテ一分減ヲ實行セシメ得ルテハゴザイマセヌカ、立憲政治ノ要道ハ、唯政府ト政黨トノ私話ニ依ツテ決トヲ目的ニシテ、而モ裏面ノ與ムベキ事情ト云フモノハ尾崎君ト雖モ茲ニ明言スルコトスペキモノデハゴザイマセス、今日ノ輿論ノ此ノ如ク激昂セル場合ニ當リマシテ、諸君ハ何故ニ此輿論ヲ率ヰアリ立タナインデアル、此輿論ヲ察井テ立ツナラバ、政府ヲシテ何故ニ一分減ノ意見ヲ採用セシムルコトガ出來ヌノアルカ、唯徒ラニ——唯徒ニ實行ト云フコトヲ目的ニシテ、而モ裏面ノ與ムベキ事情ト云フモノハ尾崎君ト雖モ茲ニ明言スルコト能ハズ、諸君ノ議論ハ捕ケル肴肴アル——肴アル、此ノ如キハ私ハ尾崎君ノ本當ノ胸中ヲ窺ツテ、密カニ尾崎君ノ議論が頗ル御困難テアルト云フコトヲ私ハ感シテ居ルノアル、元來僅ニ二厘ノ程度ノ問題ニゴザイマス、今回ニ委員ノ修正案ト云フモノハ、二百幾万圓ノ金アルノアル、序ニ其僅カナルモノモ之ヲ輕減セシムルコトが出來ルノアル、而シテ尾崎君ハ吾ミノ同論者ニ對シテ捕ケル肴ヲ與ヘ、捕ケル酒ヲ與ヘテ、實際ニ之ヲ飲マシメ、實際ニ之ヲ喰ハシムルコトヲシナインデハナイカト云フ御說アルケレドモ、之ヲ喰ハシムルコトヲ欲スレバコソ吾ミハ一分減ヲ主張スルノアル、諸君、妥協ノタメニ二厘ヲ譲歩シテ、ソレガタメニ一方失フ所ハイクラデゴザイマス、所得稅ニ於テ殆ド五百萬圓、竝ニ通行稅ニ於テ百万圓、而シテ尙此地租條例改正案ニ依リマスレバ、宅地價ノ修正ニ依ツテ政府ノ得ル增收ト云フモノハ實三百七十七萬圓ニ及ブノアゴザイマス、二厘減ニ市街宅地租、總ノノ點ニ於キマシテ、實三八百幾十万圓ト云フ此間ニ譲歩ヲ致シテ居ルノアル、諸君が御承知ノ如ク所得稅ハ獨リ是バ商工民ノミニ負擔テゴザイマセヌ、所得稅ノ多數ト云フモノハ、ヤハリ日本ノ農民が最モ多ク負擔シテ居ルトコロノ租稅アル、即

チ今回提出ニ相成リマシタル所得稅ハ、稅制整理案ノ中テハ比較的良い法案デゴザイマシテ此所得稅改正案が通過スル曉ニハ、國民、殊ニ農民ト云フモノハ最モ利益ヲ得ベク組織セラレ居タルトコトノ改正案アル、然ルニ——然ルニ此所得稅ノ改正案ト云フモノガ、此二厘減ノタメニ一方ニ於テ國民ノ負擔ヲ増加セシムルト云フ結果ニナル、想フニ政友會ノ諸君が、今一步鞏固ニ、今一步意思ヲ鞏固ニシテ、此議場ニ於テ鬪フノ勇氣ヲ示サレタナラバ、私ハ地租一分減以上ノコトヲ實行スルニ於テ決シテ困難デハナカッタ云フコトヲ繰返スノデアル、政府が稅制ヲ整理スル上ニ付テ、財源ガ無イト云フコトハ、是ハ政府ノ慣用ノ言葉デアル、昨年ノ議會ニ於キマシテモ、何時テも言フは言草デアル、昨年ノ議會ニ於キマシテモ、其以前ノ議會ニ於キマシテモ、税制ヲ整理スルコトハ宜イケレドモ、常ニ其財源無キヲ憂フルト云フノが政府ノ言草デアル、是ハ何時モ言フ政府ノ慣用ノ言葉デアル、然ルニ諸君、昨年ニ於テハ財源ノ無イト斷言シタルトコロノ政府が、今年ニ於テ大變非常ナル剩餘金ヲ計上致シ、官吏ノ增俸ヲ行フト云フヤウナ、マルテ昨年ヨリハ根本カラ變ツタコロノ案ヲ出スニ至ラノデアル、又今年ノ議會ニ始マリニ於キマシテモ地租問題ト云フ、此輕減ト云フコトニ付テ必シモ政府ハ不同意テハナイ、不同意ニアラズト雖モ財源無キヲ奈何セント云フコトガ、即チ大藏大臣以下度、委員會ニ於テ唱道セラレタル意見デアタ、ソレアアルニ拘ラズ、僅ニ數日ヲ經過スル間ニ於キマシテ、忽チ此地租八厘減ト云フモノ、財源が出來テ來タ、昨年財源ガ無イト云フモノガ、本年ハ多額ノ剩餘金が出來、官吏ノ增俸マテ行フト云フ、本年ノ議會ノ始マリニハ財源が無イト唱ヘテ居タモノガ、昨年ニ至ラ、即チ八厘減ニハ同意シサウナ形勢ヲ呈シテ參タノデアル、斯様ナ次第デゴザイマスルカラ、政府ノ財源ガ無イト云フノハ、即チ政府ノ言草デアル、吾々國民ノ代表者が議會ニ於テ政府ト意見ヲ闘ハヌ三方リマシテ、豫メ政府ノ意ヲ迎ヘテ、財源が無イカラ仕方が無イト云フノハ何タル一體腰抜ケタ話デアル、殊ニ一百幾万圓——一厘ノ差ト致シマシテ二百幾万圓、此財源ヲ求メルト云フコトハ私ハ誠ニ容易ナコトデアルト思フノデゴザイマス、然ルニ尾崎君が僅ニ一厘ノ差僅二百万圓ノ差デアルケレドモ、之ヲ一分減ラシテハ實行が出來ナイト云フノハ果シテ何故デアルカ、私ハ尾崎君ノ言論ヲ承リマシテ、拙ケル肴ニアルト云フ言葉ハ承シタケレドモ、何故ニ之が拙ケル肴デアルカト云フコトハ、ノヲ詳細ニ承認コトガ出來ナカッタノデアル、殊ニ先刻私が申シマシタ如ク、此地租條例改正案ハ、原案ハ確ニ附稅案デゴザイマシテ、宅地價修正ノ結果、此宅地租ニ於キマシテハ、明カニ百七十七万圓ノ增稅が見込ンデアル、諸君ガ、此增稅案ニ對シテ贊成セントスルト云フノハ果シテ何故デアルカ、顧フニ今日國民が負擔ニ苦シテ居ルト云フコトハ、獨リ農民ノミナラズ又市街地ノ商工業者モ同一ノ狀況ニ陥テ居ルノデアル（其原因ヲ知リテ居ルカ）ト呼フ者アリ）諸君國民ノ代表者ト致シテ負擔ノ輕減ヲ計ルニ當リマシテ、農民ニ厚クシテ商工業ニ薄クシテ商工業者ニ厚イノト同シ議論デアル、負擔ノ均衡ヲ保ツト云フ議論カラ申シマスレバ、農民ノ負擔ヲ減ズルト同時ニ、又商工業者ノ負擔ヲモ之ヲ輕ウシナケレバナラヌハ當前デアル、殊ニ地租ニ於キマシテハ、現今ニ於キマシテ農民ガ、即チ田畠ノ所有者が百分ノ五箇半ノ稅率ノ負擔ヲ被ツテ居ルニ拘ハラズ、市街宅地ニ於キマシテハ御承知ノ如ク百分ノ二十、郡村ノ宅地ニ於テモ百分ノ八箇半、斯様ナル重キ負擔ヲ被ツテ居ルノデアル、即チ田畠ノ地租ヲ輕減スル必要ガアル以上、ソレト同時ニ市街並ニ郡村宅地ノ此稅率ヲ輕ウスル必要ガアルト云フコトハ勿論ノ話デアル、ソレデアルノニ諸君ガ何故ニ此宅地租ニ向ツテ輕減ヲ企ナリノミナラズ此案ニ於キマシテ、明カニ宅地租ニ於テハ、百七十七万圓ノ增稅デアル、此增稅ヲ認メテ原案ニ修正ヲ加ヘズ、委員會

ニ於テヤハリ此宅地租ノ點ニ於テハ之ヲ其儘ニ放任ラスルト云フコトハ、政友會ノ諸君ハ即チ此地租條例改正案ニ於テ、市街宅地租ニ於テ明カラ增稅ノ案ニ贊成ヲセラレタモノト断言ラシナケレバナラヌ（拍手起ル）私ハ增稅案ニ贊成ヲセフル、ト云フコトハ諸君ノ意志デハアルマイ思フ、假ニ地租ノ輕減ノ程度ニ於キマシテ諸君ハ八厘減ヲ唱ヘ、吾々ハ一分減ヲ唱ヘル、其程度ノ差ガアルト云フコトハ已ムヲ得ナイト致シマシテニ於キマシテモ、一昨年ノ議會ニ於キマシテモ、其以前ノ議會ニ於キマシテモ、税制ヲ整理スルコトハ宜イケレドモ、常ニ其財源無キヲ憂フルト云フノが政府ノ言草デアル、是ハ何時モ言フ政府ノ慣用ノ言葉デアル、然ルニ諸君、昨年ニ於テハ財源ノ無イト斷言シタルトコロノ政府が、今年ニ於テ大變非常ナル剩餘金ヲ計上致シ、官吏ノ增俸ヲ行フト云フヤウナ、マルテ昨年ヨリハ根本カラ變ツタコロノ案ヲ出スニ至ラノデアル、又今年ノ議會ニ始マリニ於キマシテモ地租問題ト云フ、此輕減ト云フコトニ付テ必シモ政府ハ不同意テハナイ、不同意ニアラズト雖モ財源無キヲ奈何セント云フコトガ、即チ大藏大臣以下度、委員會ニ於テ唱道セラレタル意見デアタ、ソレアアルニ拘ラズ、僅ニ數日ヲ經過スル間ニ於キマシテ、忽チ此地租八厘減ト云フモノ、財源が出來テ來タ、昨年財源ガ無イト云フモノガ、本年ハ多額ノ剩餘金が出來、官吏ノ増俸マテ行フト云フ、本年ノ議會ノ始マリニハ財源が無イト唱ヘテ居タモノガ、昨年ニ至ラ、即チ八厘減ニハ同意シサウナ形勢ヲ呈シテ參タノデアル、斯様ナ次第デゴザイマスルカラ、政府ノ財源ガ無イト云フノハ、即チ政府ノ言草デアル、吾々國民ノ代表者が議會ニ於テ政府ト意見ヲ闘ハヌ三方リマシテ、豫メ政府ノ意ヲ迎ヘテ、財源が無イカラ仕方が無イト云フノハ何タル一體腰抜ケタ話デアル、殊ニ一百幾万圓——一厘ノ差ト致シマシテ二百幾万圓、此財源ヲ求メルト云フコトハ私ハ誠ニ容易ナコトデアルト思フノデゴザイマス、然ルニ尾崎君が僅ニ一厘ノ差僅二百万圓ノ差デアルケレドモ、之ヲ一分減ラシテハ實行が出來ナイト云フノハ果シテ何故デアルカ、私ハ尾崎君ノ言論ヲ承リマシテ、拙ケル肴ニアルト云フ言葉ハ承シタケレドモ、何故ニ之が拙ケル肴デアルカト云フコトハ、ノヲ詳細ニ承認コトガ出來ナカッタノデアル、殊ニ先刻私が申シマシタ如ク、此地租條例改正案ハ、原案ハ確ニ附稅案デゴザイマシテ、宅地價修正ノ結果、此宅地租ニ於キマシテハ、明カニ百七十七万圓ノ增稅が見込ンデアル、諸君ガ、此增稅案ニ對シテ贊成セントスルト云フノハ果シテ何故デアルカ、顧フニ今日國民が負擔ニ苦シテ居ルト云フコトハ、獨リ農民ノミナラズ又市街地ノ商工業者モ同一ノ狀況ニ陥テ居ルノデアル（其原因ヲ知リテ居ルカ）ト呼フ者アリ）諸君國民ノ代表者ト致シテ負擔ノ輕減ヲ計ルニ當リマシテ、農民ニ厚クシテ商工業ニ薄クシテ商工業者ニ厚イノト同シ議論デアル、負擔ノ均衡ヲ保ツト云フ議論カラ申シマスレバ、農民ノ負擔ヲ減ズルト同時ニ、又商工業者ノ負擔ヲモ之ヲ輕ウシナケレバナラヌハ當前デアル、殊ニ地租ニ於キマシテハ、現今ニ於キマシテ農民ガ、即チ田畠ノ所有者が百分ノ五箇半ノ稅率ノ負擔ヲ被ツテ居ルニ拘ハラズ、市街宅地ニ於キマシテハ御承知ノ如ク百分ノ二十、郡村ノ宅地ニ於テモ百分ノ八箇半、斯様ナル重キ負擔ヲ被ツテ居ルノデアル、即チ田畠ノ地租ヲ輕減スル必要ガアル以上、ソレト同時ニ市街並ニ郡村宅地ノ此稅率ヲ輕ウスル必要ガアルト云フコトハ勿論ノ話デアル、ソレデアルノニ諸君ガ何故ニ此宅地租ニ向ツテ輕減ヲ企ナリノミナラズ此案ニ於キマシテ、明カニ宅地租ニ於テハ、百七十七万圓ノ增稅デアル、此增稅ヲ認メテ原案ニ修正ヲ加ヘズ、委員會

○議長（長谷場純孝君） 大岡育造君
〔大岡育造君登壇〕

○大岡育造君 諸君、本員ハ此案、即チ地租條例改正法律案ノ第一讀會ノ通過ヲ希望スル一人デアリマス、元來此問題ハ第一讀會ニ於テハ左程争アルベキ性質ノ問題デハナイノデアル、偶ニ議事上ニ一種ノ簡便ナル途ヲ取ラレタルト云フモノガ、平生ニ異タル進行ガアルタメニ、是ガノ議論ニナシタ過ギナイ、議場ヲ見渡シマスルカラ、専足ラサルトコロアリ、而シテ他ノ一方ニ於テハ、即チ増稅ノ意味ヲ含ムテ居ル、此原案並ニ委員會ノ修正ニ對シテハ吾々ハ斷ジテ反對ノ意ヲ表シナケレバナラヌノデゴザイマスルカラ、私ハ即チ武富君ノ議論ト同様ニ委員會ノ報告並ニ原案トモ此議場ニ於テ排斥セラレントコト希望致シマス

〔「排斥シテ後ドウスル」ト呼フ者アリ〕

○大岡育造君 諸君、本員ハ此案、即チ地租條例改正法律案ノ第一讀會ノ通過ヲ希望スル一人デアリマス、元來此問題ハ第一讀會ニ於テハ左程争アルベキ性質ノ問題デハナイノデアル、偶ニ議事上ニ一種ノ簡便ナル途ヲ取ラレタルト云フモノガ、平生ニ異タル進行ガアルタメニ、是ガノ議論ニナシタ過ギナイ、議場ヲ見渡シマスルカラ、専足ラサルトコロアリ、而シテ他ノ一方ニ於テハ、即チ増稅ノ意味ヲ含ムテ居ル、此處ニ議論ガアルノミテ其他ニハ議論ノナイ筈ト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、故ニ是ヨリ先キ申サントスルトコロモ左程ドウセ諸君ト火花ヲ散ラシテ争フ程ノ議論モナカラウト思ヒマス、然ルニ此案ヲ一讀會ニ於テ否決セネハナラヌト云フ主張が武富君ヨリ出デ、早速君モ亦同說デアルト言ハレマスケレドモ、既ニ地租輕減ヲ採シテ修正スルノが當然ノ途アルノデアル、即チ此處ニ議論ガアルノミテ其他ニハ議論ノナイ筈ト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、故ニ是ヨリ云フコトヲ申サナケレバナラヌノデアル、論點ハヤハリ武富君ノ言ハレタルガ如ク八厘ト一分ニ於テセザルコトヲ得ヌ、吾々ハ八分ト云フコトニ満足ヲ致シテ居ル者デハナイ（八厘デセウ）ト呼フ者アリ）歐羅巴、亞米利加ノ政治ヲ近頃多く採用シテ、總テノ稅法ノ如キヒヤト呼フ者アリ）歐羅巴、亞米利加ノ政治ヲ近頃多く採用シテ、總テノ稅法ノ如キ考ヘルノミテ、實ハ吾々ハ終ニ此地租ナルモノハ大ニ諸君ト共ニ考ヘテ根本的ニ此輕減ノ法ヲ攻究シナケレバナラヌ問題ト思ウテ居ルノデアリマス、世界ノ何レノ國ヲ見渡シマシテモ、由来ナルモノニ此ノ如キ重キ負擔ヲ懸ケテ居ル國ガドコニアリマスカ（ヒヤトモソリニ満足ラシテ居ルノデハナイノデアル、唯實際ニ之ヲ行フ如何ト云フコトニ於テモソリニ満足ラシテ居ルノデハナイノミナラズ此案ニ於キマシテ、明カニ宅地租ニ於テハ、百七十七万圓ノ增稅デアル、此增稅ヲ認メテ原案ニ修正ヲ加ヘズ、委員會

十一億ノ内テ 斯ウ云フ譯合デアル、他ノ歐羅亜各國ニ於キマシテモ概ニ此ノ如キモノデ、地租ヲ唯一ノ財源ノ如ク心得ルノハ、眞ノ是ハ東洋獨特ノ政治振デアルノデアリマス(「ソレダカラ」一ノ減ニシナケレバナラヌ)ト呼フ者アリ)テ固ヨリ吾ミノ考ハ此處ニアルノアリマスカラシテ、八厘モモ満足シナケレバ、一分モモ満足ハシナイ、唯言ノノミニシテ行ハレザルニ比シテハ八厘モ宜イ、斯ウ云フ譯ニナルノデアル、ソコデ(「届從シタノダ」ト呼フ者アリ)届從モ何ニモシナイノアリマス、カラ威張ヲシナイト云フタケノコトニアリマス、又此案ヲ議スルニ於テ妥協ヲシタカラ惡ルイト云フ聲が屢々聞エル、是モ御考物ニアラウト思フ(「妥協ハ非立憲ナリ」ト呼フ者アリ)妥協ガ非立憲ト云フ聲ガアリマスガ、立憲政治ト云フモノハ妥協ノ意味ヲ持ツモノデス、英吉利ノ大政治家が能ク言ツテ居ル、憲法政治ト云フモノハ「コンプロミス」ヲ知ラナケレバ出來ナイト云フコトヲ言ウテ居ルガ、各黨派ニ於ア一人々々カ言ヒタイ儘ヲ通シマシテ果シテ黨議が定マリマスカ、何トカ云フ會ノヤウニ一人々々ガ皆大將デアレバ、ソレハ出來マス(笑聲起ル)ワレデ言ヒタイコトガ出來マスケレドモ、併ナガラ立憲政體ハ行ハレナイ、多數ニ向ツテ一定ノ見識ヲ貫クコトハ出來ヌト云フコトヲ御承知ナラナケレバナラヌノアリマス、而シテ又進歩黨ノ諸君ハ是ハ松隈内閣ノ歴史ニ考ヘテ見ラレモ御分リニナルコトガアルベキ筈、此妥協ナルモノハ根本ニ私ハ否認シナイ、常ニ又之ヲノミ善イトハ言ヒマセスガ、或ル場合ニ於テハ之ヲ必要トスル、即チ日清戰爭ノ當時ノ如ク、日露戰爭ノ當時ノ如ク、上下一致、即チ議論ヲ捨テ、爲シ得ラルベキトコロニ折合シタカラ始メテ勝ツコトヲ得タノデアル(「妥協ノ塊リチャナイカ」ト呼フ者アリ)靜ニ聞給ヘ、斯ウ云フ譯デアルカラ是ハ餘りヤカマシク言フノ必要ハナイ、ソコデ地租ナルモノガ減少シタ——輕減スルト云フコトノ少ナイト云フ意味ハ、誰モ不同意ハ言ハナイ、少ナイケレドモ無キニ優ルト云フコトハ政府ニ於テ財政ヲ整理スルト云フ方針ノ下ニ多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ニ向ツテハ、何等ノ輕減ヲスノ方法ヲ立て、居ラナカッタノデアルカラ、之ニ向ツテ吾ミハ一案ヲ立テタノデアル、所得稅モ營業稅モ或ハ穀物稅モ或ハ酒精稅モ方モ、舉ケテ數ヲペカラザル程——此日程ヲ御覽ナサハ何ヲ致シタカト考ヘテ見ルト無イノデアル、何カ耕地整理ノ關係ガ少シ位見エテ居リマスガ、宅地ノ地價修正ナルモノモ、實ハ或ル制限ヲ置ケテ地價ヲ通シテノ法ニナシテ居テ、全國ノ人民五千万ノ人民ノ其七分ヲ占メテ居ルトコロノ其農民ヲ愛スル意味ハ、ドコニモ見エテ居ラヌノアルカラ、此何ニモナイトコロニ向ツテ吾ミガ八厘ヲ與ヘルト云フコトハ、即チ全國ニ向ツテ均衡ヲ保ツノ是ハ途ヲ講ズルンデアルノデアル、此途ヲ講ズルノが根本的不承知テ否決シナケレバナラヌト云フ御説ハ近來珍シキ説ト言ハナケレバナラヌノデアル、此金決シテ多キニアラズ、併ナガラ武富ガ言ハレル如クニ多クノ犧牲ヲ拂ツテ所得稅モ廢メ、營業稅モ廢メト言ハレルガ、所得稅決シテ廢メタ譯ヘナシ、最早是ハ此儘ニ捨置クト云フノデナクシテ再調査ヲスルト云フノデアルカラ、是非共來年度ニ於ア、若クハ其次年度ニ於テ出サナケレバナラヌノデアル(「ソレハ政友會ニ於テ説明スベシ」ト呼フ者アリ)營業稅ニ於テハ尙審查中テアシテ決シテはハ否決シテ居ラヌノデアル、否決シテハ居リマセケレドモ、是ハ寧ロ稅ニ惡法ガ多クテ負擔ニ堪エナイト云フコトハ諸君ノ机上ニ日々多く集ルトコロノ請願書ノ寫シ、若クハ請願ニ依テ知

タル(拍手起ル)シテ見ルト云フト地租ニ於テハ十分デハナイケレドモ、約一千万圓ヲ減少シ得ル譯デアル、是カラ所得稅ニ於テモ次ノ年度位ニハ減少が出來ルデアラウ、營業稅モシト善イ方法ヲ講シテ減稅スル方法ヲ取ダテ、國民ノ迷惑ヲ去ルコトト思フ(「妥協ハ非立憲ナリ」ト呼フ者アリ)妥協ガ非立憲ト云フ聲ガアリマスガ、立憲政治ト云フモノハ妥協ノ意味ヲ持ツモノデス、英吉利ノ大政治家が能ク言ツテ居ル、憲法政治ト云フモノハ眞ニ政府が誤シテ居ルカラ、先刻報告シタルトコロテモ大概御承知デアラウト思フ、ヤルナラバ速ニヲシテ而シテ普ク均ニスレバ宜イノデアル、此外ニ砂糖稅ニ於テモ減少シテ居リマスレバ、穀物稅ノ中テモ即チ毛穀物ニ付テハ百万圓バカリ減シテ居ル(「ソレハ政府案ダ」ト呼フ者アリ)政府案ニモ宜イテハナイカ、誰ノ案ニアラウガ、減稅シテ幾ラカ宜シケレバ、結構デアリマセスカ、此ノ如キモノデアッテ左様諸君ガ之ヲ斥ケナケレバナラヌト云フコトハナイ、又通行稅ニ至ツテハ是ハ寧ロ政府ノ何等カノ間違デアラウト思フ、寧ロ斷然廢メルナラバ、全廢ニナケレバイカヌノダ(「ナゼ贊成シナイカ」ト呼フ者アリ)マダ吾ミハ先スヘキモノガアルニ依ツテ、之ヲ後ト回シニスルノダ、此通行稅ノ作リ方ト云フモノハ眞ニ政府が誤シテ居ルカラ、此ノ如キモノデアッテ左様諸君ガ之ヲ斥ケナケレバナラヌト云フコトハナイ、又通行稅ニ至ツテハ是ハ寧ロ政府ノ何等カノ間違デアラウト思フ、寧ロ斷然廢メルナラバ、全廢ニナケレバイカヌノダ(「ナゼ贊成シナイカ」ト呼フ者アリ)マダ吾ミハ先スヘキモノガアルニ依ツテ、之ヲ告シタルトコロテモ大槻御承知デアラウト思フ、ヤルナラバ速ニヲシテ而シテ普ク均霑スベキヤルガ宜シイモノデ、甚ダ不公平ナル方法ヲ取ツタノデアルカラ、是ハ當然吾ミガ寧ロ此廢案說ヲ出サナケレバ、却テ他ノ各員カラ之ヲ出ス——或ル一人ノ如キハ政府ヲシテ之ヲ撤回セシムルニ如カズト云フ意見マテ提出シタ位ノコトアルノアリマスカラ、此ノ如キシマラナイ案ヲバ諸君が維持セラル、コトハ、此東京市内デハ宜イカ知ラヌケレドモ、全國民ノタメニハ決シテ善キ方法デハナイト御承知ナサルガ宜カラウト思フ、ソレデ地租ノ輕減ハ多クハゴザイマセヌケレドモ、併ナガラ是ト合セテサウシテ此他ノ稅制整理ニ依テ減少シ得タモノトテ數ヘマスルト云フト、可ナリ多クノ稅ニ上リマスノアリマスカラ、非常ニ之ヲ善イコト、讀メハ致サヌケレドモ、非難サルベキ問題デハナイ、又地租ナルモノハ八千五百万圓ノ中カラ約今度九百七八十万圓ヲ減ズルノデアリマスカラ、自身デ比例ヲ取シテ見マスレバ、約ソ一割一分以上、約一割一分バカリ減少ニ清マスカラ、是ノミニ闘シテハ相當ノ割合ト云フコトヲ言ヒ得ベキモノト私ハ信ズルノアリマス、要スルニ吾ミノ主張スルトコロハ各稅ノ整理ヲスルナラバ、均衡ヲ保チタイト云フ意味ニ於テ、獨リ農民ノミニ多クヲ取り過グレバ必ス此商工業者三及ブトコロハ少ナクナリマスカラ、此際此程度ヲ以テ忍ブト云フ意味デアリマスカラ、諸君モ最早我ヲ張ラズニ此邊ニ御折合ニナランコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君)

(高木益太郎君登壇)
高木益太郎君

○高木益太郎君 諸君、私ハ委員長ノ報告ニ係リマストコロノ通行稅改正法律案、賣藥稅法中改正法律案、鑛業法中改正法律案、所稅法中改正法律案、印紙稅法中改正法律案、商事非訟事件印紙法中改正法律案、民事訴訟用印紙法中改正法律案、反對スルノデアリマス、是ノ案ト云フモノハ名ハ整理案ト云フヤウナ具合デアルケレドモ、其實質ヲ叩いて見ルト云フト不整理案デアル、殊ニ此都市ノ人民が最モ關係ヲ有ツテ居ルノハ通行稅デアリマス、ケレドモ唯今東京市ニ於テハ尊敬スベキトコロノ市長デアル尾崎君が農民ニ於テハ一厘減ト云フ影響ハ、一年ニ五錢カ六錢ノ關係ニ過ギヌノデアルヤウナ御話ガゴザイマシタガ、此通行稅ノ如キハ市民ハ如何ナル關係ヲ有ツノデアラウカ、殊ニ今日ノ世ノ中ト云フモノハ往來ニ向ツテ臭氣ヲ放ツテ疾風ノ如ク走ルトコロノ自動車ハ何等ノ通行稅ノ負擔ヲシナイノデアリマス、又富豪ナリ紳士ナリ乗ツテ居ル馬車ハ何等通行稅ノ負擔ヲシナイノデアリマス、富豪ノ乗ルトコロノ馬車ニ何等ノ負擔ヲ爲サズ、危險ナル自動車ハ何等ノ負擔ヲシナイノニ獨リ細民ノ或ハ丁稚デアルトカ、或ハ輕子デアルトカ、腰辨デアルトカ云フ者が、最も東京市内ヲ東西南北ニ走ルトコロノ

此電車ニ向テハ、セハリ非常特別稅ト云フモノヲ永久稅ニ固定シヤウト云フコト反對シタルヲ得ス、僅カ小サナルトヨロノ小僧ガモ一日ノ中ニ主人ノ用ト云フモノヲバ東西南北ニ辨ズルニ當ツテハ、十錢ナリ或ハ五錢ナリノ通行稅ヲ拂フノデアリマス、農民ノ地租ニ壓減問題ニ付テハ一年ニ五錢カ六錢デアル、然ルニ通行稅ハ小サナ小僧ガ一日ノ中ニ五錢、六錢拂フノデアル、農民ニ付テ涙アルトコロノ市長ハ一日ノ中ニ於テ五錢至六錢モ通行稅ヲ拂フ、市民ガ苦ムトコロノ此負擔ニ何ア涙ガナノデアリマスカ（拍手起ル）（此所ハ市會アナイソ「日本橋區デヤル演説」ト呼フ者アリ）今日ノ提案ハ不公平杜撰ナモノデアルト云フコトハ、唯今ノ富豪ノ關係カラ見マシテモ明白デアリマス、此人間ノ活動ニ向テ稅ヲ拂ケル日本ハ貧乏國デアルカラシテ國民ト云フモノハ最モ動かケレハナラヌ、一體動イタ者ニ向テハ政府カラ御褒賞ガアテ然ルベキデアル、然ルニ反對ニ之ニ向テ稅ヲ拂ケルト云フコトハ何タルコトデアルカ、實ニ其活動ト云フモノハ閉塞シテシマヌテ、非常害ノアルト云フコトハ明白デアル、市民ノ多クト云フモノハ地租ノ上ニ於テ百分ノ一十ト云フ重イ負擔ヲシテ居ル、營業稅ノ上ニ於テハ三十錢カ四十錢取ルトコロノ日給雇ノ稅務吏が誅求ヲスル、其營業稅ノ奇重ナルコトニ付テハ囂キトシテ非難ノ聲が高イノデアル、所得稅ノ上ニ於テモ亦非常大重稅ヲ負擔シテ居ルノデアル、今日東京市ノ有様ハ如何デアリマセウカ、アスコニハ賣家此方ニハ貸家ト云フ工合ア一千萬圓ノ外債ヲ募シテ幸ニ東京市ノ市區改正ト云フコトハ出來タヤウテアルケレドモ、商賣ハ益々閑デアル累代連綿タルトコロノ商人ガ日本橋ノ中心ヲ去テ田舎ニ移轉ラシケレバナラヌ有様、アチラニハ手形仕拂ノ停止ガアリ、コチラニハ倒産ヲスルト云フヤウナ狀態ハ諸君が悉ク能ク御承知ノ事實デアル、此際ニ當シテ此活動ヲスル、而モ市民中ノ細民ニ向シテ通行稅ト云フモノヲバ尙存續ラスル、ト云フコトノ不當デアルト云フコトハ勿論ナ次第アルト信ジマス、殊ニ通行稅ノ不公平杜撰ナル事柄ハ東京ニ於テハドウ云フ狀態アルカト云フノニ、電車切符ヲ澤山一時ニ買ツタ、此場合ニ於テハ、例ヘバ百枚券ヲ一時ニ買ツタ、此場合ニ於テハ五錢ノ負擔アル、貧乏之人ガ一枚ヅ、買フトドウアルカト云フニ、一枚ニ向テ一錢ノ通行稅ト云フモノヲ課セラレル、實ニ不公平極シ事柄デアル、若シ義勇奉公ノ念ノ盛シダッタ戰爭ノ最中アレハ免モ角モデアルガ、此非常特別稅ト云フモノヲ永久稅ニシヤウト云フヤウナ今日稅法ノ整理ヲ爲ス時代ニ於テ、アルカト云フニ、斯様ナドウモ不當ナル重イ稅ト云フモノハナカラウト考ヘル、ソレカラ又ケルノアリマス、斯様ナドウモ不當ナル重イ稅ト云フモノハナカラウト考ヘル、ソレカラ又啻ニ是ハ東京市民ノ活動ノ上ニ於テ非常ニ弊害ガアルノミナラズ、電車ニ拂ケ汽車ニ掛け汽船ニ掛け結果、今日ノ政府ハ國際關係ニ於テハ非常ニ注意ヲシテ居ルト自カヲ唱ヘテ居ルノアル、然ルニ外國人が參テ日本ノ稅關ニ於テ誅求ヲ受ケテ、ソレカラ中ニ入ルト云フト直グ汽車ニ乗テモ電車ニ乗テモ通行稅ヲ取ラレル、是ハ如何ニモウモ日本ノ國ガ貧國デアル、トノ感想ヲ來シ甚ダ不愉快ナルトコロノ感情ト云フモノヲ與ヘルノデアル、トウモ人頭稅ノ中ニ惡稅タルトコロノ通行稅ヲ日本ヘ入ルヤ否ヤ直グ掛ケラレル、斯ウ云フヤウナ事柄ト云フモノハ、甚ダ國際關係ノ上ニ於テモ注意シナケレバナラヌ事アラウト信ズル、ソレカラ又政策ノ上ニ於テモ政府ノ趣意ト云フモノハ一貫シナイ、政府ハ鐵道ノ國有ヲ唱ヘテ長距離ノ乘客ニハ割引ヲナシテ便利ヲ與ヘテ居ル、然ルニ通行稅ハドウカト云フニ長距離ノ者ニ向シテ之ヲ加重スルト云フヤウナ制度ヲ採シテ

○居ル、一ノ政策が矛盾シテ御客ニ對スルトコロノ長距離ノ割引制度ト、ソレカラ長距離ニ通行稅ノ率ヲ高クスル、ト云フヤウナ事柄ノハ、政策ノ一貫シナイト云フコトヲ斷言シ得ル次第アリマスカラシテ、此ノ如キ惡稅ト云フモノハ早ク撤廢ヲシナケレバナラヌと思フ、歐米ノ都市ヲ諸君が御覽ニナルト云フト、僅カ一町カ二町ノ處ヲ非當ニ電車ニ乗ル者ガ多イノデゴザイマス、日本ニ於テハ此通行稅ノ高イタメニ長距離ノ者テナケレバ乗ルカト云フノニ政友會内閣當時ノ内務大臣アル原敬君アル、ソレマテハ三錢ノ電車賃アラクタモノヲバ願書ヲ出スル即日直ゲ四錢引上ゲト云フノノ断行シテ、之ニ依ツテ生ズルコトテアラウト信ジマス、私ハ又諸君ト共ニ記憶ヲ喚起シタコトガアル、今日東京市ノ電車ノ賃率ト云フモノガ數年前ニ於テ引上ゲラ断行シタノデアル、是ハ誰ガヤシタノデアルカト云フノニ政友會内閣當時ノ内務大臣アル原敬君アル、ソレマテハ三錢ノ電車賃アラクタモノヲバ願書ヲ出スル即日直ゲ四錢引上ゲト云フノノ断行シテ、之ニ依ツテ東京市テ目々此電車ニ乗ル者ハ四十五万人ナル、此四十五万人ノ人間ト云フモノガ一錢餘計錢ヲ拂フ度毎ニ是ハ原内務大臣ノ賜テアルト云フコトヲ感シナイモノハナノアリマス、（拍手起ル）然ルニ此政友會ノ諸君ハ今度我政府モニ稅廢止ト云フ點ニ付テ、輿論ノ攻撃ノ多イト云フノテ、其政策非ナルコトヲ悟テ少クトモ市ノ通行稅又ハ市内ニ進ズベキモノト定メタル區域内ノミヲ通行スルモノハ、之ヲ止メヤウト云フ提案ヲシタノデアル、然ルニ政友會ノ諸君ハ前ニ於テハ原敬君ノ御蔭ニ依ツテ東京市民、若クハ東京ヲ通過スル國民ハ悉ク此一錢ノ賃錢ヲ餘計拂ハナケレバナラヌ、今度ハ更ニ加ヘ尙一錢ノ負擔ト云フモノヲバ永久ニ負ハナケレバナラスト云フコトハ、實ニ東京市民ガ長ク忘ル、コトノ出來ナイ次第アリマス、此故ニ東京市ノ發達ノ上カラドウシテモ通行稅ト云フモノヲ廢シテ戴キタインデアリマス、ソレカラ此外ノ案ニ付キマシテハ印紙ノ如キモ亦民事訴訟印紙ノ如キモ、不當ノ提案アル先ツ民事訴訟印紙ニ付テハ修正スレバ、二十萬圓程影響ガアルト云フヤウナ説がゴザイマスケレドモ、段々調べ見マスルト民事訴訟ノ稅ト云フモノハ、明治三十七年マテハ一箇年三百九萬圓取テノデアルカラ、所が非常特別稅テ重イ負擔ヲサセキト度ハ反對ノ結果ヲ見テ、百万取レタモノガ八十万圓、九十万圓ニ減ジテ居ル、收入ヲ増スダメニ非常特別稅ヲ課シタコロガ、却テ實際ノ結果ハ權利伸張ノ途ヲ塞イテ訴訟ヲサセキト云フ方針ヲ取ツタモノデアルカラ、收入が増シテ居ルヌテアリマス、故ニ此際元ノ程度ニ直シタラバ、必ズ私ハ世ノ中ノ景氣が挽回スルト同時ニ政府ノ收入が増スコトアル、ソコテ政府ノ收入ノ目的ヲ達スルコトが出来、併セテ國民ノ權利ヲ伸張スルコトが出来ヤウト考ヘル、殊ニ民事訴訟印紙ノ如キハ非常特別稅ヲ永久稅ニシタ上ニ、又此種類ヲヤラウト云フノデアル、非常特別稅ノ非常特別稅ヲヤラウト云フノデアル、其不當ナルコトハ勿論ノ次第アリマスカラ、此非常特別稅ヲ撤廢シタイ從フア委員長ノ報告ニ對スル各種ノ案ニ付テハ、全部御者決アランコトヲ願ヒタインデアリマス（拍手起ル）

○議長（長谷川純孝君） 細野次郎君

（細野次郎君登壇）

正案ニ反対ヲ致シマスル者アリマス、本員等ハ年來此ノ如キ熱心ヲ以テ撤廢ヲ絶叫スル者デシ得ラル、モノテゴザイマスレバ、本員等ハ年來此ノ如キ熱心ヲ以テ撤廢ヲ絶叫スル者デハゴザイマセヌ、勿論何レノ種稅ニ致シマンシテモ多少ノ脫稅等ハ免カレヌコトデアリマスルが、鐵物稅ナルモノが其性質上時ニ甚シモノゴザイマス、若シ是が眞ニ確實公平ニ課シ得ラルモノテゴザイマシタラバ、其間接稅ノ原則トシテ真正ノ負擔者ノ利害ノ點ニ至リマシテハ、或ハ他ノ種稅ト較ベテ同日ニ論シ得ラレナイ程高過ギルノゴザイマス、

十圓ノ段物ガ十一圓ニナルト云フコトハ、著物ヲ買フ者ニ取テハ大ナル苦痛デハナシ、又貴額富豪等ノ婦女ニアリマシテハ、一袋數百千金ノ高價ヲ拂フモノガゴザイマスカラ、斯様ナル衣類ニ至ツテ、一部、二割、高稅ヲ課シマスルノモ私ハ決シテ苦痛デナイト考ヘマスル、併シ如何セん此稅ノ性質上ガ何ト致シマシテモ甚シイ脫稅ト云フコトハ免レスコトデゴザイマス、最モ脫稅ノ懸念ノ強イモノハ高稅ヲ課シマスルト關稅ノ如キモノデゴザイマスガ、此關稅ノ如キモノモ輸入品ノ來ルヤ、日本全國僅ニ五本ノ指數ヘラレルダケノ場處デアル、而シテ巨大ナル船ニ依シテ入リマスノア、入ルヤ時アリ出アルヤ時アリ前以テ刻限ガ分ツテ居ル位デアリマスカラ、彼ノ微少ナル寶石、「ダイヤモンド」、若クハ時計ト云フヤウナル僅カナ物スラモ稅吏ノ眼ニ於テ大ナル脫稅ナシニ課シ得ラレルノゴザイマス、併ナガラ織物ノ製造戸數ナルモノハ、全國デ五十万戸アス、明治三十五年ノ末ニ於キマシテハ僅カニ三十万戸、テゴザイマシタノガ、最近ノ統計ハ存ジマセヌガ、四十二年未ノ調ベニ依リマスト、廳ア六十万戸近クアラウト私ハ確信スルノアル、即チ五十万戸ト申セバ、全國戸數ノ「十分ノ一以上」アル、全國戸數ノ「十分ノ一以上」ハ機屋デアリマス、最モ多イ群馬縣ニ於テハ六分ノ一アス、即チ六戸ニ付テ一戸ノ機業製造戸數ガアル、愛知縣ハ八分ノ一、全國ヲ平均シテ二十戸ニ一軒ノ製造戸數ガアル、而シテ是ガ製造ノ状況ハ所謂東京デゴザイマスレバ、九尺二間ノ裏屋、田舎ア申セバグリ八間ノヤウナ小家ア、其母ハ紡ギ、嫁ハ織ルト云フヤウナ實情アル、而モ其製造ノ時期ハ他ノ物ノ如ク一年ニ一回トカニ同トカニアラズシテ、三百六十五日春夏秋冬絶エズ、製造ヲ續ケルモノアル、此五十万戸デ春夏秋冬絶エズ、製造シ居ルモノ、僅カノ稅務官ノ眼ヲ以テ脫稅ナシニ取締ラシ得ラレルモノト思フノハ事理ヲ知ラサルコトモ甚シイト斷言シナケレバナラヌ、又他ノ脫稅ノ多イト稱セラレマスル、酒造稅、醬油釀造稅、砂糖消費稅、是等ノ如キモノニ於テモ織物業者ト較ベマシテハ大體ニ於テ比較ニナリマセヌ、殊ニ最モ賭易キ道理ハ如何ニ酒が高イト言ヒナガラ、十圓ノ酒ハ荷車ナケレバ運送ハ出來マセヌ、織物ニ至ツテハ鞆ノ中ニ數百千金ノ價ノアルモノヲ携帶シ得ルノアル、昨年ニ稅廢止委員會ニ於テ本員ガ政府委員ニ質問シテ曰ク、現在ノ國稅ノ中ニ織物稅ナルモノガ最モ脫稅ノ多イモノアルト本員ハ感ズルガ、政府ノ所見如何ト問ヒマシタ時ニ政府委員ハ答ヘテ曰ク、政府ハ爾ク感シマセヌ、他ノ租稅ヨリモ割合ニ脱稅ガ多イトハ感ジテ居リマセヌト云フ御答ヘテゴザイマシタガ、此御答ヲ伺ヒマシテ私ハ政府委員ガ實情ノ迂遠ニ驚カザルヲ得ヌノアルモアリマシタ、東京附近ノ織物機業地ニ於キマシテハ商人ガ東京ニ出テ参ルトキニ最モ賣行キノ廣イ縮緬トカ、絹トカ、羽二重トカ云フモノ五六反チヨクト鞆ノ中ニ入レテ参リマスレバ、脫稅ダケテ旅費ト旅籠費ハ免カレ得ラレルト云フコトデアル、俗ニ言フ機業地ノ一番汽車ハ脱稅ノ車アルト云フ位ニ言ヒ居ルモノゴザイマス、現ニ過般ノ行政整理ノ結果ト致シマシテ、稅務監督署ヲ減セラレタ一事ニ於テ、此ノ如ク些細ナコトニ於テスラモ徵稅上ニ非常ニ關係ガアルト云フコトハ、實情ヲ知シテ居ル者ハ見ニ得ルノアルマス(「モウ分リマシタ」ト呼フ者アリ)、私ハ有體ニ負擔者ノ苦痛ノ點カラ論ジマスレバ、彼ノ貧民稅ノ鹽ノ專賣、或ハ通行稅等ト同日ニ論ズルモノノアリト信ジマスルガ、成程此徵稅ノ性質上カラ深ク實情ニ立入ッテ考ヘテ見マスレバ、如何ニ日本國全體ノ國民ガ君子聖人ナラザル限り、稅務官ガ神變不思議ノ魔力ナラザル限りハ此租稅ヲ大體ニ於テ公平的確ニ實行スルコトハ困難アラウト思ヒマス、歐羅巴ノ幾多國ニ於キマシテモ財政困難ノ際ニ種々ナル世間ノ財政家ハ苦惱セラレマシタガ、今日マテ此ノ如キ一面カラ言ヒマスレバ好財源——負擔者——苦痛ノ一點ヲ論シ

マスレバ、好財源ナル此織物稅ニ向シテ孰レノ國アモ課稅ヲ試ミタコトハナシ、偶アリマシテモ永ク續ケテ居ラヌト云フハ、宜ナルカナ、人間ノ智恵トシテハ斯様ナルモノガ實行ノ出來得ラレナイ租稅ノ性質上ニアルト云フコトヲ事實ニ於テ證明シテ餘リアルモノト思ヒマス、私ハ此ノ如ク到底實行シ得ラレナイ租稅ヲ課スルト云フコトハ、政治ノ上ニ於テイマス、最モ脫稅ノ懸念ノ強イモノハ高稅ヲ課シマスルト關稅ノ如キモノデゴザイマスガ、民ニ違法ヲ獎勵スルノアル、法律ニ違フヲ獎勵スルノアル、今日ニ於キマシテハ織物業者ノ利害、損得ト云フモノハ如何ニシテ巧ミニ税ヲ免カル、ヤ否ヤト云フノガ問題デアルト云フニ至リマシテハ、學校ニ於テ倫理ヲ説キ政府ノ縣官郡吏ガ是レ信、是レ義ノ説諭ヲ爲スト雖モ、政治ノ實際ニ於テ民ニ向シテ嘘ヲ吐ケ、惡ルイコトヲシロト云フニ至ツテハ窓ニ財政ノ問題ニアラズシテ、國家華倫風紀ノ大問題ト斷言致シマシテ、滿堂諸君ノ御贊成アランコトヲ切望スルノアゴザリマス(拍手起ル)。

○長晴登君 最早ニ一人ノ反對者ガ速ベテモ別ニ辯明ヲスル人モナイ位ナ時機ニ達シテ居リマスカラシテ、討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成々々」聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」異議ガアツモ仕方ガナイ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 討論ハ終結致シマシタ

○長晴登君 直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ日程ノ第一ヨリ第十八マテ一括シテ讀事ニ附セラレンコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」聲起ル)

○早速整爾君 或ル案ニ付テハ修正ノ意見ヲ有シテ居ル、或ル案ニ付テハ絶對ニ反對ノ意見ヲ有シテ居ル——二讀會ニ於テ修正ノ意見ヲ有シテ居ル意見ガゴザイマスカラ、一括シテ一讀會ニ移スト採決ヲセラレテハ音ニ去就ニ感フ、次第テゴザイマスカラ、讀會省略ニ吾ミハ反對シテ一案毎ニ第二讀會ニ移スヘキヤ否ヤノ採決ヲ願ヒタイ、サモナケレバ吾ミハ修正ヲ出ス機會モ何ニモ無クナシテシマフ

(「其通り」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 此場合御詰リヲ致シマスガ、即チヨリ十八マテノ間ニ修正正ノ出テアル案が澤山アルノゴザイマス、ソレデノテ讀會ヲ省略シテ一括シテ採決シタナラハ、大變ナ混雜ヲ惹起スト思ヒマスカラ、修正ノナイモノダケハ即チ讀會ヲ省略シテ決議スル(「アツテモ差支ナイ」ト呼フ者アリ)修正ノアルモノダケハ、此議事日程ノ順序ニセヌ」ト呼フ者アリ)御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナケレバ、此處ニ一讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトハ、二讀會ヲ開クベシト云フ御議論モアリマシタカラ決ヲ採ラナケレバナリマセヌ——二讀會ヲ開クベシト云フニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 多數——更ニ御注意マデニ申シマスガ、今御極メニナタ通リニ即チヨリ十八マテ修正ノナイモノハ讀會ヲ省略シ、直ニ可決スルモノトシ、修正ノアルモノハ議事日程ノ順序ニ依シテ「ツツ、採決致シマス

○元田肇君 直ニ二讀會ヲ開カレマスコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 元田君ノ動議、即チ直ニ一讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

地租條例中改正法律案

第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマス、即チ此日程ノ第一地租條例中改正法律案ニニツノ修正案ヲ提出サレアリマス

〔「委員長報告通リ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 是モ亦一讀會ニ於テ逐條議ニシマスト、大變ニ手數ヲ要スルト思ヒマスカラ、全部議題トシテ、サウシテ此修正ヲ一ツノ採決致シマス、先ツ木村良君ノ修正カラ採決致シマス――

○木村良君 極ク簡單デ理由ハ説明致シマセヌカラ、本席デ修正說ヲ述ベルコトヲ:

○議長(長谷場純孝君) 極ク簡單ナラ御著席ノ儘デ宜シウアリマス

○木村良君 私ハ第一條ノ(「大聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)田畠地價百分ノ「四箇七」トアリマスノヲ「四箇五」ト修正致シマス、ソレカラ北海道ノ方ニ於キマシテモ「田畠地價百分ノ三箇四」トアリマスノヲ「三箇二」ト修正致シマス、其理由及豊富ナル材料ハ有テ居リマスケレドモ、第一讀會ノ模様及現今ノ大勢ニ鑑ミ、其理由ハ説明致シマセス、唯單ニ滿天下ノ輿論國民ノ聲デアルト云フ「一分減ノ修正說ヲ提出致シマスカラ、滿場諸君ノ賛成ヲ請ヒマス(拍手起ル)」

○議長(長谷場純孝君) 是ハ即チ定規ノ賛成ニアリマス、別ニ討論ガナケレバ採決致シマス、木村良君ノ修正說ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔「議長北海道ヲ分ケテ一ヶ宛採得貰ハネバイケマセヌ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 即チ木村良君ノ述ベラレタ修正說ニ付テ採決致シマス、ソレニ賛成ノ諸君ノ起立ト云フコトヲ宣告致シマント

○議長(長谷場純孝君) 少數ニアリマス、ソレカラ次ニ阪本彌一郎君ノ修正說阪本彌一郎君

〔拍手起ル「簡單」ト呼フ者アリ〕
(阪本彌一郎君立壇)
○阪本彌一郎君 簡單ニヤリマス、先刻以來諸君ノ御高説ヲ承ハリマシテ、私ハ皆サンノ御熱心ナル態度ニ感服致シタノアリマス、併ナガラ物ハ熱スレバ又偏スルト云フコトガアル、テ冀クハ諸君ハ冷靜ノ態度ヲ以テ總テノ問題ヲ解決セラレントコトヲ希望スルノトアル、私ハ今日茲ニ於キマシテ決シテ人氣取ノ問題ヲ云フノアハナイ、又既ニ諸君ガデアル、

御論ジニナタ一分減若クハ之ヲ八厘減ニ付テ論シヤウトスルノデハナイノザゴザイマス、私ハ只此地租條例改正法律案ト云フ、案其モノニ付キマシテ甚ダ不穩當ナ廉ガ澤山アルト云フコトヲ發見致シマシタカラ之ヲ修正シャウト云フノアリマス、私ノ此點ニ對スル修正ハ寧ロ文字ノ修正デアリマスカラ、決シテ世間ノ人氣ヲ迎ヘル問題ナニノアリマス、アリマスカラ、諸君ニ於カレマシテハ冀クハ冷靜ニ御賢慮ヲ煩ハシタイト思フノアリマス、デ私ハ此地租條例ノ改正案中ニ於キマシテ、先刻委員長カラ御報告ニナリマシテ以外ニ、尙修正ヲ要シャウト思フモノガアルノアリマス、ソレハドノ點ニアルカト云ヘバ、第七條第四號ニ、第七條ニ「地價ハ左ノ場合ニ該當スルニアラサレハ是ヲ修正セス」ト云フコトガアリマス、其第四號ニ「荒地免租年期明ニ至リ原地價ニ復シ難ク若クハ他ノ地目ニ變シタルトキ又ハ低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キトキ」ト云フコトガアリマス、此間ノ「ニ至リ」カラ「地目ヲ變シタルトキ」ト云フ二十五字ヲ削リタインデアリマス、是ハ地目が變シタルトキト云フコトハ、是ハ同條ノ第一項第一號ニ書イテアル、「地目又ハ

地類ヲ變換シタルトキ」ト云フ文字ガアリマスカラ、地目ニ變リノ生ジタトキニ地價修正ヲ致シマスルコト、云フモノハ、第四號ヲ要セズシテ第一號ノ規定ニ據ツテ十分爲シ得ルコト、信ズルノアリマス、ソレカラニ至リ原地價ニ復シ難クト云フコトガ書イテアリマスルが、原地價ニ復シ難クト云フコトハ、其下ニアル「低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キ」ト云フコトガゴザイマスルカラ、此文字ヲ兩方へ使ヒマシテ上ノ文字ヲ削ッタ方ガ法律ノ體裁が宜イト云フコトヲ考ヘマシタカラ、之ヲ削除致シタノデゴザイマス、ソレカラ第十一條ノ一項ニアリマスガ「地租ヲ課セサル土地ヲ地租ヲ課スル土地ト爲シタルトキハ其地ノ現況ニ依リ」云々ト書イテアル、私ハ「其地ノ現況ニ依リ」ト云フコトヲ削リタイト思フノアリマス、テ此第九條ノ地價ハ地租條例第九條ニ「地價ハ其地ノ品位等級ヲ詮定シ其所得ヲ審査シ専ホ其土地ノ情況ニ應シ之ヲ定ム」ト云フコトガ書イテアル、

地價ヲ定ムル原則則ハ此地租條例ノ第九條ニ書イテアル、第九條ニ書イテアル以上ハ特ニ此十一條ニ於テ其地ノ現況ニ依リト云フ文字ヲ書ク必要ハナリ、テ九條ノ手續ニ從シテ地價ヲ定メマシタナラバソレデ宜ノアッテ、殊更ニ此時ニ方シテ其地ノ現況ニ依リト云フコトヲ特ニ書イテ、地價ヲ定ムル標準ヲ示ス必要ハナリ、即チ是ハ當ニ必要ガナインミナラズ、其當時ニ於テ若シ斯様ナコトカアリマシタナラバ多少ノ紛擾ヲ來スコトハ火ヲ睹ルヨリ明カデアリマス、唯其土地ノ現況ニ依シテ見掛ケ取コスルト云フ、斯フ云フコトニナルト、屹度問題ガ起ルニ違アリマセヌカラ、私ハ此ノ如キ不明瞭ナル記載ヲ爲スヨリハヤリ九條ノ原則ヲ適用シタ方ガ宜カラウト思フカラ、其地ノ現況ニ依リト云フコトヲ削リマシテ、第九條ノ規定ニ從ヒト云フ文字ニ更ヘタルト思ヒマスカラ之ヲ修正致シタイ、ソレカラ一番末項ニアリマス、未項ノ「明治二十四年法律第二二號明治三十一年法律第五號及宅地組換法ハ之ヲ廢止ス」ト云フコトガ書イテアリマス、其宅地組換法ト云フ次「明治二十七年法律第十二號第一條ハ之ヲ廢止ス」ト云フ「明治二十七年法律第十五號第一條」ト云フ文字ヲ組換法ノ下ヘ挿入シタイト云フ意見テアリマス、唯今ノ修正意見ニハ誰モ賛成シテ居ラナイノアリマスルカラ、諸君ハ冷靜ニ御考ヘノ上御賛成アランコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 今阪本彌一郎君ノ修正說ニ賛成ガアリマスカ

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 賛成ガアルト認メマスカラ採決致シマス、即チ今阪本君ノ意見ヲ有シテ居リマスガ、ソレハ其時ニ於テ述ベルコトニ致シマスが、私ハ無所屬ニアリマス、唯今ノ修正意見ニハ誰モ賛成シテ居ラナイノアリマスルカラ、諸君ハ冷靜ニ御考ヘ

柄ト同一ノ事柄アル、別段此ノ如キ法律ヲ存シテ置ク必要ハナインデアリマスルカラ、是ダケノ修正ヲシタイト云フノガ私ノ意見テアリマス、私ハ専此宅地價修正法案ニ付テ意見ヲ有シテ居リマスガ、ソレハ其時ニ於テ述ベルコトニ致シマスが、私ハ無所屬ニアリマス、唯今ノ修正意見ニハ誰モ賛成シテ居ラナイノアリマスルカラ、諸君ハ冷靜ニ御考ヘ

三十七年法律第十二號第一條「十五字ヲ加フ、ソレカラ附則末項ノ組換法」ノ下ニ「明治三十七年法律第十二號第一條」ト云フ趣意ノ修正テアリマス、是ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 少數、早速整爾君

○早速整爾君 私ハ簡單ニゴザイマスカラ此席カラ申述ベマス、此第一條ノ「宅地價

百分ノ二箇半」トアルノ「地價百分ノ一箇八」ト修正シ、ソレカラ「田畠地租ハ百分

三十七年法律第十二號第一條「十五字ヲ加フ、ソレカラ附則末項ノ組換法」ノ下ニ「明治三十七年法律第十二號第一條」ト云フ趣意ノ修正テアリマス、是ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

四箇半」是ハ最前ノ木村君ノ御修正ト同シモノアルカラ、此分ハ措キマシテ此宅地ノ

フコトガアリマス、其第四號ニ「荒地免租年期明ニ至リ原地價ニ復シ難ク若クハ他ノ地目ニ變シタルトキ又ハ低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キトキ」ト云フコトガアリマス、此間ノ「ニ至リ」カラ「地目ヲ變シタルトキ」ト云フ二十五字ヲ削リタインデアリマス、是ハ同條ノ第一項第一號ニ書イテアル、「地目又ハ

フコトガアリマス、其第四號ニ「荒地免租年期明ニ至リ原地價ニ復シ難ク若クハ他ノ地目ニ變シタルトキ又ハ低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キトキ」ト云フコトガアリマス、此間ノ「ニ至リ」カラ「地目ヲ變シタルトキ」ト云フ二十五字ヲ削リタインデアリマス、是ハ同條ノ第一項第一號ニ書イテアル、「地目又ハ

地價百分の一箇半ト致シマスルノハ、ソマリ田畠ノ地租ヲ輕減スルノトヤヘリ權衡ヲ得
タイト云フ意見ナノデアリマス、田畠ノ地租ヲ輕減スルニ拘ラズ一方宅地租ノ輕減ヲシ
ナイト云フコトハ、殆ド譯ノ分ラヌ言テアッテ、不公平千萬ナルコトアルト斷言ラシナケレ
バナラヌ、殊ニ此案ニ依リマシテ地價百分の二箇半ト致シマスルナラヌ、明カニ現在ヨ
リ増税ト相成ルノデアリマス、百七十七万圓ノ増税ト相成ルノデゴザイマス、此政府
提出ノ案ニ賛成ヲ致シテ増税案ヲ是認ヲ致スト云フコトハ、吾ニハドウシテモ認ムルコトノ
出來ナイ點テゴザイマスカラ、ソマリ田畠ノ地租ノ輕減ヲスルノト權衡ヲ得ルタメニ宅地
ノ税率ト云フモノヲ輕減ヲシナケレバナラヌ、即チ地價百分の一箇半ト修正ヲ致シタイ
ト思フノテアリマスカラ、満堂ノ諸君此法律案ノ所謂増税案アルト云フコトヲ認メラ
レテ、私ノ提出ヲ致シマシタル唯今ノ修正案ニ御賛成下サレンコトヲ希望致シマス

(「賛成々々ト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 是ハ成規ノ賛成ガアリマスカラ採決ヲ致シマス、ソレカラ御
注意ノタメニ申上ゲテ置キマスガ、即チ早速君ノ提出ニタツ修正案中ノ田畠地價ノ云々^タ
ト云フノハ、既ニ木村良君カラノ動議デ少數ア否決ニナリマシタカラ、其ハモウ再ビ議
スルノ必要ハナク、即チ宅地ダケノ所謂地價百分の一箇半トアルノヲ百分ノ一箇八トス
ル、早速君ノ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數消滅シマシタ、即チソレデヤ地租條例ノ方ノ修正案が
出テ居リマシタケレドモ、修正案ハ悉ク少數ニシテ消滅シマシタ、他ハ委員會ノ報告ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)
○伊藤大八君 直ニ讀會ヲ省略シテ確ハランコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ニ讀會ヲ省略シテ、直チニ確定スルト
云フ動議ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

確定議

○議長(長谷場純孝君) 地租條例中改正法律案ハ委員長ノ報告通り確定致シマス
(拍手起立)

○議長(長谷場純孝君) 宅地價修正法案即チ日程ノ第一、是ニモ一ノ修正が出テ
居リマス、阪本彌一郎君

第二讀會

宅地地價修正法案

(「阪本彌一郎君登壇」)

○阪本彌一郎君 再ビ成立タナイカモ分リマセヌガ、私ハ日本ノ立法ノタメニヤハリ此
壇ニ登ルノ已ムヲ得ナコトニナツタノデアリマス、(「大聲ニヤルベシト呼フ者アリ」)私ノ
修正ヲシヤウト云フノハ、「餘り長イコトヲ云フカラ成立タナイト呼フ者アリ」第十五條ニ
第二項第三項ヲ設ケヤウト云フ議論デアリマス、(「大聲ニヤルベシト呼フ者アリ」)私ノ
決定ニ對シ行政訴訟ヲナスコトヲ得ト云フ一項ト、ソレカラ今一項ハ「訴願又ハ行政訴
訟ノ結果確定スルマテハ假ニ政府ノ決定スルトコロニ依ル」ト云フコトヲ加ヘヤウト云フ
ノデアリマス、(「無用々々ト呼フ者アリ」)此委員會ニ於キマシテ第十五條ノ「前條ノ
決定ニ對シテ不服アルトキハ訴願又ハ行政訴訟ヲナスコトヲ得ト云フコトヲ極メラレタ
ノデアリマス、デ是ハ此ノ如キ重大ナル問題ニ對シテ上訴ノ途ヲ塞ゲト云フコトハ穩當デ

タイト云フ御意見ニ依ツテ、決定セラレタコトハ先刻委員長ノ御報告ニ依ツテ明カデアリ
マス、所が其委員會ノ席ニ於キマシテ政府委員が辯明致シマシタ如ク、元ト此訴訟ヲ
許サナイト云フノハ從來ノ例ニ依レバ、所得稅調查會ニ於テモ若クハ營業稅ノ審查委
員會ニ於キマシテモ、此ノ如キモノニ對シテ訴訟ヲシテ來タ實例が缺ナシ、訴訟ヲシテ來
タ實例が少ナイカラ或ハ之ヲ禁止シテ差支ナイト思フ、ト云フヤウナ意見モアツタノデアリ
マス、併ナガラ是ハ政府が下情ニ通シナイトコロノ一ツノ事柄デアルト私ハ信ズルノデアリ
マス、成程統計ノ上ニ於テモ事實ノ上ニ於テモ、人民が直接ニ審查會ヲ要求シマシタ云フコトハナイ
デアリマセウ、訴訟ヲ致シマスト云フコトモ少ナイデアリマセウ、又私共ノ知ツテ居ルトコロ
ニ依リマスレバ、營業稅ノコトニ付テ人民が直接ニ審查會ヲ請求シマスト云フ事柄ハ、果シテ人
民が政府ノ課シタ稅額ニ向シテ同意ヲ表シタト見得ラレルデアリマセウカ、テノヲ同意ヲ
致シタカラ訴訟ヲシナイト見タナラバ大ナル間違デアリマス、私ノ知ツテ居ルトコロニ依リマ
スレバ、現ニ或ハ稅務署ニ於キマシテハ、人民が自分ノ課稅が不當デアルト云フコトヲ鳴
ラシタコトガアル、其課稅ノ不當デアルト云フコトヲ起ラナシ、或
訴訟ヲシナイ、訴訟ヲスルカ審查會ニ向シテ審查ノ要求ヲシナサイ、而シテ國家ハ國庫
ノ費用ヲ以テ御前ノ相手ニナルダケデアル、御前ハ是カラ長イ間稅務署カラ睨ミ付ケラ
レテサウンシテ訴訟ヲシテ、縱令勝手得タトコロガ其費用ハ御前が負擔フシナケレバナラヌ
ト云フ結果ヲ見ルモノデアル、デアルカラ訴訟ヲシャウト思ヘバ勝手ニシナサイ、ダガ御前
ノタメニ利益デアルマイト云フコトヲ聞イタノデアリマス、諸君ドウデアリマセウ、此實際ニ
於テ考ヘテ見マスレバ、私共ノ見ルトコロニ依リマスレバ、今日マテ訴訟が起ラナシ、或
ロアリマスガ、是ハ遂ニ此第一項唯一ノ私ノ修正說ヲ容レナカッタナラバ空文ニ終リハシ
追ラ被ヅテ餘儀ナクセラレテ同意ヲシテ居ルト云フヤウナ有様デアルノデアリマス、此十五
條ノ訴願又ハ行政訴訟ヲナスコトヲ得ト云フコトニ極メマシタコトハ、大ニ私ハ歡迎スルト
ロデアリマスガ、是ハ遂ニ此第一項唯一ノ私ノ修正說ヲ容レナカッタナラバ空文ニ終リハシ
ナイカ、即チ政府委員ノ云フタヤウニ遂ニ訴願若クハ行政訴訟ヲスルモノがナイト云フ
結果ニナリハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、デ個人ガ其土地ノ稅務官吏ニ向
テ反抗スルコトノ不得策ナルコトハ誰モ能ク知ツテ居ル、其モノヲ強テ費用ヲ入レテ贏チ
得タトコロデ損ニナル、其損ノコトヲスル害ガナイト云フノデ、今日マテ其訴訟が起ラナカッ
タノデアリマスカラ、私ハ若シ眞誠ナ人民ノタメニ權利ヲ伸ベテヤルト云フトコロノ根據ガ
アリ、相應ナ議論がありマスナラバ、調査委員會ニ行政訴訟ヲナスノ權能ヲ與ヘルノガ一
番宜カラウト思ヒマス、調査委員會ニハ絶對ニ人民ハ同意シナシ場合ガアリマセウ、絶
對ニ政府ニ服従シナイ場合モアリマセウ、此場合ニ於テ彼ハ訴訟ヲナシテ行政訴訟ノ
結果ニ據ツテ解決スルト云フコトハ私ハ甚ダ不穩當デアルト信ジテ居リマス、故ニ此第
二項ヲ設ケタイト思ヒマス、第三項ハ訴願又ハ行政訴訟ヲスルコトヲ許シマシタナ
ラバ、或ハ一時ノ方略ニ據ツテ訴訟ノ濫出ガアルカモ知レヌ、而シテ其訴訟ノ結果ヲ見
ルマデハ地價ガ確定シナイト云フコトデアリマシタナラバ、甚ダ不都合デアル、斯様ニ思ヒマ
スカラ此場合ニ於テハ政府ノ定メタコロヲ假ニ地價ト定メテ置ク、或ハ賃貸價格ト定
メテ置クトシタ方ガ宜トイト私ハ信ジマスカラ、此第三項ヲ置カケレバナラヌト云フコトヲ
考ヘタノデアリマス、ソレカラ第十八條ニ「地價ヲ修正シタル類地ノ比準ニ依リト云フア
ノ字ヲ廢メタイト思フ、更ニ本法ニ依リ地價ヲ修正ス」ト書キタイ、ソレカラ第十九條
ニ「類地ノ比準ニ依リト云フ字ガアリマスガ是モ抜キタイ、ソレカラ第二十條ニ本法ニ
依リ地價ヲ修正シタル類地ノ比準ニ依リト云フノガアル、是モ廢メタイト思フ、ソレカラ

ヲ第二十一條ノ「類地ノ比準ニ依リ」ト云フノモ是モ廢メタイ、是ハ既ニ地價ヲ修正スルト云フコトガ此法ノ原則ニナリマシテ、原則デ極メラレテ居ル 以上ハ類地ノ比準ニ依リ、或る時期間ニ地價ヲ修正スルト云フコトハ宜クナイト思フ、此ノ如キ取除ヲ置カナイデヤハリ地價修正法ノ原則ヲ飽マテモ徹底サセタイトト云フ積リテ是等ノ數文字ヲ抜クト云フ意見デアリマス、是モ御贊成ガナイカモ知レマセヌガドウカ一ツ御熟慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(長谷場純孝君) マダ定期ノ贊成ガアリマセヌ

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○元田肇君 辨明シテ置キタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○議長(長谷場純孝君) 元田君

○元田肇君 第十五條ニ於キマシテ行政裁判ヲナシタトキニモ、ヤハリ裁決ノ執行ニハ妨ゲナイヤウナ法文ヲ入レタガ宜イト云フガ、此修正案ノ一部デアツタト思ヒマス、是ハ委員會ヲ取調ベタノデアリマスガ、特ニ茲ニ記載ヲ殘サナイデモ他ノ訴願法其他ニ於テ裁決ノ假執行が出來ル條文ガアリマスカラ、本法ニ於テハ之ヲ記載スル必要ナシト認メタノアリマス

○阪本彌一郎君 元田君ノ御説デアリマスガ、他ノ場合ニ於テハソレハ執行ヲスルトシ

ナイト云フ問題デ、此地價ヲ極メルト極メナイト云フコトトハ違フノデアリマス、是ハ特別法ノ規定デアリマスカラヤハリ置ク必要ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 免ニ角採決致シマス、阪本君ノ修正案第十五條ヲ「三トシ調査委員會ハ政府ノ決定ニ對シ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得」「訴願又ハ行政訴訟ノ結果確定スルマデハ假リニ政府ノ決定スル所ニ依ル」、一項ヲ加フ、第八條中「地價ヲ修正シタル額地ノ比準ニ依リ」ノ十六字ヲ削ル第十九條中「類地ノ比準ニ依リ」ノ「十一」八字ヲ削ル、第二十一條中「類地ノ比準ニ依リ」ノ八字ヲ削ル、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、即チ消滅

○齊藤宇一郎君 マダ修正ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) アナタノハ提出シテアリマスカ

○齊藤宇一郎君 通告シテアリマス

○議長(長谷場純孝君) 齊藤宇一郎君

○齊藤宇一郎君 本員ハ第三條ノ但書ヲ削除シタイト云フ修正デアリマス、「但シ賃貸價格ノ十倍が現在地價ノ二十倍ヲ超ユルトキハ現在地價ノ二十倍ヲ以テ其ノ地價トス」此但書ヲ削リタイ修正ヲ提出シマス、其理由ハ本案ハ宅地價が頗ル不公平ナルカラ、之ヲ公平ニスルト云フノガ即チ改正ノ理由ニナッテ居リマスカラ、若シ其公平ヲ保ツト云フコトナラバ此制限ヲ取ルコトガ最モ必要デアラウト思ヒマスノデ、此但書ヲ削除シタイト云フノガ修正説デアリマス

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、齊藤宇一郎君ノ修正第三條ノ但書「但シ賃貸價格ノ十倍が現在地價ノ二十倍ヲ超ユルトキハ現在地價ノ二十倍ヲ以テ其ノ地價トス」ト云フ但書ヲ削除スルト云フ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(長谷場純孝君) 少數、消滅——委員長ノ報告ニ付テ採決致シマス、委員長
○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、齊藤宇一郎君ノ修正第三條ノ但書「但シ賃貸價格ノ十倍が現在地價ノ二十倍ヲ超ユルトキハ現在地價ノ二十倍ヲ以テ其ノ地價トス」ト云フ但書ヲ削除スルト云フ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(長谷場純孝君) 少數、消滅——委員長ノ報告ニ付テ採決致シマス、委員

長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス 起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數

○長晴登君 直ニ三讀會ヲ開キ、確定セラレンコトヲ希望シマス
○議長(長谷場純孝君) 長晴登君ノ動議即チ直ニ三讀會ヲ開キ、確定スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

宅地地價修正法案

第三讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、其通り決シマス、議案全部ヲ議題ニ供シマス、即チ直ニ三讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告通リ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、宅地地價修正法案ハ是ニテ確定致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 日程第三、相續稅法中改正法律案第二讀會

相續稅法中改正法律案

第二讀會

○清水市太郎君 簡單デアリマスカラ、是デ述ベマス、修正六附則ノ但書ヲ削除シテハドウ云フ理由カト申シマスレバ第十七條中ノ「三年」ヲ「五年」ニ改ムル、三年間ニ

年賦ヲ相續稅ヲ納メルノ五年ノ年賦テ納メルト云フコトニナシテ居ル、此年限ノ利益ヲ本法施行前ニ開始シタル相續ニモ適用シタイト云フ主意デアリマス、是ハ政略ニモ何ニモ關係ガナリ、又政府ニ於テモ收入ノ上ニモ別段額ヲ減ズルト云フ恐レモナイヤウデアリマス、而シテ此相續稅ヲ納メルトコロノ者ハ三年ニ納メルモノヲ五年ニ納メレバ宜イト云フ利益ガアル譯デアリマスカラ、ドウカ滿場ノ諸君公平ニ御贊成アランコトヲ希望シマス

○議長(長谷場純孝君) マダ定期ノ贊成者ガアリマセヌ

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ贊成ガアルト認メマスカラ採決致シマス、即チ清水市太郎君ノ修正説ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 少數、消滅——委員長ノ報告ニ付テ採決致シマス、委員長

○議長(長谷場純孝君) 多數

○長晴登君 直ニ三讀會ヲ開キ、確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 直ニ三讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

相續稅法中改正法律案

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、即チ本案ハ二讀會決定ノ通り

第三讀會

確定致シマス——議事日程第四、通行稅法案二讀會ヲ開キマス、是ニモ修正ガアリ
マス——清水市太郎君

通行稅法案

○清水市太郎君 通行稅ノ第三條ニ於キマシテ第一號ヲ委員會一於テ削除サレマシ
タ、即チ「左ノ場合ニ於テハ通行稅ヲ課セズ」トアルハ其課セザル第一號が原案ニ於キ

マシテハ市内又ハ命令ヲ以テ市内ニ準ズヘキモノト定ムルトキハ通行稅ヲ課セズ、斯ウ

云フ原案デアル、此原案ニ對シマシテ之ヲ削除シテシマヒマシタ、削除スルノハ即チ市内

ノ通行稅ヲ免除スルト云フ利益ノ方ノ原案ヲ惡ルイ方ニ削除セラレタ、折角政府が國

民ニ御馳走ヲシヤウト云々テ出シタ、尾崎君ノ所謂御馳走ヲソレニハ及ビマセヌト云々テ

之ヲ政府ニ返シタヤウナモノデアル、此ノ如キコトハ私ハ誠ニ市民ノタメニ惜ムベキ御馳走

ヲ謂ハレナク返スモノアラウト思フ、原案ニ復活サレンコトヲ切ニ希望致シマス

〔「贊成タ々」「反對タ々」「聲起ル」〕

○議長(長谷場純孝君) 定規ノ贊成ガアルト認メマスカラ採決致シマス、即チ清水

君ノ修正說、第四通行稅法案中第三條第一號ヲ原案通り復活スルト云フ 動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 少數、委員長ノ報告通り御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、委員長ノ報告通り決シマス

○長崎登君 直ニ三讀會ヲ開キ、確定セラレントコトヲ希望致シマス

〔「贊成タ々」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 直ニ三讀會ヲ開クト云コトニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、直ニ三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ

議題ニ供シマス

通行稅法案

〔「異議ナシ異議ナシ」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、第二讀會決議ノ通り確定致シマ

ス、日程第五酒精造石稅徵收猶豫及免除ニ關スル法律案、第六砂糖消費稅法中

改正法律案、第七織物消費稅法案、第八賣藥稅法中改正法律案、第九砂金採取

地稅法案、第十鑄業法中改正法律案、此日程五ヨリ十マテハ修正意見ガ提出サレ

テ居リマセヌ

酒精造石稅徵收猶豫及免除ニ關スル法律案

確定議

織物消費稅法案

確定議

砂金採取地稅法案

確定議

〔委員長報告通り「下呼フ者アリ」〕

○柵瀬軍之佐君 日程第六砂糖消費稅法中改正法律案ニ修正意見ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 修正ノ意見ガアルノデスカ、ソレデハ即チ第六ヲ除イテ先以テ日程ノ第五、七、八、九、十是ハ修正ノ意見ノナイモノハ所謂讀會ヲ省略スル

官報號外

明治四十三年二月十三日

衆議院議事速記録第九號

通行稅法案 第二讀會 檢定議 砂糖消費稅法案 第二讀會

云フコトが先刻御決議ニナシテ居リマス、因テ委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマス、直ニ三讀會ヲ開キ、之ヲ以テ(笑聲
起ル)讀會ヲ省略シテアリマスカラシテ是ニテ確定致シマシタ、日程第六——柵瀬君

砂糖消費稅法中改正法律案

〔柵瀬軍之佐君登壇〕

○柵瀬軍之助君 本員ハ砂糖消費稅法中改正法律案ノ或ル部分、或ル部分ニ對シテ

修正ノ意見ヲ提出致シマス、由來本改正案ハ現行法ニ比較致シマスレバ、或ル點ニ於

テハ一段ノ進歩ト認メテ居ルノテアリマス(分々テ居ル)ト呼フ者アリ併ナガラ此課稅ノ

標準ハ如何ニモ偏輕偏重ノ嫌ガアリマスカラ諄々シクハ申シマセヌガ、第三條ノ中第

一種糖、即チ改正案ニ依リマスルト十一號未滿ノ砂糖トアリマスモノヲ、十二號ト修正ヲ

致シ、サウシテ甲ノ槽入黒砂糖ヲ改正案ハ一圓トアリマスルノヲ一圓五十錢トシ、其他

ノモノハ即チニ二圓トアリマスルモノヲ一圓五十錢ト致ス、又第一種糖ノ中十五號未滿

ノ分ノ五圓トアリマスモノヲ四圓五十錢ト致シ、ソレカラ糖蜜ノ分ニ參リマシテ糖分ヲ蔗

糖トシテ計算シタル重量、全重量ノ百分ノ六十ヲ越ヘタルモノト云フ別ニ一項ヲ加ヘマシ

致シ、サウシテ此課稅金ヲ一圓ト致ス、尙六十ヲ越ヘタルモノト百分ノ四十ト修正ヲ

ウカ御贊成アラレンコトヲ希望致シマス

〔「贊成タ々」「採決タ々」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 今柵瀬君ノ修正ニハ贊成ガアルト思ヒマスガ、諸君御分リ

ニナックコト、思ヒマス、之ニ付テ採決ヲ致シマス、即チ柵瀬君ノ修正說ニ贊成ノ諸君ノ

起立ヲ請ヒマス

〔「二十名ナイト」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 少數、委員長ノ報告ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、委員長報告通り決シマス

○長崎登君 直ニ三讀會ヲ開キ、確定セラレントコトヲ希望シマス

〔「異議ナシ異議ナシ」「下呼フ者アリ」〕

○議長(長谷場純孝君) 直ニ三讀會ヲ開キテ確定スルコトニ御異議ナイト認メマスカ

ラ、直ニ三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

砂糖消費稅法中改正法律案

〔森田勇次郎君登壇〕

〔「是モ否決タ」「否決ニナルカラ簡單ニ願ヒマス」「下呼フ者アリ」〕

○森田勇次郎君 極メテ簡單ナ修正案デアリマス、登錄稅改正案ノ中デ第二條第

一項第三號中千分ノ四十ヲ千分ノ六十二、千分ノ十ヲ千分ノ三十二云々ト云フ箇

條ガゴザイマスガ、此中カラ「千分ノ十ヲ千分ノ三十二」ト申ス此十一字ヲ削除致シタ

第二讀會

第二讀會

印紙稅法中改正法律案
○高木益太郎君 本案ハ特別調査會ニ於テ決定シマシタ案ガ即チ修正ノ意見ニアリマス、此決定通り御手許ニ迴ニテ居ルヤウデアリマス、大體ハ此印紙稅法ノ中ニ於テ「金高五圓未満若ハ金高記載ナキ送狀、受取書又ハ賣買仕切書及物品切手」此五圓ヲ十圓ニ、十圓以下ハ免稅ト云フコトニシタイト云フ考テアリマス、ソレハ物價騰貴ニ依シテ諸君ガ帽子一ツ買テモ分ツテ居ル次第アリマスカラ別ニ説明ハ致シマセヌ、ソレカラ財產ニ關シテハ「追認若ハ承認ヲ證明スヘキ證書」ヲ削リタイト思ヒマス、既ニ權利ノ創設、移轉、變更、消滅ニ付テハ、印稅ヲ課シテ居ルノアリマスカラ、此追認若クハ承認ヲ後トカラヤルト云フ仕事ハ些細ナコトアリマス、斯様ナ規定等ガアルガタニ政府ニ質問シテ見ルニ、三十八年カラ四十年迄一年間ニ印紙稅法違反ノ人間ガ一万八千人位アツタモノガ、四十一年ニハ收入ガ足リナイカラト云フノテ、餘程誅求ヲヤツテ無暗ニ檢舉ヲシテニ二万八千人卽チ倍以上ノ違反者が出來テ居ルノアリマス、ソレカラ其被告人ノ中ニハ東京ノ商人ガ千葉ノ裁判所迄番頭ト主人トヲバ僅ニ三錢ノ印紙ヲ貼ラヌトカ何トカ云シテ喚び出スト云フヤウノ次第、誠ニ疑義ノアル法文ヲ其儘置イテ置クノハ危險アリマスカラ、「追認若ハ承認ヲ證明スヘキ證書」ト云フノヲ削ル、之ヲ削ラヌトシヨト端書ノ中ニ物ガ到著シクトカ何トカ云フコトヲ書イテモ、之ヲ稅務官ガ追認ニ關スル書面ダト言シテドンノく誅求ヘルノハ如何ニモ危險アリマスカラ此條文ヲ削リタインデアリマス、其他受荷案内入荷案内著金案内送金案内等後トテ唯事實ノ

通牒ヲスルヤウナ書面ハ免稅ニシタイト云フ考デアリマス、是ガ修正ノ大體ニアリマス

(「贊成タク」「採決」下呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 高木益太郎君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(長谷場純孝君) 少數

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、委員長報告通リ決定致シマス

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開カレントヲ希望致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 少數デアリマス、委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、委員長報告通リ決シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開キ、確定セラレントヲ希望致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 少數デアリマス、委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

印紙稅法中改正法律案

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、本案第二讀會ノ決議通り確定致シマス—— 第十五、民事訴訟用印紙法中改正法律案—— 高木益太郎君

第三讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、本案第二讀會ノ決議通り確定致シマス—— 第十五、民事訴訟用印紙法中改正法律案—— 高木益太郎君

第二讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、本案第二讀會ノ決議通り確定致シマス—— 第十五、民事訴訟用印紙法中改正法律案—— 高木益太郎君

第一讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、本案第二讀會ノ決議通り確定致シマス—— 第十五、民事訴訟用印紙法中改正法律案—— 高木益太郎君

民事訴訟用印紙法中改正法律案

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、本案第二讀會ノ決議通り確定致シマス—— 第十五、民事訴訟用印紙法中改正法律案—— 高木益太郎君

第一讀會

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、本案第二讀會ノ決議通り確定致シマス—— 第十五、民事訴訟用印紙法中改正法律案—— 高木益太郎君

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、委員長報告通リ決定致シマス

○長晴登君 直ニ二讀會ヲ開カレントヲ希望致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 少數デアリマス、委員長報告通リ決シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

商事非訟事件印紙法中改正法律案

確定議

行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案

確定議

帝國大學特別會計法中改正法律案

確定議

鐵道敷設法中改正法律案ハ既ニ委員會ニ於テハ決定セラレテ居リマス、而シテ此

二案ハ豫算ニ關係アル法律案デアリマスカラ、此場合ニ於テ委員長ノ報告ヲ受ケタルト

而シテ後ニ又之ヲ議事ニ附スルノ動議ヲ提出シマスガ、差當リ委員長ノ報告ヲ受ケタルト

云フ動議ヲ提出致シマス

(「贊成タク」「聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、本案ハ即チ讀會省略ト云フコトヲ

ヲ先ニ御決議ニナシテ居リマスカラ、是ニテ確定致シマス

○長晴登君 此場合緊急動議ヲ提出致シマス、鐵道敷設法中改正法律案、北海

道鐵道敷設法中改正法律案ハ既ニ委員會ニ於テハ決定セラレテ居リマス、而シテ此

二案ハ豫算ニ關係アル法律案デアリマスカラ、此場合ニ於テ委員長ノ報告ヲ受ケタルト

而シテ後ニ又之ヲ議事ニ附スルノ動議ヲ提出シマスガ、差當リ委員長ノ報告ヲ受ケタルト

云フ動議ヲ提出致シマス

(「贊成タク」「聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、本案ハ即チ讀會省略ト云フコトヲ

ヲ先ニ御決議ニナシテ居リマスカラ、是ニテ確定致シマス

○伊藤大八君 委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ去ル二十七日ニ委

員長理事ノ選舉ヲ行ヒマシテ、ソレヨリ數回ニ瓦ツテ審議ヲ重ネマシタ末、本案ハ鐵道

經絡上竝ニ既設線路ノ整理、若クハ拓殖上必要ノ線路ト認メマシタルヲ以テ、全會一

致ヲ以チマシテ政府案ノ通り可決致シマシタ、此段御報告致シマス(拍手起ル)

○長晴登君 直ニ日程ヲ變更シテ一讀會ヲ開ケラレントヲ希望致シマス

(「贊成タク」「聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 長君ハ日程ヲ變更シテ本案ヲ直ニ此場合ニ於テ議スルト云

(「贊成タク」「聲起ル」)

○議長(長谷場純孝君) 少數、消滅—— 委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 少數、起立者少數—— 委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 少數、起立者少數—— 委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

フノデスカ

○長崎登君 左様デス
○議長(長谷場純孝君) 日程ヲ變更シテ此場合ニ鐵道ノ法案ヲ議スルト云フコトノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○長崎登君 直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ希望致シマス
〔贊成タマニ委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 鐵道敷設法中改正法律案、此二案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルト云フコトニ御異議正法律案、此二案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルト云フコトニ御異議ヘアリマセヌカ

鐵道敷設法中改正法律案

北海道鐵道敷設法中改正法律案

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ木案ハ是ニテ確定致シマシタ

〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 議事日程第十九乃至第二十三ハ豫算案ナルニ依リ、直ニ豫算委員長ヨリ報告ニナリマス——日程第十九明治四十三年度歲入歲出全部ヲ議題ト致シマス——豫算委員長鳩山和夫君

確定議

第十九 明治四十三年度歲入歲出總豫算案

第二十 (第一號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案

第二十一 (特第一號)明治四十二年度各特別會計歲入歲出

第二十二 (特第一號)豫算追加案

第二十三 (特第一號)明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案

○鳩山和夫君 諸君、豫算委員總會ノ決定ヲ報告致シマス、第一ニ御報告申上ケルノハ皇室費アリマス、是ハ百五十萬圓増スト云フコトニナツテ居ル、委員會ハ此議事ヲ爲スダメニハ、特ニ敬意ヲ表スル趣意ニ於キマシテ、總體起立致シマシテ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、第二ニ御報告致スコトハ、是ハ増俸——官吏ノ增俸ト地租輕減ノコトアルノアス、別段結果ニハ豫算ニ直接ノ關係ヲ持ツ譯アリマセヌガ、質問ニ

〔鳩山和夫君登壇〕
○鳩山和夫君 諸君、豫算委員總會ノ決定ヲ報告致シマス、第一ニ御報告申上ケルノハ皇室費アリマス、是ハ百五十萬圓増スト云フコトニナツテ居ル、委員會ハ此議事ヲ爲スダメニハ、特ニ敬意ヲ表スル趣意ニ於キマシテ、總體起立致シマシテ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、第二ニ御報告致スコトハ、是ハ増俸——官吏ノ增俸ト地租輕減ノコトアルノアス、別段結果ニハ豫算ニ直接ノ關係ヲ持ツ譯アリマセヌガ、質問ニ

タ、其法律ノ決定ニ依リマシテハ豫算ノ收入ノ上ニ相違ヲ生ジテ來タケアリマス、官吏ノ增俸体、凡ソ政府ノ要求ハ三割増デアルノガ稍ニ一割増ト云フ位ノ率ニ於テ增俸數字ニ入リマス前特ニ報告ヘル値ガアルト思ヒマスルノハ、人權尊重ニ關係スル問題デアリマス、是ハ委員ノ中カラノ質問モアリ、提議ガアリマシテ、ソレニ付テ内務大臣拉ニ司法大臣ノ分科會若クハ總會ニ於ケルトコロノ政府ノ聲明ガアルノデ、内務大臣、聲明ハ斯様デアル、ソマリ是ハ警察官ノ增俸ニ付テアリマス、内務大臣ハ「警察官ノ過去ニ於ケル人權侵害ノ非難ニ關シ將來人權尊重ノ趣旨ヲ警察官吏ニ適當ナル時期ニ於テ適當ナル方法ヲ以テ訓示シ其矯正ニ努メ嚴重ニ取締ルベシ」斯ウ云フ聲明ヲナサレタノデアル、又司法大臣ハ判檢事ノ增俸ニ付テハ、司法大臣並ニ政府委員ハ「判檢事ノ過去ニ於ケル人權侵害ノ非難ニ關シ將來人權尊重ノ趣旨ヲ判檢事ニ適當ナル機ニ於テ適當ナル方法ヲ以テ訓示スベシ」ト云フコトヲ聲明セラレタノデアル、此司法大臣ノ聲明ハ後ノ數字ニ付テ報告致シマス、在監人費ト云フ費用ニ關係ヲ有ツテアリマス、是ニ於キマシテ唯今ハ唯聲明ダケラ御報告致シテ置キマス、第四ニ數字ニ入ル前ニ報告致スベキ必要ガアルト思ヒマスノハ豫算ノ查定方針アル、豫算委員會ニ於キマシテハ查定方針トシテ改メテ決議シタ項目ハアリマセヌ、サラナガラ分科會ニ於テノ質問及分科會ニ於キマスル查定又豫算總會ニ於キマシテ採用セラレタルトコロノ最後ノ決定ト云フモノノ通覽シテ見マスルト、自ラ一定ノ方針ガアリマシテ、其方針ニ依テ豫算全體ガ查定サレタ如クニ見エマスル、此方針ヲ先ア頭ノ中ニ入レテ、ソレカラ查定ノコトヲ申上ゲルト餘程分リ宜イヤウニ考ヘマスカラ、委員長が全體ニ通シテノ結果カラ見テ此ノ如キ方針ニ依テ多數ノ委員諸君が查定シタリト斷言スルトコロノモノヲ茲ニ讀上ゲマスガ、第一ニ繼續費ノ性質ニ致シマシテ、而シテ其事業數年ニ瓦リ、又財源ノ明カナルサルモノハ之ヲ否認スル、第二ニ新要求ハ緩急ヲ圖シテ之ヲ查定スルコト、第三從來支出シ來リタル費目ト雖モ今日不用ト認め、又ハ過大ニ失スルト認ムモノハ、之ヲ削減スル、例ヲ舉ゲテ申セバ、第一ニハ例ヘ關門海峽ノ如キ、若クハ鎮海灣軍港ノ如キ、第一貴眾兩院ノ歲費ノ如キ、或ハ臺灣總督府廳舍建築費ノ如キモノハ、即チ新要求ニシテ、緊急ト認メナイモノハ是等ノ如キモノアリマス、第三ニハ從來支出シ來タゲ目ト雖モ、其過大ニ失スルト云フノハ、陸軍省ニ於ケル糧秣費ノ如キ、又海軍省所管ノ衣糧費ノ如キモノアルノアリマス、是ヨリ數字ニ瓦リマシテ各省所管ニ於キマシテ、削減ヲ加ヘタル點ヲ先づ報告ヲ致シマス、經常部ヨリ致シマシテ、其次ハ臨時部ト云フヤウニ豫算ノ編成ノ順序ニ基シテ報告致シマス、而シテ其委員會ニ於キマシテ、別段ニ修正ノ意見モナク、削減ノ意見モナカタトコロハ默ッテ通過シマスカラ、是ハ原案ニ決定シタモノト御承知ヲ願ヒタク、大藏省所管、即チ第五款貴族院ノ部テ金高ハ十四万六千五百圓、第六款衆議院ノ部ニ於キマシテ十九万五千五百圓、是ハ原案ニ於キマシテハ貴衆兩院議員ノ歲費ヲ一人ニ付テ五百圓ヲ、増ス云フ原案ニナツテ居リマシタガ、即チ先刻私ノ申シマシテ豫算査定方針第一ニ依テ是ハ今日緊急ナラズト認メラレタモノト存ジマスル、陸軍省所管ニ於キマシテ第二ニ款第八項糧秣費、是ハ糧米及馬糧ノ質問ガ各方面カラ現ハレマシタ、併ナカラ官吏ノ增俸ハ豫算委員等ニ於テ決定スベキ項目デアリマスケレモ、減租ト云フノハ自ラ是ハ法律ノ結果ニ依ルベキモノアリマスカラシテ、減租ノコトニ付テハ別段報告スルコトハ茲ニハアリマセヌ、既ニ此議場ニ於テ先刻來討議ノ末極マリマシタ通リニ、地租ハ百分ノ八厘ヲ減ブルト云フコトニ決定致シマシ

ノ糧米ニ於テ五分ヲ引イタト云フ 其理由ハ、元來陸軍省ニ於テハ單價ノ積リ方ガ海軍省ヨリ高クナシテ居ルカラ、其結果ニアリマス、司法省所管ニ於テ第二款第六項在監人費ト云フモノガアル、是ニ十二万九千三百五十一圓ト云フ減額ニナシテ居リマス、此譯ハ議員ヨリ之ヲ消滅スベシト云フ 理由が提出ニナシテ居ルノハ、ツマリ從來保釋、責付ト云フヤウナコトガ普通許サレナクテ、大抵刑事ノ被告人トナルモノハ未決監ニ入レルト云フコトニナシテ居リマシタガ、ソレハ其當ヲ得ナイト云フノデ、保釋、責付ノ如キハ證據満滅若クハ逃走ノ虞ナキ場合ニ限リテ、拘留ヲ行フヘキモノデ、其他ハ保釋、責付ヲ許スベキモノデアルト云フ理由、又第二ニハ未決拘留ノ日數ヲ刑期ニ通算スベシト云フコト、第二ニハ刑ノ執行猶豫ト云フモノハ成ルベク許可ノ方針ヲ執ルノヲ相當トスルト云フコト、第四ニハ假出獄ニ其條件ヲ充ストキハ成ルベク許可ノ方針ヲ執ルト云フコト、ソレカラ又四十一年度ノ現計ニ依リテ見テモ、此在監人費ニハ餘剩が生ジテ居ツタト云フ、是等ノ理由ニ依リマシテ、委員會ハ其金高ニ五分ノ削減ヲ加ヘテ宜イト云フコトニナリマシテ、數字ニハ先刻申シタ通りニ、十二万九千三百五十一圓ト云フ減額ヲ見ルコトニナリマシタ、即チ全部削減ニアリマス、ソレカラ陸軍省ノ臨時部ニ於キマシテ、第十六款統監府ノ所ニ臨時外國行諸費、第二項ノ外國司法制度視察費、是ハ統監府カラ外國ノ司法制度ノ視察ヲ為スト云フ費目ニアリマシテ、是ハ今日必要ノ無イト云フ理由ニ依リマシテ削減ヲ加ヘマシタ、即チ全部削減ニアリマス、ソレカラ陸軍省ノ臨時部ニ於キマシテ、第九款第一項ノ韓國派遣部隊費ノ中ニ一万五千圓ト云フ減額が出來テ居リマス、此一万五千圓ト云フノハ韓國派遣部隊費中ノ機密費ニアリマシテ、此機密費ハ必要が無イト云フ理由ニ依リテ削減ヲ加ヘマシタ、遞信省ノ部ニ於キマシテ、第八款第一項ニ發電水力調査費ト云フモノガアル、政府ノ要求スル金高ハ二十九万一千五百五十六圓デアル、是ハ委員會ニ於テ全高が多過ギルト云フ理由ニ於テ減額ヲ加ヘテ二十萬圓ト致シマシタ、唯今報告致シマシタル經常及臨時費ノ削減ノ結果、乙號ニ多少異動ヲ生ジテ參リマスル、ソレハ別段ニ此所ニ報告致シマセヌテモ、經常並ニ臨時部ニ於ケル削減ノ結果ニアリマス、丙號ハ全部可決スルコトニ委員會ニ於テ決定シマシタ、次ニ特別會計ニ付テ報告致シマス、特別會計、外務省所管第一款關東都督府ノ部ニ於キマシテ、第四項ノ一万四千圓、第二項ノ一万圓、第四項ノ一万四千圓ト云フノハ都督及隨行員ノ外國出張旅費ニアリマス、第六項ハ宴會費ニアリ、此四項第六項共ニ其必要ヲ認メズト云フ理由ニ於テ、委員會ニ於テハ削減スルコトニナリマシタ、ソレカラ特別會計ノ歲出臨時部ニ於キマシテ、第二款第七項ノ總督府廳舍新營費、是ハ繼續費ノ二百五十萬圓デ、本年ノ年度割八十萬圓トナシテ居リマスルが、是亦繼續費ノコトデハアルシ、必ズ本年ヨリ此事業ヲ始メル必要ハナイト云フ、即チ緊急已ムヲ得ザルト云フ程ノモノナシト云フノデ削ルコトニナリマシタ、第十七項ニ阿里山ノ森林經營費ガ百四十二萬圓計上シテアリマス、此所ニ八萬圓ヲ減ズルコトニナル、是ハ本年ニ於テハ八萬圓ノ減額ニアリマスルケレドモ、繼續費ニナシテ居リマシテ、總體ニ於テハチヨット數字が出テ居リマセヌガ、百万圓程減ズルコトニナル、ツマリ原案ニ於テ藤田組ニ渡スベキ賠償費ト云フモノガアル、此賠償費ト云フモノ、性質ヲ變更致シマシテ、賠償ノ意味ハマルテ止メシマシテ、森林經營ト云フコトヲ主ニ致シマシテ、政府ガ此森林經營ヲ自ラ為シ、而シテ藤田組ガ嘗テ此經營ヲナシテ居居ツクモノ、中デ、役ニ立ツモノハ之ヲ買上ゲヤルト云フコトニナル、賠償ト云フ意味ト買上ゲルト云フコトノ意味ガ違ヒマスカラシテ、從テ金額ニ餘程變動ヲ生シテ參リマシタ、政府ノ要求ハ三箇年三百八十万圓ヲ藤田組ニ交付スルト云フ原案ニアタノニ、之ヲ六十萬圓減シ百二十萬圓ト爲シ、二箇年ニ割リテ之ヲ交付スルト云フ趣意ニナル、其外事業費ニ於テ約一割減

ヲ為ス、斯ウ云フ趣意ニアリマス、本年度ニ於テハ僅カ八万圓減アリマスケレドモ、是ハ總體ニ於テハ凡ソ一百萬圓バカリノ減額ニナルノニアリマス、ソレカラ此所ニ豫算委員會ノ決議ヲ以テ希望トシテ決定セラレタコトハ一三點ニアリマスルカラ、ソレヲ此所ニ豫算委員會ニ對シテハ從來文武官吏ノ俸給額ニ於テ權衡ヲ得ナイト認ムル點がアルカラシテ、此增俸ヲ行フニ付テハ、政府ハ文武官吏ノ俸給ニ於テ權衡ヲ保ツヤウニ注重シ、殊ニ下級官吏及下士卒ニ厚ウスベシト云フ趣意ニ於テ増俸ヲ實行セラレンコトヲ希望スルト云フコト、ソレカラ又是ハ增俸ニ對スルコトニアリマセス、外ノコトニ付テ豫算委員會ニ於テ希望トシテ決議セラレタコトハ、臺灣ノ關稅ヲ大藏省直轄ト為スコト、臺灣砂糖消費稅ヲ内地ニ於テ徵收シ、一般會計ニ組入ル、ノ方針ヲ執ルコト、第三南滿鐵道配當增加ノコト、第四日本銀行課稅增額ノコト、此四點モ豫算委員會ニ於テ希望トシテ決議セラレタコトニアリマス、唯今ノ報告中ニ一ヶ洩レテ居ツタノハ、特別會計ノ歲出臨時部第九款第一項ニアル、即チ航海費補助、此中ニ二十六萬圓ト云フモノハ、櫻丸ト云フ船ノ補助費トシテ政府ガ要求シテ居ルノニアリマスルガ、是ハ大分委員會ニ於テハ廢棄スベシト云フ議論ガアツクノニアリマスルケレドモ、政府ハ尙一年間ダケ試ニ之ヲヤシテ貴ヒタイト云フ希望ガアツク、委員會ニ於テハノ容ル、コト、ナシ、通行稅ニ於テ二十六萬圓ヲ二十一萬圓ト削減スルコトヲ相當ト認メテ、一年間ダケ併シ金高ニ於テハ増加ヲ見ルコトニナリマシタ、此金高が本年度ニ於テハ、即チ四十三年十二十二萬圓ヤルト云フ主意ニ於テ原案ニ查定ヲ加ヘタ譯ニアリマス、ソレカラ第七ニ歲入是ハ專ラ地租條例、即チ法律ノ結果ニ依リテ異動ヲ生ジタノト、ソレカラ通行稅ノ政府提出案ニ否決セラレタ、此一ノ理由ニ依リテ、一方地租ニ於テハ歲入ノ減額ヲ見、通行稅ニ於テハ増加ヲ見ルコトニナリマシタ、此金高が本年度ニ於テハ、即チ四十三年ノ追加豫算ニアリ、此四十二年度ノ追加豫算ニ於テ、委員會ハ農商務省ノ要求ニ係ル生產調查會費一万圓バカリデニアリマス、是ハ諸君ノ御手許ニ回シテアル報告書ニ依リテ詳細ナル數字ハ御覽ヲ願ヒタウゴザイマス、是ハ四十二年度ノ追加豫算ニアリマシタ、此豫算ノ決定致シマスル、即チ貴衆兩院ヲ通過スル時分ニハ殆ド四十一年度ハ無クナル時分ニアリマスルカラシテ、四十二年度ニ於テハ其要ヲ認メズト云フ理由ニ於テ否決致シマシタ、其他ハ總テ原案ヲ認メマシタ、ソレカラ追第一號ニ特第二號ト云フノガアル、此追第一號ト云フノハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スルモノニアリマシテ、是ハ例ノ競馬會ニ對シテ明治四十三年以降二十箇年間一箇年ニ金十六万六千五百二十二圓以内ヲ補助スルト云フ契約ヲナスヲ得ルト云フコトニ、是ハ委員會ハ大藏省ヲト思ヒマシカ、經常部ニ於テ六十万圓バカリ競馬ニ關スル費用ヲ認メマシテ、其結果デ是モ認ムルコトニナリマシタ、特第二號ト云フノハ是ハ公債ノ借換ニ關シテ必要ヲ生ジタモノニアッテ、是亦餘議ナイモノト見テ委員會ハ之ヲ可決スルコトニ決定致シマシタ、唯今茲ニ報告致シマシタコトガ——マダ報告漏ガ一ヶアリマス、官吏ノ增俸ニ付テ之ハ一番先キニ報告シタ方が宜シカツタカモ知レマセヌガ、加藤政之助君、田川大吉郎君等ヨリ官吏増俸ニ付テ御意見が出て居リマシタ、加藤君ハ確カ判任官以下、ソレ必需要ヲ生ジタモノニアッテ、是亦餘議ナイモノト認メ、其他ハ之ヲ否認スルト云フ主意ノ御説ニアリマシタ、田川大吉郎君ハ確カ下士卒以下ノ二百九十何萬圓トカ云フ、是ハ昨日ノ豫算委員會ノ速記ニ出テ居リマスルカラ、數字ハソレニ付テ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、何モニ二百九十万圓バカリヲ認メテ、其他ハ之ヲ否認スルト云フ主意ニアリマシタ、採決ニ於テハ何レモ少數ニテ否決致サレマシタ、本年ノ豫算ニ付テ報告スペキコトハ先

ア是ダケト思ヒマスルガ、其結果ノ總額ニ付キマシテハ、修正ノ結果歲入ニ於テ八百三万九百六十六圓、歲出ニ於テ三百五十五万五千九百三十九圓ヲ減シマシタ、歲入歳出トモ各五億三千四十三万九千五百七十三圓トナリマスル、唯今マデ報告致シタコトガ、報告ニ值スルダケノ重要ナル事項ト存シマス、其他ハ總テ諸君ノ御手許アル報告書ニ依ツテ御承知ヲ願ヒタウ存シマス、又唯今削減等付テ、私が報告セザル其他ノ部分ハ總テ豫算委員會ニ於テハ可決スベキモノト決定シタ次第ゴザイマス(拍手起ル)○議長(長谷場純孝君) 大藏大臣侯爵桂太郎君

(大藏大臣侯爵桂太郎君登壇)

○大藏大臣(侯爵桂太郎君) 唯今委員長ヨリ報告ヲ致サレマシタル 歲入ノ修正ハ、政府ニ於テ修正セントスルトコロト同一デゴザイマスカラシテ、政府ハ是ニ同意ラシテ居リマス(拍手起ル)

○守屋此助君 私ハ大藏大臣ニ對シテ質問ガアリマスガ、項が幾ツモアリマスカラ、要領ダケ申シマス、第一ニ問ハント致シマスノハ、此度政府が公債ヲ借換セラレテ、一億圓ト云ノノが借換ニナシテ、四十二ニ年度ニ利子ノ仕拂が少ナクナル、金高ハ何程ニナリマスカ、其次ニ郵便貯金ノ利息ヲ、今マデ五朱テアリシモノヲ三朱六厘若クハ四朱一一厘ト致サレマシタガ、ソレガタメニ政府が仕拂フトコロノ利子ノ減シタ高ガ何程ニナシテ居ルカ、此一口ノ金ノ使途ト云フモノハ、政府デハ四十三ニ年度ニ於テ之ヲ如何ナル所ニ使フ御見込アルカト云フコトガ第一ノ問アル、ソレカラ其次ニ問ヒマスノハ、官吏増俸ニ付テ政府デハ行政ノ整理ヲ致サレタト云フコト、行政ノ整理至極結構アゴザイマスルガ、併シ此度ノ行政整理ト云フ事柄ハ、吾々否ナ、五千万ノ國民ガ熱望ラシテ居ル行政整理ノ點ニハ餘リ重キヲ置イテ居ラザルカノ如ク、豫算會議其他總テノモノヲ見レバ政府ノ答辯ガナシテ居ルヤウデゴザイマス、何デアルカト云フト、吾々ガ數年唱ヘル行政整理ナルモノハ五百万圓ヤ六百万圓ノ金ヲ減サウト云フノデハナイ、而シテ又國民ガ行政整理ヲ叫ブト云フモノハ、國民ガ五百万圓ヤ六百万圓ノ負擔ニ堪ヘナイト云フノテナクシテ、行政ノ手續が繁文縟禮ニシテ事務が滞滯ラスルノアツテ、ソレ故ニ行政整理ト云フコトハ、國民多クノ望ムトヨロハ事務ハ簡単敏捷ニシテ貨ヒタイ、事務が繁雜ナルガタメニ繁雜ナル手續ガ民間ノ人ニ被ル、事務が後レルタメニ國家ノ受ケル害が非常アル、ソレカラ政務が怠リ、政務が遲滯シ、政務が滞滯シタル間ニハ言フベカラザル賄賂ナド、云フコトガ、早ク事務ヲシテ貴ヒタイト云フコトカラヨノノ惡シキコトが行政ノ事柄ニ風聞が出来テ來テ、又事實ニ於テモソレラノコトが生シテ來ルノデアル、ソレ故ニ行政整理ト云フ事柄ハ繁文縟禮ノ弊ヲ除クニアリ、吾々が行政整理ヲ唱ヘルノハソレガ重キヲ爲シテ居ルノデアル、然ルニ此度政府ノ増俸一千五百万圓シャウト云フ中ニ、行政整理テ六百万圓ヲ

○島田二郎君 本員ハ同志ノ議員諸君ト共ニ全部ニ瓦ル修正案ヲ提出シテ之ヲ議題ニ致シマス——島田三郎君

(島田二郎君登壇)

○島田二郎君 本員ハ同志ノ議員諸君ト共ニ全部ニ瓦ル修正案ヲ提出シテ居リマス、是ハ一々數字ニ瓦リマスルト論旨明白ニ致シマスルノニ御聽取ニクイ御不便ガゴザイマスカラ、議長ノ手許ニ數字ヲ入レマシタモノニ修正案ヲ出シテ置キマシタ、サウシテ此理由ヲ一々説明スルヲ待タズシテ其事自ラ明白ニ理由ガ含マレテ居ルヤウナ箇條モゴザイマスシ、或ハ僅ニ修正ヲ加ヘテ其不條理ヲ直シタイト云フヤウナコトデ、別ニ説明ヲ要サヌモノアリマス、ソレ故ニ一々其款ニ瓦リ項ニ瓦リテ説明スルノ煩勞ヲ省キマス、要スルニ大體ニ於テ本員等ノ修正ノ結果、千三百萬圓程ノ減額ヲ加ヘルト云フコトデ御承知ヲ願ヒタイ、サウシテ其中ノ主ナルモノヲ唯箇條ヲ舉ゲテ申シマスルト、大體ニ條ニ付ア少シク擧ゲテ見マスルト、唯今内務省ノ項ニ於テ恩給及年金取扱事務費ト云フヤウナモノ、此事務が遞信省ニ移シテ居ラシテ事務費ダケが残シテ居リマスカラ其金額ガヤハリ特ニ要求シタダケ減シテ居リマス、是ハ遞信省ノ方ニ増シタダケデ其アトハ削シタ云フヤウナモノモゴザイマス、此等ハ説明ヲ要セズシテ自然ニ明白アル、ソレリマスガ、此度ノ行政整理ハ繁文縟禮ノ弊ヲ除クト云フコトガ含シテ居ルカ含シテ居ラヌカト云フコトヲ第一ニ伺ヒタク、若シ繁文縟禮ノ弊ヲ除クト云フコトガ、此度ノ行政整理ニ含シテ居ルナラバ、如何ナル方法ヲ以テ繁文縟禮ノ弊ヲ除クカ其一二ノ例ヲ御唱ヘル行政整理ハ是ハ從アル、主タルトコロノモノハ繁文縟禮ノ弊ヲ除クニアルノデアリマスが、此度ノ行政整理ハ繁文縟禮ノ弊ヲ除クト云フコトガ含シテ居ルカ含シテ居ラヌカト云フコトヲ第一ニ伺ヒタク、若シ繁文縟禮ノ弊ヲ除クト云フコトガ、此度ノ行政整理ニ含シテ居ルナラバ、如何ナル方法ヲ以テ繁文縟禮ノ弊ヲ除クカ其一二ノ例ヲ御示シニナレバ他ハ類推シテ分ルノアリマス、前ニ原内務大臣ガ行政整理ヲシタキハ、經費節減テナクシテ繁文縟禮ノ弊ヲ除クト云フ趣意カラ先づ内務大臣ガ公平ニ繁文縟禮ノ弊ヲ除カレタノハ國民トシテ大ニ喜シテ居ルトコロデアル、サウシテ繁文縟禮ノ弊

内務省ニ於テ居ル、近頃ハ又内務省ハ少シ惡シキ方ニ傾キハシナイカト云

フコトヲ私ハ思シテ居ル、此點カラ考ヘテドウモ今ノ内閣諸公が行政整理ヲ行ハレルト云ノハ、金ヲ減シタ——政治ノ手續ヲ減サナイデ、今度人ヲ御減シナサルト云フノデアルガ、今ノ手續ノ儘デ人ヲ減ラシタナラバ是ハ國民ガタマラナイ、左様ナ行政整理ヲサレテダマルモノデハナイ、ソレコソ益々事務が滞滯シテ益々賄賂ナドガ行ハレルノデアリマセウ、ナビナレバ前申上ダタ通り事務ヲ早クシテ貴ヒタイト云フトコロカラ、賄賂モ使フタラウシ、袖ノ下モ使フノデアル、假ニ國民ガ二箇月後レルト一箇月早クシテ貴フトデハ其利害得失カラ是タケ賄賂ヲ使フテモ早クシテ貴ッタ方が得デアルト云フ勘定が出来ルノデソレアリマスカラ私ハ今度ノ行政整理ニ繁文縟禮ノ弊ヲ除クト云フコトが含シテ居ルカ、居ラナイカ若シ含マレテ居ルナラバ如何ナル例ヲ以テシテアルノデアルカ、一々枚舉ニハ及ビマセヌガ、一二ノ例ヲ御示シニナレバ其一斑ヲ以テ全班ヲ知ルト云フ能力ハ、議員一同持テ居リマスカラ其例ヲ御示シヲ願ヒタイ

モ附帶シテ出テ居リマス、是ガハリ總豫算ノ上ニ於テ吾々ハ不同意デ^ヲ削リマシタ、ソレカラ鹽專賣事業ハ根柢ニ於テ吾々ハ反對デア^ヲ早晚之ラ廢サナケレバナラヌ時期ニ到著シマスガ、不幸ニシテマダ大ナル失敗ヲ取リツ、モ尙ソレヲ補綴シテ續ケヤウト云フ過費ト云フモノが此米穀ノ廉キ時代ニ於テ十六圓十錢ニ積^ヲテアルノハ、是ハ不當ノ要求^ヲ云フモノガタメニ、此鹽專賣事業ノ中ノ新營費ト云フモノヲ削リマシタ、陸軍ノ上ニ於テ糧秣^ヲ十四圓ニ引直シマシタガタメニ百十六萬圓餘之ヲ削ルト云フコトニナシテ居リマス[。]○議長(長谷場純孝君) 島田君チヨット——チヨット御詔^ヲ致シマス、モウ定規ノ時間六時ニ垂ント致シマスカラ、時間ヲ延シテ議事ヲ續ケヤウト思ヒマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○島田三郎君 ソレカラ陸軍ノ中ニ此間吾々同志ノ議員ノ質問ニ依^テ政府ノ要領ヲ得ザル答^ヲ得ア、未ダ吾々ガ良心ニ安ンズルコトノ出來ナイ彼ノ禁野彈藥庫ノタメニ支出シマスル金ニアリマス、是ハ此事業ヲ不當トスルニアラザルモ能ク後來マデ安全ニ之ヲ保存シ得ルトコロノ設計ヲ立テ、靜ニ計畫セラル、ノガ至當デアル、是ハ人民ノ側カラハ安全ノタメニ必要デアリ、陸軍其モノ、タメニハ又必要ナル此品物ヲ屢々消費シ附帶シテ危險ヲ生ズルト云フコトデアリマスカラ、上下共ニ此事ノ安全ヲ保チタイト云フ理由ニ依^テ輕卒ニ出サレタルコトヲ非難スル意味ニ於テ之ニ反對デアリマス、ソレカラ海軍省ノ衣糧費モ陸軍省ノ糧秣費ヲ削^ヲ理由ニ依^テ是ハ反對デアリマス、ソレカラ文部省ニ於テ測地學委員ノ爲メニ支出シテ居リマスル金モ、是モ陸軍ノ參謀本部^ヲ全國ノ測量ヲヤシテ居ルノデア^ヲ、是ハ重複ニ瓦ルノ嫌ガアリマスカラヤハリ其意味ニ於テ反對デアリマス、發電水力調査費ト云フモノハ實ハ利ノアル處民之ニ赴クノデアリマスカラ、電氣ノ調査ト云フコトハ政府が自ラ費用ヲ掛ケテ致サヌデモ民間利ヲ求ムルトコロノ人ガ致スニ任セテ、政府ハ嚴正正直ナル監督ヲスルノガ結構デアラウト思フガタメニ此費用ハヤハリ否認致シマス、却^テ今日ノ憂ヘ此水力ヲ既得權ノ如ク私シテ何時マデモ事業ヲ自ラ調査セザルモ調査其モノ、缺ケタルニアラズシテ此取締^ヲ缺ケテ居ルノデアルカラ、此方針ニ引直シテ欲シト云フ意味ニ於テ是ニ反對デアリマス、臺灣内地間ノ航路補助費モ是モ誠ニ今日ニ於テハ必要ハナ^イ、ソレカラ昨年ヤハリ否認致シマス、其代リニ吾々ノ特ニ政治ノ補助ノ必要ガア^タデアリマセウガ、今日ハ政府ノ特別ナル保護ニ依^テ臺灣ノ砂糖ト云フモノハ航海者ニ非常ナ利益ヲ與ヘル程増加シタノデアルカラ、依然トシテ此保護ヲ引續イテヤル必要ハナ^イ、ソレカラ昨年ヤハリ否認致シマス、其代リニ吾々ノ特ニ政治ノ云フモノハ、今年モ同シ理由ニ依^テ是ヲ否認致シマス、先ダ大略斯様ナルモノヲ舉ゲテ其事自ラ既ニ其理由ヲ説明シテ居ルモノモゴザイマスカラ煩^ヲ避ケテ總テ議長ノ手許ケレバナラヌ(拍手起ル)是ガ本員ノ大體ニ於テ前以テ諸君ニ御話ヲスルトコロノ緊要ナ

ル土臺^ヲアリマス、ソコデ全體ノ豫算案ヲ通覽致シテ見マスルノニ、曾ア豫算委員總會ニ於テ本員ガ發議致シマシタル如ク、政府ハ其名ノ美ヲ收メテ其實ハ之ニ副ハザルト云フ政治ノ方針^ヲ、總テ事業ヲ計畫セラレテ居リマスル、改草ノ名ア^テ其實甚^ア薄弱^アアルト云フヤウニ見エルノデアリマシテ、豫算ニ直接ニ關係ナキモ間接ニ關係ヲ有^シテ居リマスル税制整理ノ如キモノ、即チヤハリ斯様ナル精神ニ依^テ組織セラレテ居リマスルシ、今日囂々トシテ全國ノ反對ヲ受ケテ居リマスル營業稅ノ改正案ノ如キモノハ誠ニ明白ナルトコロノ是ハ增稅案アリマス、サウシテ政府ハ減稅ノ名ヲ收メテ實ハ增稅ヲ行ハントスルコトガ事實ニ於テ明白デアレバコソ天下ノ反對ヲ買ウタノデアリマス、同シ意味ニ於テ行政整理ト云フコトモヤハリ整理ノ名アリテ其實ナイト本員ハ思フノデアリマスガ、此豫算ノ精神トスルトコロノ大箇條ヲ舉ゲテ見マスルト、行政ヲ整理シテ其節約官吏ノ增給ノ一部トシテ、サウシテ總收入ノ餘^ヲ居ルトコロノモノヲ之ニ補足致シマシテ、凡ソ總テノ費額ヲ三分致シマスルト、官吏ノ增俸總額ガ千五百万圓大體ニ致シテ之ヲ三分致シマスルト五百萬圓ハ政府が行政整理ニ依^テ餘シ得タルモノヲ出シテ、サウシテ租稅ノ中カラ千万圓ヲ取入テ之ニ官吏ノ增給ヲ企テルト云フノガ今日行政整理ト呼バレ、茲ニ行政ノ緊縮ト呼バレ、トコロノ意味ニアリマスルガ、吾々ノ見ルトコロハ其名アリテ其實ナシト云フノガ、其片影が此豫算ノ上ニ嚴然ト現ハレテ居ル譯アリマス、ソレカラ國債ノ償還額ヲ増スト云フノモ昨年以來政府ノ聲明宣言セラレタトコロノモノデア^ヲ、是ガ公債ノ償還段^ヲ上ゲタト云フ一點ニ於テハ、前ノ内閣が前途圖ラレザル程公債ヲ出スデアラウト云フ感覺ヲ内外ニ與ヘタヨリハ比較シテ結構デアルト本員ハ公平ニ之ヲ評スルノデアリマス、併ナガラ凡^ヲ物ハ其中正ヲ失^テ過度ニ瓦リマスルキニハ利ヲ失^テ、害既ニ早ク至ルト云フ譯デア^ヲ、今日公債ノ償還^ヲ急イデサウシテ他ニ是ヨリ痛切ナルトコロノ急要ガアルニ拘ラズ七百五十萬圓ノ公債償還ヲ臨時ニ殖ヤシタ、償還額ヲ臨時ニ殖ヤシタト云フコトが政府ノ誇リトスルトコロデア^ヲ、吾々ノ不同意ヲ唱ヘルトコロノモノデアルノデアリマスカラ、之ヲ豫算ノ中ニ一大柱トシテ政府が此豫算ヲ組立テラレテ居ルガ故ニ、吾々ハ大體ノ精神政治ノ方針トシテ之ニ反對ヲ表シ、タメニ其理由ヲ説明スルノハレタガ、本員ノ見ルトコロニ依ルト此論者ノ憂ヘラレル如ク、官吏ノ員數ハ減^ヲテ居ラヌト考ヘマス、全體ニ亘^ヲ之ヲ議スルヲ避ケテ大藏省ノ一ツニ付^テ考ヘテ見マスルト、重ニ減ラストコロノモノハ判任官、技手^ヲアリマシテサウシテ本省ニ直接シテ居リマストコロノ官吏ハ幾ラ減^ヲタト言ヒマスルト云フト、減シタモノハ三十三人デア^ヲ、其給料極メテ低^トコロノ判任並ニ判任ニ達^ス者^ヲ除キ去^ステ居ラヌト云フノが實ハ名デア^ヲ事實十三人ト云フモノガ減^ヲテ居ルノデ、二十人減ラシテ、三人ハ表ニ是ダケノ人員ヲ備ヘテ置クト云フト、減シタコロノモノハ三十三人デア^ヲ、其シテ事實其人ガ無イノデアリマスカラ、帳簿ダケテ、十三名ノ空位ヲ除キ去^ステ居ラヌト考ヘマス、全體ニ亘^ヲ之ヲ議スルヲ避ケテ大藏省ノ一ツニ付^テ考ヘテ見マスルト、重ニ減ラストコロノモノハ大藏省小ナリト雖モ我帝國ノ重大ナル事務ヲ扱^テ居ラレル、其本省^ヲ判任二十名ヲ減ラサレタト斯^ヲ云フノデアリマスカラ、之ヲ推シテ他ノ省ヲ考ヘテ見マスルト云フト、今日大^きク唱ヘラレテ行政整理ト天下ニ呼號

シテ居ルトコロノ政府ノ改正ト云フモノハ知ルベキノミト本員ハ論斷致スノアリマス、サウスルト三十二名判任官ヲ減シタ云ハレニ付テハ、ソレテ事實ノ減リガ二十名、後トノ十三名ト云フモノハ實ハ官吏ガナイノアリマスカラ、決算ノトキニ至リマスルト云フト、是ダケノ給料ハ渡サナイカラ、是ハ不用額トシテ決算ノトキニ残ルベキ金ナアリマス、サルト云フ英斷ヲ施シテ根柢ヨリ改メラレタナラバ、其行政整理ノ極メテ名義ノミニ止マルト引去リマシタラ真ニ減シタモノ幾何ゾト本員ハ、ソレテ事實ノ減リガ二十名、後ト云フコトヲ疑フノアリマス、今守屋君ノ言ハレタル如ク根柢ニ改革ヲ加ヘテ、繁文縟禮ヲ除イテ政務ヲ簡易切實ニシテ、サウシテ或ハ二重ニナリマスルトコロノ課局ヲ合セルト云フ英斷ヲ施シテ根柢ヨリ改メラレタナラバ、其時ニハ後トノ能力アルトコロノ責任ヲ負フタルトコロノ大小ノ官吏諸君ニ向クテ、國民ハ喜ンテ給料ノ増加ニ應ズルト云フコトハ至當公平ナル處置デアラウト思フノアリマス、是ハ輕シク議會が同意ノ出來ナイノハ一度既定ノ歲出トナシテ、是が加ハリマスル、其手續ヲ經テ其大體ニ於ア既定ノ歲出ノ中ニ之ヲ組立テ、宜イト議會が決議致シマスレバ、行政整理未ダ成ラザル間ニ既定ノ歲出が確定シテシマフノアリマス、是ハ輕シク議會が同意ノ出來ナイアリマスカラ、議會ハ輕シク斯様ナル薄弱ナル整理ニ依ツテ餘シ得タル五百萬圓ヲ土臺トシテ、一方ニハ國力ノ本ヲ養フノ必要アリ、四海困窮セル今日ニ於テ一千万圓ノ金ヲ此一部ニ支出スルト云フコトハ、如何ニモ輕卒ナルコトアリト本員ハ考ヘテ居ルノデアリマス、元來戰爭ヲ經マシタ後、ノ稅ノ緊縮ト云フコトモナク、我帝國ノ美風トシテ兄弟内ニ鬪ゲトモ外侮ヲ防グト云フ敵國外患ノアタキニハ、總テ政府ニ手腕ヲ十分ニ揮フテ貴ヒタイト云フ誠意カラ議會モ平素ノ論ヲ收メテ政府が爲スガ儘ニ公債ヲ募ルベシ、増稅モスペシト云シテ應ジタノアリ、政府モ亦此急ニ應ズルガタメニ謀局ノ煩雜モ避クルコト能ハズ、人數ノ増加モ避クベカラズト云フノアリマスガ、恰モ大病ヲ経タ後暫クハ其身體ノ休息ヲ要スルガ如ク、大ニ勞シタル後暫ク其精神ヲ保養スルガ如ク、此大戰爭ヲ終ヘタ後何トカシテ上下共ニ暫ク休息スル必要ガアルト云フ時期テテルガ、之ヲ去ルコト五六六年、依然トシテ租稅ハ戰時ノ儘ニ据置イテ更ニ政友會内閣ノ位ヲ退カントスルニ當シテ二千餘万圓ノ增稅ヲサレタノアリマスカラ、ソレ故ニ總額ニ於テ今日餘地ノアルト云フコトハ誠ニ明白デ、私ノ見ルコト少ナク開クコト少ナキトコロノ考ニ於テ、凡ソ此ノ如キ大ナル戰爭ヲ經テ其時ニ臨時ニ租稅ヲ增加シタルモノヲ、平和ニ復シテヨリ五六六年ノ間一錢モ租稅ヲ減ラサナイト云フコトハ歷史ニ見タコトガナ、是アルハ明治年間ニ現ハレタルトコロノ國民ノ代表會ヲ開キ、國民ノ承諾ヲ求メツ、アルトコロノ現政府竝ニ前内閣ノ爲サレタトコロノコトハ、蓋シ歷史ニ比類ナキトコロノ出來事アルト本員ハ痛切ニ感ズルノアリマス（拍手起ル）幸ニ政府が吾ノ屢々唱ヘタル如ク國民ニ休養ヲ與ヘナケレバナラスト云フコト、竝ニ公債ヲ整理シナケレバナラスト云フコトニハ幾分カ思ラメグラサレタ、今日ニ於テハ、更ニ誠實ニ此問題ヲ考ヘラレテ事實アルト本員ハ痛切ニ感ズルノアリマス（拍手起ル）幸ニ政府が吾ノアルガ如ク戰後ニモヤハリ舉國一致テ此外患ノコトアレバ外患ニ當リ、事無ケレバナラスト云フコト、竝ニ公債ヲ整理

デアルガ、併ナガラ議會ハ如何ナル氣風ヲ持テ居ルカト云フコトヲ國民ニ訴ヘル機會ヲ得ルノハ、一人ノ議員ト雖モ尙之ヲ能クスルコトが出來ルノアリマスカラ、吾々ハ少數黨ヲ以テ済シテ肩幅狹シト思フテ居ラス、他ニ侵サレザルトコロノ此完全ナル自由發議ノ權利ヲ此壇上ニ與ヘラレタルニ於テハ、一人ノ議員ヲ以テモ専且政府ノ企圖ヲ國民ニ訴ヘ、國民ノ利益ヲ政府ニ告グルトコロノ自由ヲ完全ニ保持シテ居ル以上ハ、頭數ニ於テ百倍スルトモ私一人ハ更ニ憂トスルモノアハナイノアリマス（拍手起ル）少數決シテ憂フルニ足ラズト思ウテ居リマスカラ、少數者ヲ代表シテ意見ヲ述ブルノアルガ、併ナガラ院外ニ於テハ自ラ信シテ國民ノ大多數ノ所信ヲ代表シテ居ルモト本員ハ思フノアリマス、ソニテ著シク此惡結果ノ現ハレタノハ何デアルカト云フト貿易總額ノ減少アリマス、各港稅關長ガ皆語テ居リマスル、著シク收入が減シテサウシテ其減シタルトコロノモノハ、最モ起業ニ關係シテ居ルトコロノ材料ノ減シタノハ憂フベシト云フコトヲ局ニ當ル稅關長ガ物語ッタコトガ新聞社ノ傳フルトコロテアツテ、此ノ如キ問題ニ心ヲ寄セル人ハ皆之ニ信ヲ置イテ且憂フルノアリマス、著シク輸入ノ減シタ中ニドウ云フモノヲ數ヘテ宣イカト云ヘハ、新ニ工業ヲ起シ事業ヲ企テヤウト云フトコロノモノ、斯様ナモノニ要スル種類ノ機械ハ、昨年ヨリ今年ニ至リ著シク減シテシマウタノハ、大ニ口今ノ國內ノ不景氣ヲ憂フルバカリテハナタシテ、將來起ルベキトコロノ事業ノ根柢ヲ枯ラシツ、アリト推測スベキ事實ガ、稅關ノ輸入ノ上ニ現ハレテ居ル、ソレカラ鐵道ノ貨物モヤハリ減シテ居リマス、此減シタルコトニ付テハ遞信省並ニ鐵道院ノ御方ハ減シテ居ヌト云フ、成程收入ハ減シテ居ルケレドモ是ハ遠距離ノ貨物ノ價ヲ減シタカラ收入が減シタノアル、決シテ事實ハ減シテ居ラスト云ハレマスガ、全體ヲ申シマスト日本ノ現在ノ國力ハ相當ニ害ヲ與ヘナイデ、相當ニ爲スガ儘ニシテ置ケバ年一年ト増加シナケレバナラス國力ヲ持ツテ居リマス、之ガ少シテモ殖エナイト云フコトアレバ、直ニ減却ノ事實ハ此中ニアルト云フコトヲ認メナケレバナラス、例ヘ佛蘭西ノ人口が減少シテ困ルト云フノハ、佛蘭西上下識者ノ最モ憂フルトコロアツテ種々ノ法律ヲ設ケテ此人口ヲ殖ヤサウトンテ居ルガ、統計ヲ見レバ佛蘭西ノ人口ハ減シテハ居ラス、但シ英獨ノ如キ諸國ノ人口が非常ニ増加スルニモ拘ラズ佛蘭西ハ割合ニ殖エナイト云フノハ、恰モ他ノ國土ニ比シテ著シク減却スルト云フト、經濟ノ病的症狀アリマシテ昨年度ヨリ今年ニ瓦ツテ天下ノ憂ニナシテ居ル同シ憂ニ陥ルノアルカラ、佛蘭西共和國ノタメニ深ク憂フベシト結論スルト同ジク、丁度我國ノ國力ノ衰ヘタトコロニ足ラズ、之ハ國民ノ憂アツテ農家ノ疲弊ハ商品ノ不捌トナリ、商業ノ不振ハ直ニ工業品ガ賣レナインデアリマスカラ、全國ニ通シテ農商工ノ憂デ

アッテ上下一般ノ憂ト云ハナケレバナラヌ、之ヲ更ニ金融ノ上ニ付キ論シテ見マスルト、
金利ノ中央ニ於ケル低落ハ驚クバカリデアル、各銀行ガ頭ヲ鳩メテ預金ノ利息ヲ如何ニ
拂フベキカ、預金ニ對シテ利息ハ拂ハストコロノ申合ヲシャウト云フコトヲ屢々漏ラシテ居
ルノアル、是ハ事實デアル サウシテ地方ハ如何アルカト云ヘ豫算委員會ニ於テ内
務大臣ノ御説明ハ一割五分ノ利息ヲ農民ガ拂ハシテ居ルト云フ説明サレタ、極メテ農家
ノ疲弊ニ同情ヲ寄セラレタル其精神ニ於テハ深ク本員ハ諒トル、此ノ如キ憂ヲ抱カル
ルトコロノ内閣諸公デアルカト云ヘ豫算委員會ニ於テ内
が此ノ如ク中央ニ低落シテ地方ハ一割五分ノ利息ヲ農民ガ拂ハシテ居ルト云フ説明サレタ、極メテ農家
稀ナル豐作デアルカ、其農民ハ饑饉ト同ジヤウナ恐慌ヲ起シテ居ル、是ハ如何ナル現象
デアルカ、之ヲ簡單ニ人ノ身體ニ譬ヘテ見マシタラバ、脳充血、四肢厥冷ト云フノテ
(笑聲起ル)中央ニ金が集ツテ借手ガナイカラ金利が下シテ仕方がナイ、政府ハ是ガタメニ
一ツノ加減ヲシテ公債が非常ニ上ツタノハ我ノ政策中レリ誇ラレルカ知ラヌガ、成程
公債ノ上ツタノハ前ノ内閣ガ稍々良キガタメニ、公債ヲ上ダモノト公
平ニ吾々ハ現内閣ニ此點ニ於テハ大ニ贊成ヲ表スルモノニアリマス、併ナガラ藝ニ懲リテ
膽ヲ吹クト云フ謬ガ現内閣ヲ評スペキモノニアリマス、大ニ國民ノ
更ニ營業税ヲ舊ノ儘ニ据置クバカリデハナイ、其賦課ヲ更ニ重クシャウトシ、所得稅モ重
シ、法律變ラザルモ尙其謂ヘラニテ地方モ餘力アルコトニナリマシタラバ、利息ヲ附セズシテ金ヲ収カシ
種特別ノ稅ヲ皆苛察誅求シテ、更ニ其法律ノ根柢ヲ改メザルノミナラズ、大ニ國民ノ
金ヲ取上ゲルトコロノ姑息ノ刀筆ノ吏ニ政務ヲ任カシテ居ラル、タメニ、國民ノ營業資
本ト云フモノハ皆政府ノ庫中ニ入ルノデアルカラ、サウシテ新ニ營業ヲ起サントスレバ直
ニ營業稅ノ賦課が來リ、營業ヲスルニハヤハリ表ヲ張ラナケレバナラヌト云ヘ、所得モ多
カアルベシト言ウテ所得稅が増加スルノデアル、特殊ノ業ニハ又特殊ノ稅ガ其上ニ加ハルノ
デアルカラ、今日ノ有様アハ營業ヲシナイ方ガ安全デアルカ、其人が稅ノ誅求ヲ免レルノデ
アルカラ、縱令利益ハ一割ニ當ラザルモ七歩ニ當ラザルモ、尙公債ヲ買シテ所得稅ヲ免
レテ晏然トシテ座シテサウシテ期限ニ到ツタナラバ利札ヲ切ル、是程堅イ純益ハナイ、政
府ノ庫中カラ五歩ノ利息ヲ貰シテ居ルノガ一番得策デアル、且國民ヲシテ活動セシメズ、
國民ヲシテ安眠ヲ貪ラシメテ是ヲ公債上レリ金利下レリ政府自ラ得意ニナシテ居ルノ
デアルケレドモ、現在唯今ノ地面ヨリ獲マスルトコロノ眞ノ農家ノ收穫ハ如何デアル
マスカ、五歩ノ利益ニ當ラズシテ多分ノ或地ニ於テハ三歩五厘、或地ニ於テハ四歩ニ止ムテ
居ルノアル、此三歩五厘、四步ニ止ムテ居ルトコロノ農家ハ種々危険ヲ受ケテ居ル、水
災、風害、蟲害、是等ノダメニ或時ニハ皆無ニナルノデアルカ、豐年アルトキハ如何デアル
カト云ヘバ、其米ヲ廉ク賣ラナケレバ此過重ノ租稅ヲ拂フコトガ出來ナイ、五步五厘ノ
稅ヲ拂ハシタメニ——之ニ又附加稅ノアルガタメニ之ヲ一時ニ拂フ、其附加稅ノ金ヲ
調フルニハ急ニ穀物ヲ賣ラナケレバナリマセヌカラ、地方ノ金融ノ逼迫ナノハ其病豐年
ニアラズシテ豐年ノトキニ有ルダケ賣シテシマハナケレバ租稅ヲ納メ切レナイト云フ租稅
過重ノ反響が現ハレテ、農家ガ此ノ如キ困追ニ隔シテ居ルノハ明白アリマス、決シテ
民ニ豐年ガ憂ト云フニアラズシテ豐年ノトキ尙此憂アリト斯様ニ解釋スルガ當然デア
ルト考ヘルノアル、何ヲ致シマシテモ腦充血、四肢厥冷ト云フ帝國ガ病ヲ受ケテ居

ルノニ、如何ニシテ之ヲ治療スベキカト云フコトヘ上手共ニ攻究スベキ大問題デ、責ニ政
局ニ當ル内閣諸公ハ天下ノ憂ニ先ダテ憂ヘラルベキコトデアルト私ハ思フノテアリマス、サ
ウスルト此問題ハ誠ニ吾々ノ確定シテ居ルトコロノ意見ハ、國民ニ休養ヲ與フベシ、戰
時ニ賦課シタル過重ノ租稅ヲ及ブダケ輕減ベシ、其賦課法ハ十分ニ之ヲ公平ニ
スベシトス議ニ要求スルノニアリマス、サウスルト商工業ニ決シテ此ノ如キ不都合ノコト
起ラズ、大藏大臣カ態、實業家ヲ集メテ不景氣ノ原因如何ト下問セラル、ニハ決シテ
及バスト思フ(拍手起ル)不景氣ノ原因誠ニ明白デアリマス、不景氣ノ原因ハ金ニアル
ノデ、政府ニ餘リノ金非アレバ民ニ不足シテ國民ノ困難ヲスルノハ數學的一定ノ理法デ
アルカラ事新シク詮問スルニハ済シテ及バスト思フ、サウスレバ政府ハ共進會ヲ御世話ヲ
ナサルニモ及バヌ、商工業ヲ獎勵スルガタメニ不憚ノ役人ガ奔走スルニモ及バヌ、資本
ヲ豐カニシテ中央モ地方モ餘力アルコトニナリマシタラバ、利息ヲ附セズシテ金ヲ収カシ
テ置クコトハナインアルカラ、嘗テ政府ノ豫期シタルガ如ク商工業ト云フモノガ、大ニ
與ツテ金利モ相當ニ中庸ヲ得ルト云フコトニナルノニアリマスガ、今日ハ金利斯ノ如ク
下シテ商工業與ラズ、農民斯ノ如ク豐作ニ遭ラテ尚饑饉ト同ジ憂ヲ抱イテ居ルトキニ、
之ヲ憂ヘズシテ何事カ憂フベキ、私バ政務ノ緩急ヲ是ニ於テ明白ト思フ、ドウシテモ戰
時ノトキノ租稅ノ編成ヲ改メテ、及ブベキダケ休養セシムルノ政治ヲ行フヨリ外ニ仕方が
ナイ、此場合ニ於テ多年吾々が議會ニ呼號シテ政府ニ要求シタルトコロノ此休養ノ政
策ハ、誠ニ其事ニ付テ惡稅ハ惡稅デアル、不公平ハ不公平デアル、誠ニ負擔ハ過重デ
アル、併ナガラ政府ノ國庫ニ餘裕ナシト言ウテ昨年マテ居ラレタガ、何ツ圖ラン今年餘裕
ガアラダナラバ、直ニ前ノ手續ニ依シテ千五百万圓ノ中五百萬圓ダケラ帳面ノ中カラ削
出シテ千萬圓ノ官吏ノ增給ヲ企テラレタト云フノハ、是が第一ノ國庫ノ急務デアルカラドウ
アルカト云フコトヲ私ハ大ニ考ヘナケレバナラヌト思フ(拍手起ル)否ナ、考ヲ要セズシテ
是ハ第一ノ問題、寧ロ第三ノ問題トシテ永久ニ瓦ル官吏ノ給料ヲ改定セラル、モ亦選
カラザルベシト私ハ思ウテ居リマス(拍手起ル)サウシテ公平ニ評スレバ官吏ノ俸給豐カナ
リト私ハ思ヒマセス、確ニ此事ハ内閣諸公ノ前ニ明言スルノニアリマス、併ナガラ唯官吏
バガリデアリマセヌ、凡ソ給料ヲ受ケテ居ル者ハ上下共ニ物價ノ上ツタメニ損ラシテ
居ル側デアルカ、官吏獨リ損ラシテ居ルノテアリマセヌ、政府ノ官吏獨リ——若シ民間ノ
不利益ト云フコトナラバ、政府ノ官吏ニ向シテ誠ニ同情ヲ第一ニ表サナケレバナリマセヌカ、
吾々ノ觀ルトコロデハ左様ニハ見エマセヌ、特殊ノ事業、特ニ政府ノ特恩ヲ得タル日本
銀行デアルトカ、興業銀行デアルトカ、正金銀行デアルトカ、郵船會社デアルトカ、東洋
汽船會社デアルトカ云々ヤウナモノハ、是ハ別段デ此方ハ大ニ吾々ハ何ントカ國事ノ憂ラ
ズ、之ガタメニ相當ナル學業ヲ修メ専門ノ知識アル者或ハ相當ノ學歷アリ、熟練ノ手
腕ヲ持テ居ル者皆職業ナキニ苦シニ、争ウテ滿韓ノ官吏ノ割合ノ良イ處ヘ職ヲ求メヤ
ウテハナイカト奔走シテ居ルノガ事實デアル(笑聲起ル)ソレモ百中七十歩カ六歩デ、アトハ

カラ身ニ過ギナ繁雜ナル官吏並用試験ヲ設ケテ、大學其他カラ出ダ者ニ更ニ試験ヲシテ官吏ヲ登用スルニ拘ラズ、百人ヲ求メントスレバ千人申込ガアル、若シ五十人求メントスレバ百人ノ申込ガアルトスレバ民間ニ職業ガナクシテ相當ナル熟練アリ學歴アル者ガ民間ニモ官吏ト同ジヤウニ給料ヲ得ラレナ、是ハ確證ニアリマス、何故ニ官吏ノミ左様デアルカ、私ノ知リ得ル僅カナル事實ヲ以テ見ルモ、例ヘバ民間デ勤キマスル人デ或ハ教育事業ニ一生身ヲ委ネル人モアリ、文學ニ身ヲ委ネル人モアリ、學業ニ身ヲ委ネル人モアル、是等ノ人ガ一生榮譽アルトコロノ教育事業、或ハ文學事業、或ハ著作事業ニ從事シテ居ル、此收穫ト其繼續年間ヲ比較シテ見タナラバ大臣トナリ、知事トナリ、局長トナル人必シモ之ニ大ニ倍シテ居ル能力アリト私ハ言フコトハ出來ヌト思フ、同窓ノ同ジ經歷ノ學生——卒業シテ身ヲ官界ニ委ネタ人ハ數年ニシテ知事ト成リ局長ト成リ、同ジ能力ヲ抱イテ民間ノ教育、或ハ文學ノ事業ニ從事シテ居ル人ガ必シモ其給料ヲ官局ニ入ツタ人ト同ジウスルコトハ出來ナイ、之ヲ見マシタナラバ、特別ナル例ヲ除イテ特ニ政府ノ内部ニ居ル方ノ給料が薄イト論結スルコトハ出來ナ、私ハ思フノデアル、給料ガ一般ニ薄イハ日本ノ富ガ未ダ低イ結果テアツテ特ニ政府ニ居ル人が低イト云フ譯ハナイト云フ證據ハ、此ノ如ク政府ノ中ニ入ラントシテ及第ヲ求メルトコロノ人が續々現ハレテ來テ、民間ニ職業ノ得難キニ苦シニ居ル人ハナイ皆デゴザイマス、ドウシモ特ニ左様ナルコトハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウスルト更ニ遡ツテ今日ノ場合ニ於テハ物價ガ高イガ故ニ給料ヲ取シテ居ル者ノ利益ガ減ツテ居ルカラ之ヲドウカシナケレバナラズ、斯様ニ論結セラル、ノテアルカ、之ハ上下ヲ通シテノ憂ヘテ何トカ國民ノ生活三餘地ノアルヤウニスルニハ、諸種ノ間接稅ヲ除イテ物價ヲ高カラシムルトコロノ誤レ、政策ヲ政府ガ大顧ミテ廢メラレントラ本員ハ望ムノデアリマス、之ハ直三單リ官吏ヲ教フバカリテハナイ、五千万全體ノ上ニ與ヘルトコロノ均霑ノ利益デアリマスルカラ、間接稅ヲ減ラス力ニ大ニ力ヲ致サレンコトヲ望ムノデアリマス、免ニ角官吏ニ多クノ給料ヲ與ヘナケレバ威嚴ニ關ハルト云フノガ此官吏増俸論ノ根柢デアリマスルガ、本員等ノ見ルトコロニ依リマスルト云フト官吏ノ威嚴ナキハ官吏其人ノ品格ニ依ルノト官吏ノ氣風ニ依ルノトアシテ、決シテ官吏ノ給料ニ準シテ威嚴ガナイト云フモノハナイト思フノデアリマス、官吏ニ給料ヲ與ヘレバ直チニ威嚴ガ具ハルト云フノデアルガ、官吏トハ異シテ居ルガ、貴族院、衆議院ノ諸君ハ初メニハ八百圓ノ歲費ヲ受ケテ居ツタノガ、一千圓ノ歲費トナッテ、果シテ衆議院議員が見ルベキダケノ改革進歩ヲ爲シタカト云フト、私ハ然リト云フコトハ出來ナイト思フ、貴族院又然リテアラウト本員ハ推測スルノデアル、官吏モ亦然リテアリマシテ、今日ニ於テハ同ジダケノ利益デアルナラバ、未ダ官尊民卑ノ弊ノ盛シニ残フズノ者ニ増サウト云フノデ、其杜撰粗漏ナル案ヲ此衆議院へ投込ンテ之ニ同意セヨト求メラレルノハ、緩急共順序ヲ誤ツテ居ルト思フノデアリマス、元來申シマスルト官吏モ給料ハ、民間特殊ノ事業ヨリ低イノガ日本バカリテハナイ、列國皆然リテ之ニ添フコロノ威嚴が伴ウテ居ル、ソレニ添フトコロノ職業ノ榮譽ガ之ニ伴フテ居ル、更ニ保険ガ

付テ居ル、老年ニ至レバ恩給合テ給與セラレル保険ガ付テ居リマス、民間ニ勞働スルヨリモ榮譽顯榮ノ位地ト云フコト、竝ニ權力ノアルト云フコトノ保険ガ付テ居ルノト、特ニ我國ノ如キ官尊民卑ノ習ビノナカニ盛シナル國ニ於テ、官吏ニ唯給料ノ一事ヲ以テ威嚴ヲ具ヘシムルト云フコトハ無理ナル註文アシテ、却ア其疾ヲ癒ヤストコロノ要點ヲ得テ居ナイト思フノデアリマス、唯我國バカリテハナイ、亞米利加ノ「トラスト」鐵道業ノ總支配人ハ、大統領ニ五倍スルトコロノ給料ヲ取シテ居ル併ナガラ亞米利加ノ人民ハ大統領ヲ以テ決シ「トラスト」ノ總支配人「シユワリト」ニ劣タルトコロノ人物ト思フ者ハナイ、「ルーズベルト」然リ「タフト」又然リテアラウト私ハ思フテ居リマスルカラ、今日ニ於テ日本が單ニ給料ノミヲ以テ官吏ノ品格威嚴ト云フコトヲ論ゼラル、ノハ、特ニ日本ニ於テ甚ダ相應シカラタコロノ論デアルト確信シテ居ルノデアル、併ナガラ前三申シマス通官吏ノ給料裕ナリト本員ハ左様ノ偏頗ナルコトヲ申スノデナクシテ、或ル官吏ニ居ル人が低イト云フ譯ハナイト云フ證據ハ、此ノ如ク政府ノ中ニ入ラントシテ及第ヲ求メルトコロノ人が續々現ハレテ來テ、民間ニ職業ノ得難キニ苦シニ居ル人ハナイ皆デゴザイマス、ドウシモ特ニ左様ナルコトハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウスルト更ニ遡ツテ今日ノ場合ニ於テハ物價ガ高イガ故ニ給料ヲ取シテ居ル者ノ利益ガ減ツテ居ルカラ之ヲドウカシナケレバナラズ、斯様ニ論結セラル、ノテアルカ、之ハ上下ヲ通シテノ憂ヘテ何トカ國民ノ生活三餘地ノアルヤウニスルニハ、諸種ノ間接稅ヲ除イテ物價ヲ高カラシムルトコロノ誤レ、政策ヲ政府ガ大顧ミテ廢メラレントラ本員ハ望ムノデアリマス、之ハ直三單リ官吏ヲ教フバカリテハナイ、五千万全體ノ上ニ與ヘルトコロノ均霑ノ利益デアリマスルカラ、間接稅ヲ減ラス力ニ大ニ力ヲ致サレンコトヲ望ムノデアリマス、免ニ角官吏ニ多クノ給料ヲ與ヘナケレバ威嚴ニ關ハルト云フノガ此官吏増俸論ノ根柢デアリマスルガ、本員等ノ見ルトコロニ依リマスルト云フト官吏ノ威嚴ナキハ官吏其人ノ品格ニ依ルノト官吏ノ氣風ニ依ルノトアシテ、決シテ官吏ノ給料ニ準シテ威嚴ガナイト云フモノハナイト思フノデアリマス、官吏ニ給料ヲ與ヘレバ直チニ威嚴ガ具ハルト云フノデアルガ、官吏トハ異シテ居ルガ、貴族院、衆議院ノ諸君ハ初メニハ八百圓ノ歲費ヲ受ケテ居ツタノガ、一千圓ノ歲費トナッテ、果シテ衆議院議員が見ルベキダケノ改革進歩ヲ爲シタカト云フト、私ハ然リト云フコトハ出來ナイト思フ、貴族院又然リテアラウト本員ハ推測スルノデアル、官吏モ亦然リテアリマシテ、今日ニ於テハ同ジダケノ利益デアルナラバ、未ダ官尊民卑ノ弊ノ盛シニ残フズノ者ニ増サウト云フノデ、其杜撰粗漏ナル案ヲ此衆議院へ投込ンテ之ニ同意セヨト求メラレルノハ、緩急共順序ヲ誤ツテ居ルト思フノデアリマス、元來申シマスルト官吏モ給料ハ、民間特殊ノ事業ヨリ低イノガ日本バカリテハナイ、列國皆然リテ之ニ添フコロノ威嚴が伴ウテ居ル、ソレニ添フトコロノ職業ノ榮譽ガ之ニ伴フテ居ル、更ニ保険ガ付テ居ル、地稅過重ニシテ殆ド地方ヲ維持スルコトが出來ナイト叫シテ居ル最中ニ、唯今集リコチニ奔走シテ營業稅ノ痛苦ヲ訴ヘ、又天下奮ツテ此所得稅ノ不當ヲ訴ヘテ居ル人々ノ信シテ居ル人々ノ明言シタルガ如キ此杜撰益浪ナル案ヲ提ゲテ衆議院ニ臨マ

ルト云フコトハ、政府ノ所信實ニ疑フベキモノデアルト思フ、ソコデ更ニ私ハ政府ニ申シ
マス、繰返シテ申シマス、官吏ノ俸給裕ナリト申スノデハアリマセヌ、相當ノ時機ニ於テ
國民ト憂ヲ同ジウスル時機ニ於テ、國民ガ喜ンデ之ヲ迎ヘル時機マデ御延ベナサルコ
トガ、出來ナイカト云フコトヲ私ハ溫和ニ申シマス、明治十年ノトキハ如何デアル、二
重縣ニ地租改正ノ不平ガアッテ竹槍席旗ノアッタルトキニ、之ガ秋ニ起ツタラバ、其明カ
年ノ政治始一月四日ニ直ニ地租五厘減ノ詔ガ下ツタ、天下ハイローケト動搖シテ居
タガ、唯此一ツニ依テ民心ヲ安シズルコトが出來テ、續イテ起タルトコロノ西南ノ亂
ヲ美事ニ鎮定スルダケ民心ヲ收攬シタノハ、其當時ハ專制時代デアッテ議會ハナカタガ、
流石廟堂二人アリト思フノデアル、其時官吏ハ如何ナル迷惑ヲシタカト云ヘバ、判任官ハ
三分ノ一ニ人數ヲ減ゼラレ、奏任官ハ「割ノ祿稅ヲ課セラレ、勅任官ハ「割ノ官祿稅
ヲ課セラレ、サウシテ其時ハ如何デアッタカト云ヘバ、西南ノ亂ノタメニ多クノ不換紙幣ヲ
出シタガタメニ一圓ノ銀貨が一圓八十一錢マニア上ツテ、此時ノ官吏ノ苦ハ民間ニ曾テ竹
槍席旗ヲ揚ゲテ地租改正ノ苦ヲ訴ヘタト其憂ヲ同ジウスル政治家ガ廟堂ニ見テ居タレ
バコソ、彼等モ甘シシテ此ノ如キ改革ノ下ニ立ツテ業務ヲ廢セシテ民之ヲ感謝シ、國家
ノ運命ヲ大ニ發達シ得タデハアリマセヌカ、此場合ニ於テ國民ノ聲ハ衆議院ヲ通サズシ
テ徹スルコトが出來タガ、何事ゾ衆議院ガ儼然トシテ立ツテ居ルトキニ一人ノ起ツテ此ノ如
キ大切ナル政務ヲ論ズルモノノナイト云フニ至ツテハ、吾ミハ帝國ノタメニ將タ衆議院ノ
タメニ之ヲ歎息セザルヲ得ヌト思ヒマス、更ニ近イ例ヲ舉ゲテ見マスレバ明治二十六年ハ
如何デアルカ、民間ハ未ダ其消息ヲ知ラナカッタガ政府ノ外國ノ機密軍事固ヨリ機密ナ
リ、支那ハ如何ナル形勢デアルカト云フコトハ恐ラクハ民間ニ知レテ居ラナカッタ、併ナガ
ラ政府ノ軍務ノ局ニ當ル人、外交ノ局ニ當ル人ハ丁徐昌ガ一ト度我國ニ至ツテヨリ支
那ノ形勢ハ計ラレザリシト見タカラ、製艦費ヲ急イデ調製シタノデ大ニ軍艦ヲ造ラウトシ
タ、之が議會ト政府トノ争ヒトナツテ屢々解散ヲ經タガ、當時ノ局ニ當リマシタ故伊藤公
爵ハ此場合ニ於テ官吏ノ給料ノ一割ヲ製艦費ノ上ニ加ヘテ、ソレト同時ニ國會モ亦國
民モ政府ノ旨ノアルトコロヲ聽取シテ、製艦費ヲ快ク承諾セヨト云フ政略ヲ採ラレタノニ
此處置ニ感シテ、今迄波瀾万丈アッタ解散ニ次グニ解散ヲ以テシタ局面へ一變シテ、
又官ヲ思フト云フ精神が横溢シテ居レバコソ之ガ出來ルノデアルガ何事ゾ今日ノ政策ハ
第一要件トシテ官吏ノ増俸ヲ徵求セラレルテ、サウシテ過刻又此壇ニ於テ討論ニナッタ
如ク、國民ガ泣イテ訴ヘテ居ルトコロノ地租ガ若シ議會ニ此議ナク、新聞並ニ其他ノ機
關ニ依テ地租ノ輕減ヲ鳴ラサリセバ官吏ノ増俸ヲナスマモ、地租ノ輕減ハナサヌトスヤ
ウニ基礎ヲ据ヘラレタトコロノ内閣ノ本意ヲ悲歎シナケレバナラヌノデアリマス、是が私ノ
官吏ノ增俸ニ反対スル所以デ、下士官以下ノ事實兵隊ニ呼バレマスルト云フト、其中ニ
給料が不足シテ親ノ處ニ訴ヘテ小遣ヲ求メナケレバ真ノ用ヲ達スコトが出來ナイ、健康
ヲ維持スルコトが出來ナイ、愉快ヲ僅カナカラモ取ルコトが出來ナイト云フタメニ、即チ
貧シクトモ親ガ其金ヲ軍隊ノ徵兵ノタメニ送ルト云フコトハ、吾ミハ實ハ間接ノ增俸デア
ルト見ルが故ニ、下士官ノ給料ニ向ツテ二割ヲ増スト云フコトハ快ク承諾シテ、斯ヤウナ

ル憂ヲ土下共ニ除キタイト思フ、併ナガラ他ノ一般ノ官吏特ニ議員ノ増俸、特ニ昨年
解决シタ司法官ノ増俸ト云フモノ、今テモ豊ナルトコロノ滿韓、臺灣ノ官吏マデ一齊ニ増
スト云フコトハ之ヲ永久ノ制度トスルトコロノ既定歲出ノ金トシテ求メラル、ニ於テハ、
衆議院ガ若シ明治二十六年ノ意氣アリセバ恐ラクハ之ヲ承諾シナイト思フ、若シ政
府ニシテ明治十年ノ精神アリセバ恐ラク此案ヲ提出サレマイト思ヒマスカラ、吾ミハ愛國
ノ精神ニ訴ヘテ國民ノ聲トシテ之ニ反対シナケレバナラヌト思フ、國民ノ利益ト云ハシヨ
リハ寧ロ帝國ノ利益デアル、否ナ、政府モ亦國民ノ利益ト離レザランガタメニ斯ヤウナル
コトハ須ク慎重ノ態度ヲ取ラレントコトヲ望ムノデアリマス、之ヲ除キマスレバ給料竝ニ増俸
ニ充ツベキモノデ、約千五百万圓ノ金ハ茲ニ出テ來ルノデアル、其中カラ凡ソ二百九十万圓
ノ下士卒ニ充ルモノヲ引去リマシテ、假ニ二百万圓出テ來ルノデア
ルカラ、地租ノ輕減之ニ依テナスベシ、之ト同時ニ他ノ所得稅ヲ撤回スルニ及ハズ、又
政府ト政友會ト相談ヲセラレテ通行稅ノ中ヲ削リ去ル如キトコロノコトマデナサズシテ、
上下共ニ喜ラ同シウシテサウシテ來年、再來年ニ至ツテ政府ガ緩ヤカニ官吏ノ増俸ヲ計
畫セラレテ之ヲ議會ニ求メラレテハ如何デアリマスカ、今日ノ場合ニ於テ如何ニスルモ官
吏ノ増俸切迫セリト云フコトハ出來ナイ、凡ソ經濟界ガ振ハズシテ物價ノ低落シタルト
キ、特農家ガ米ノ廉キヲ憂ヘテ居ルトキハ、是ハ給料デ保障ヲ得ル人ノ方ガ得ノ割合デ、
物品ヲ賣ル人が損ブシテ苦シム時代デアル、此時代ニ第一ニ切迫セリトシテ給料ヲ得ル
人の方ニ豐ガナル計算ヲ立テルト云フコトハ、國民ノ聲トシテ如何ニモ不穩當ナル改
革デアル、此故ニ、於テ第一ニ反対ヲ表セザルを得ヌノデアリマス、第二國債償還額ノ増加
デアリマス、國債償還ハ現内閣ノ成立以來、此コトヲ主義トセラレテ今ノ内閣ノ失第ヲ
補ハシタメニ、政友會ノ諸君ニハ氣ノ毒デアルガ失策ト云フノデ、未募集公債ヲ屢々豫
算ニ掛ケテサウシテ、鐵道公債ヲ今ニ募ル、募ルト云ツテ居ラレタカラ、公債ハ勢下ラザル
ヲ得ンノデアル、現内閣ガ公債ノ引上げニ銳意セラレタハ事情ニ於テ尤モテアルガ、ソレ
ガタメニ過度ノ償還ヲセラル、必要が何處ニ在ルカ基礎ガ確カデアッテ確ニ償還シテ吳レ
ルト云フナラバ、割合ノ餘り低カラザルトコロノ公債ヲ持ツテ居ル人ハ、早ク元ヲ還ヘシテ吳
レト云フコトヲ言ヘル、コトナインハ誠ニ明白デアル、殊ニ海外ノ公債所有者ハ此コトヲ
万承知シテ居ル國デアル、幸ヒ少數ナガラ吾ミ屢々唱ヘタトコロノ彼ノ軍事費ノ繰延ト
云フモノが現内閣諸公ノ耳ヲ傾ケテ居ラレルトコロノ日米戰爭ノ如キ風説モ消ヘタノデ
アル、日本ニ野心アリト云フ疑モ消ヘタノデ、是又公債價格ヲ騰ゲルトコロノ重キ原因
デアッテ、政府ガ一千五百万圓以上ノ公債ヲ年々返スト宣言セラレテ、一年實行シテ更
ニ多ク返サレルト云フコトハ、經常費ノ部ニ出テ居ルカラ臨時費ノ上ニ七百五十萬
圓ヲ償還スル必要ハナノデアリマス、サウシテ政府ハ斯ヤウニ申ス、短期ノ公債ノ早ク
還サナケレバナラヌノガ二年以後ニ追ツテ居ルカラ、之ヲ増ス必要ガアルト云フコトデアルケ
レドモ、五千万圓ノ利息其他ハ借換ヲシテモ今日ハ豐ガニニ應ズルダケノ財政經濟ノ
有様デアリマス、カラ慌テ、民間ノ疲弊ヲ顧ミズシテ公債ノ臨時費却ラシナケレバナラヌ必要
ハ万ナインデアッテ、是ヨリ急ナルトコロノモノガアル、故ニ、此理由ニ依ツテ之ヲ削減シテ今
日民力休養ニ活用シヤウト云フコトヲ望ムノデアリマスカラ、大體ノ豫算ノ方針ニ付テ二
ツノ杜トシテ政府ガ組立ラレタルトコロノ政治方針、財政方針ニハ本員ハ反対デアッテ、之

ニ反對スルがタメニ各省ニ修正ヲ加ヘテ、議長ノ手許ニ出シテ居ルガ如ク一千三百七十万圓ノ削減ヲ加ヘテ、サウシテ更ニ他ノ法律參テ改正スルノ希望ヲ以テ、大ニ國力ノ本ヲ涵養スルコトヲ政府ニ勧告シナケレバナラヌ、此理由ニ於テ修正ヲ加ヘ、大體ノ方針ニ於テ反対ヲ表スルノデゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 竹越與三郎君

(竹越與三郎君登壇)

○竹越與三郎君 私ハ豫算委員長ノ報告ヲ維持セント欲スルモノアリマス、唯今島田君ヨリ明治ノ上半期以來ノ歴史ヲ伺ヒマシテ、深ク興味ヲ以テ拜聴致シマシタ、島田君ハ明治十年ノ竹槍席旗マテモ稱揚セラレテ、此議會ニ氣力がナイト云フヤウニ御議論ガアリマシタが、此ノ如キ竹槍席旗マテ稱揚セラル、議論ノ結果トシテ削減セント欲スルコロハ一千三百万圓ト云フ高ナル、此高ハ吾ミガ豫算ニ加ヘタ削減高ト敢テ澤山達ツテ居ラヌノアリマス、諸君凡ソ天が下ニ満足スペキコトハナイ、人生意ノ如クナラザルコト十半バ、自分ガ爲スコトサヘ此ノ如シ、況ヤ他人ガ爲シコトヲ觀レハ意ニ満タサルコトハ甚ダ多イ、私ハ豫算委員ノ報告ヲ拜見シテ(島田三郎君「御演説中アルガ」言シタ)、私ノ言違ヒテアルカ、御聽違ヒテアルカ、チヨット誤リガアル正誤ヲシタイト呼フ)豫算委員長ノ報告ニ據レバ(島田三郎君「チヨット正誤ガアリマス」「黙レ」)ト呼フ者多シ)豫算委員諸君ノ眞意アルトコロハ能ク了解シマシタ(島田三郎君「議長私ハ正誤シテ置キマス」ト呼フ)此委員長ノ報告ハ委員諸君が深ク研究セラレテ、誠ニ精密ナル注意ヲ以テ修正セラレタモノアルカラ、之ヲ維持致シマス(島田三郎君「議長正誤ガアリマス」加藤政之助君「議場ノ整理ニ付テ云フ、決シテ……」ト呼フ「無用々々」又「黙レ」)「聲起り、騒然タリ」吾ミガ豫算ニ付テ削減セントスル所ハ先ツ第一ニ地租ニ於テ八厘ヲ減シ其高ハ九百万圓三達スルト云フコトデアル、是等ニ付テ八種々默契モアルヤウデアルガ、併シ租稅ノ金額ハ三億二千万圓ニアッテ、其三億二千万圓ノ中カラ八厘ヲ減シ稍九百万圓ニ近い此高ヲ取り得タト云フコトハ、大成功デアルト思フノデアル、是ハ敢テ竹槍席旗ヲ御捕例ニナルニハ及バ、此議會ニ十分ノ氣力デアル證據ニアリマス、(委協ノ氣力アリ)又此金額バカリデハナイ、此金額以外ニ大ニ看取スベキ事實ガアル、ワレハ先程進歩黨ヲ代表シテ武富君ガ言ハレタ如ク、主義ノ争テアル、政府ハ財計ノ剩餘ヲ所得稅改正法案ニ向ケントシタノデアル、然ルニ議會ハ此剩餘ヲ地租ニ向ケントスルノデアル、而シテ政府ハ甘然トシテ之ニ同意シタノデアル、即チ政府ハ其政策ヲ拠ツタノデアル、是が若シ歐洲ノ立憲國デアルナラバ、恐ラクハ政治上ニ危機ハ此處カラ來ルコトデアラウガ、併シ吾ミガ此ノ如キ事ヲ企圖シナ、企圖シカ故ニ敢テ政府ヲ窮追セズ、胸襟ヲ披イテ、政府ト談合シタノデアル、(野合シタノデアル)ト呼フ者アリ)私ハ昨年此演壇ニ立ッテ、三稅廢止ノ議論ノアッタキ、何ゾ必シモ三稅ト謂ハシヤ、減ズベキモノガアラバ地租モ減シナケレバナラヌト云フコトヲ言フタガ、我黨ハ此言ヲ實ニセンガタメ政府ト相談フシ、此議會ノ權能ニ依シテ地租ヲ輕減スルコトニナツタ次第アリマス、又三稅其他戰時稅ヲ同時ニ輕減セナケレバナラヌト云フ議論ガ大分先頃カラアリマシタが、諸君が望マル、トコロヲ同時ニ減ズレバ四千四百万圓程度ナルノデアル、知ラズ豫算ノ内四千四百万圓ヲ減少スル所ガドコニアルガ、凡ソ島田君ガ

今日唯今述ベラタ如キ、種々ナル議論ガアルモ、國家ノ現狀ノ見方が違フト思フ、島田君ノ言ニ據レバ、貿易衰頹民力疲弊、此次ニ來ル言葉ハ亡國アル、島田君ハ亡國ト言ハヌダケアル、私ハ此ノ如ク國家ノ位置ガ危險トハ思ハヌノデアル、島田君ノ如キ議論ハ明治初年以來毎年繰返サレタ議論デアル、四十三年間ニ輸出ガ超過シルノデアル(拍手起)諸君、島田君ノ若シ言ハレル如ク、國家ノ現狀甚ダ危險デアラバ、是ハ大治療法ヲ施シテ、軍隊ノ組織カラ、行政ノ組織カラ、凡テ縮小ヲシテシマツテ、所謂小日本主義ニシナケレバナラヌノデアル、島田君ハ未ダ曾テ小日本主義ヲ公言セラル、程ノ勇氣ヲ有シテ居ラヌヤウデアル、諸君、羅甸ノ言葉ニ、驕馬ノ毛ヲ刈ルコトハ禁物デアル、聲バカリ大キクテ寶入ガ尠ナイ、ト云フ非常ナル議論ヲセラレテ、アレモ減ラセ、是モ漏ラセ、ト言ハレルケレドモ、結局ノトコロハ吾ミガ主張スルトコロト略々跡ヲ追ッテ來ラレル位ノトコロデアルナラバ、餘リ御議論ナク我黨ノ議論ニ追隨シテ御出ニナク方ガ最も便利デアラウト思フノデアル、又島田君ハ聲ブ大ニシテ、官吏増俸ト云フコトヲ政治上ノ害惡デアルカノ如ク言ハレテ居ルノデアル、是ハ最モ驚クベキ議論ト謂ハナケレバナラヌ、堅實鞏固ナル行政組織ハ帝國存在ノ要義アル、島田君ハ恰モ官吏ハ他國人デアル、若クバ敵デアルカノ如クニ議論セラル、ノデアルガ、此官吏ハ我帝國ヲ維持スル官吏デアル、若シ官吏が惡ルト云フコトナラバ、ソレハ此屬僚ヲ率ユルトコロノ上ニ立ツヌ、堅實鞏固ナル行政組織ハ帝國存在ノ要義アル、島田君ハ恰モ官吏ハ他國人デアル、若クバ敵デアルカノ如クニ議論セラル、ノデアルガ、此官吏ハ我帝國ヲ維持スルノ苦痛ト比較シタノデアル(ト呼フ者アリ)若シ佛蘭西ノ大革命ニ、最モ利益ガアッタストレバ何アルカト云フニ、即チ今日ノ如キ堅實鞏固ナル行政組織ヲ遺シタト云フコトガセナインデアル、此堅固ナル行政組織ハ、謂ハ、帝國存在ノ要義アルト云フコトハ(「國民ノ苦痛ト比較シタノデアル」ト呼フ者アリ)若シ佛蘭西ノ大革命ニ、最モ利益ガアッタストレバ何アルカト云フニ、即チ今日ノ如キ堅實鞏固ナル行政組織ヲ遺シタト云フコトガセナインデアル、此堅固ナル行政組織ハ、謂ハ、帝國存在ノ要義アルト云フコトハノ如キ者ノ給料ヲ増ス必要ガナイト云フ御話シニ至シテハ、實ニ驚クベキ事ト謂ハナケレバナラヌ(「官吏ノ非ヲ擧ゲタコトナシ」ト呼フ者アリ)經濟上ノ變動ニ依シテ、生活上ノ動搖ハ官吏社會ヲモ最早擊テ居ル、此動搖ヨリ官吏ヲ救フテ、安心立命シテ其清廉ノ如キ者ノ給料ヲ増ス必要ガナイト云フ御話シニ至シテハ、實ニ驚クベキ事ト謂ハナケレバナラヌ(「官吏ノ非ヲ擧ゲタコトナシ」ト呼フ者アリ)經濟上ノ變動ニ依シテ、生活上ノ動搖ハ官吏社會ヲモ最早擊テ居ル、此動搖ヨリ官吏ヲ救フテ、安心立命シテ其清廉ヲ維持セシムルト云フコトハ今急務デアル、諸君、諸君ハ五六年來經驗セラレタコトニアラウガ、我海ノ向フニ於テハ戰時ニ砲臺ヲ食ベタ士官モアル、軍艦ヲ食ベタル政治家モアル(「國民ヲ食ベタル政黨モアル」ト呼フ者アリ)此ノ如ク國家衰亡ノ域ニ達シタノデアル、此ノ如キ行政組織ヲ以テスレバ國家ノ衰亡ハ當然デアル、我國ハ決シテ斯ル勢ニ到著セサルコトハ吾ミノ信ズルトコロデアル、併ナガラ未ダ雨降ラザルニ當ツテ門戸ヲ綱繆スルト云フコトハ最モ必要ナルコト、思フノデアリマス、而シテ此官吏ノ増俸モ新タニ悉ク租稅ニ取ル譯アハナ、行政整理ヨリ出シタル六百万圓ニ七百万圓ヲ一般經濟カラ加ヘルノデアリマス、斯ウ云フ譯ニアリテ、此財源トシテ豫算ニ改廢ラ企テ、陸海軍ニ於テ百七十八万圓ノ節約ヲセシメタト云フコトハ、是レ議會ノ權力偉能ト言ハナケレバナラヌノアル、此ノ如キ行政組織ヲ以テスレバ國家ノ衰亡ハ當然デアル、我國ハ決シテ斯ル勢ニアル、此間ノ苦衷ヲ察スル人ハ、世必ズ其人ガアルデアラウト思フ、又委協ガ惡ルトカ、政府ト相談ラスルノガ惡ルトカト云フコトヲ頻リニ先刻カラ言ハレテ居ルガ、是ハ非立憲ニナルノデアル、知ラズ豫算ノ内四千四百万圓ヲ減少スル所ガドコニアルガ、凡ソ島田君ガ

先鞭ヲ著ケタト呼フ者アリ、宜シイ、憲法ニ書イテナイコトデモ宜シイ、然ラバ多分歐羅巴ノ立憲國ニナイト云フコトデアラウガ、諸君が尊重スル英吉利ノ憲法史ニ於テ立派ニ妥協ノ歴史ガ澤山アルノデアル、千八百七十三年ノ「ズレリー」アタリノ歴史ヲ御覽ナサイ、妥協ノ歴史ハ澤山アル、之ヲシモ非立憲ト云フコトが出來ルテアラウカ、吾輩未ダ曾テ英國ノ政治家ハ之ヲ非立憲ト云フコトヲ聞カヌノデアル、是ハ我左ニ居ル人ミノ發明シタ新熟字デアラウト思フ、「ノウク」ヒヤク「進歩黨モ曾テ妥協シタルコトアリ「豫算ノ本論ニ入ルベシ」ト呼フ者アリ、此ノ如ク豫算ノ眼目ハ地租ヲ輕減シタ云フコトガ第一ノ眼目アル、是ハ諸君モ吾々同論デアラウト思フ、而シテ豫算ニ改廢ラ企テ、政費ヲ節約シタ云フコトガ第二ノ眼目アル、之ニ付テ異論ガアルヤ否ヤ、異論ハアルマイト思フノデアル、而シテ第三ハ官吏ノ俸給ヲ増シタ云フコトデアルガ、之付テハ異論ガアルガ、併シ此官吏ノ俸給ハ即チ政費ノ節約カラ入シタトコロガ多イノナルカラ、是亦諸君ニ於テ異論ノアラウ筈ハナイト思フノデアル、勿論今御話シタ如ク天下意ノ如クナラザルモノ十三八九、モウ少シスレバ宜イト思フコトガ澤山アルニ相違ナイ、併シ今御話シタ如ク此國情ニ於テハ是ヨリ仕様ガナインデアル、諸君ノ議論ハ種々アルケレモ、アレモ減ラセ是モ減ラセト云フ註文ガアルガ、何カラ減ラスノデアルト云フ御説明ハ甚ダ不十分テアル、昔ノ小説ヲ讀ムト小説ノ中ニハ澤山金ヲ使シテ居ルガ、倍其金ノ出場ハ書イテナイ、諸君ノ議論ハ所謂小説ノ中ノ丹次郎風ノ議論デアリマス、(笑聲)起リ拍手起ル)斯ウ云フ理由ニ依シテ紛々タル議論ハアツテモ、要スルニ毫末モ政治家のノトコロモナケレバ、事務的ノ算數ニ通ズルトコロモナイ、先ツ委員長ノ報告シタ豫算修正案ナドガ最モ落著キノ宜シトコロデアラウト思フカラ、滿堂ノ諸君ハ之ヲ御採用アランコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 加藤政之助君

○加藤政之助君 呼シテ居ラレマスガ、先刻竹越君ノ前ニ本員が發言權ヲ得ルノガ相當デアルト考ヘマスガ、議長ハツレ如何ニ考ヘマスカ

○議長(長谷場純孝君) 議長ハ竹越君ノ通告モアリマシタカラ、竹越君ニ許シテ相當思ヒマンタカラ許シマシタ、免ニ角唯今ハ加藤政之助君ニ許シマシタ

○島田三郎君 唯今正誤ヲ致シテ置キタイ、私が言ロ間違アルト甚ダ御氣ノ毒デアリマスカラ、正誤シテ置キタイ、官吏ノ俸給ノ外ニ一千三百萬圓、確ニ政友會ノ修正トハ大ニ違テ居リマス、同シテアタト云フコトハ大ナル誤リテアリマス

(加藤政之助君登壇)

(簡単ト呼フ者アリ)

○加藤政之助君 諸君、本員ハ吾々同志ヲ代表致シマシテ、此豫算案ニ對シテ修正案ヲ提出致シテ居リマスモノアリマス、其修正案ノ全部ハ議長ノ手許ニ出シテ居リマスカラ、此處デ之ヲ重ねテ讀ムコトヲ省イテ、要領ヲ先ア申上ケマス(簡単ニト呼フ者アリ)其第一ハ此官吏ノ俸給ニ對シマシテ、吾々ハ判任官以下下士卒ノ俸給ハ認メルガ、其他ノ俸給ハ認メナイト云フコトデアリマス、其次ノ此陸軍ノ糧秣費、憲兵ノ糧秣費、此二項ニ對シテノ節減ノコト、ソレカラ其他九項ハ此先刻來議論ニナツテ居リマスルトコロノ繼續費ノ頭ダケラ本年ニ出シテ、サウシテ其形ヲ現ハサズニ居シタ云フ九項ニアリマス

ス、其次ハ阿里山ノ經營ヲ全部認メナイト云フコトデアリマス、此陳述致シマシタ以上ノ點が即チ吾々同志者ノ豫算案ニ對シテ修正ヲ希望スル點アルノデアリマス、「モウ分ッタ」ト呼フ者アリ)而シテ本年ノ此豫算案ノ骨子、即チ柱トナツテ居リマスルコロノモハ何デアルカト申シマスルト云フト此稅法整理ニ依ル九百十二万圓ノ減稅、ソレハワレカラ官吏ニ對シマスル千四百万圓以上ノ俸給、此ニツガ豫算ノ骨子トナツテ居ルモノト考ヘルノデアリマス、而シテ此骨子ニ付テハ豫算會開ケテ以來政友會ノ諸君モ、其他各派ノ諸君モ異口同音ニ政府提案ノ不可ナルコトヲ主張セラレタノデアリマス、ソレハ何故デアルカト申シマスルト云フト、此九百何十万圓ノ減稅——主ニ商工業者ニ關係ヲ有シテ居ル——此千四百万圓ノ俸給、獨リ官吏ニノミ私シテアル、而シテ日本ノ人口ノ四分ノ一ヲ占メテ居ルトコロノ、即チ直接ニ八千五百万圓ノ俸給ヲ納メツ、アルトコロノ此農民ニ對シテハ一向減稅計畫モ何モナイ、何等此特典ノ及ボストコロガナイノハ不公平ナリト云フコトハ、此全會ノ諸君が異口同音ニ過日マテ唱ヘラレタル論點デアルト考ヘルノデアリマス(拍手起ル)ソレテ細目ハ免モ角モ、此豫算ノ大體ニ於キマシテハ、即チ政府ノ提案が一方ニ傾イテ居ル、即チ偏愛ノ豫算案アルト云フコトハ、今更之ヲ辯明スルノ必要ハナシ、何人モ之ヲ詔メラレテ居ルトコロデアラウト思フ、ソレ故ニ此豫算總會ノ決定スルマデハ、日本全國民ノ此第二十六議會ノ財政計畫ニ對スル囂々ノ批難ハ單リ内閣諸公ノ頭上ニ集ツタノデアル、然ルニ此豫算總會決定後ハ此責任が肩更リガシテ、政友會ノ諸君ノ肩を移ラントシツ、アルモノト私ハ考ヘルノデアル(拍手起ル)ソレハ何故デアルカ、即チ第二十六議會ニ於ケル政府ノ豫算計畫ヲ僅ナル修正ヲ加ヘテ、此僅ノ修正ニ甘ンジテ、政友會ノ諸君ガ之ヲ協賛サレントシツ、アルノデアリマスカラ、此豫算計畫ニ對スル將來ノ批難ハ、政府ノ諸君ハ肩抜ケラスルガ、是カラ以後政友會ノ諸君が重荷トシテ肩ニ背負ハナケレバナラヌト思フノデアル(拍手起ル)「ノウク」「心配ニ及ハス」ト呼フ者アリ)而モ——而モ政友會ノ諸君が「ノウク」ト呼フ者アリ)衷心ニ之ヲ是認セラレテ居ル譯アルナラバ、私ハソレハ意見ノ違ヒアルカラ何等茲ニ申スベキコトハナインデアル、併ナガラ諸君衷心御考ヘナサイマセ、此豫算總會開ケテ以來、諸君ノ言論行動ハ吾々ヨリモヨリ一層是ニ不滿足ヲ唱ヘラレテ居ルテハアリマセヌカ(拍手起ル「顏色ナシ」ト呼フ者アリ)ソレハツイ四五日前マテノコトデアル、ソレハ今日ノ最モ急務デアル所ハ何デアルカト申シマスルト云フト、今日財政計畫デ最モ急ト致シマスルトコロハ、私ノ考ニ依レバ稅法ノ整理ト云フコトヨリ外ニナイノデアリマス、ソレ何故デアリマシタカフ、其稅ノ種類ヲ擇バズ、其稅ノ系統モ擇マズ、日本五千万ノ國民ハ此過重ノ負擔ニ甘シシツ、アツデアリマス、ソレ故ニ戰爭前ニ較ブレハ國民ノ負擔ハ全額ニ於テハ倍若クハ三倍ニナツテ居ル、又負擔ニ於テハ偏重偏輕ノ甚シキモノガアルノデアル、又租稅ノ系統ニ於テハ系統正シカラズ、甚ダ紊レニ紊レテ、終ノ如キモノガアルノデアリマス、然ルニ此度ノ豫算ハ、此度ノ稅法整理ト云フコトヨリ外ニナイノデアリマス、諸君御承知ノ通リナ甚ダ不満足ナル稅法整理ニアシメアル、内閣總理大臣ガ此席アシベラレメントコロノ言葉ハ如何ニモ立派デアツ、負擔ノ偏重偏輕ヲ矯メテ公平ヲ期スルノデアルト、誠ニ此御言葉ハ立派デアタガ、併シ此言葉ニ依シテ提出セラレタコロ

ノ彼ノ税法整理案ナルモノハ極メテ不満足ナルモノニアシテ、現ニ再調ヲ要スルト云フ意味ニ於テ、政府自ラ之ヲ撤回セネバナラヌト云フガ如キ憐レ至極ナルモノニアツタノデアリマス、拍手起ル)此ノ如ク、戰爭以後國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトガ、國家ノ最大急務アルノニ、其最大急務ニ對スルノ計畫ハ甚ダ不完全デ、單リ官吏ノ増俸ト云フモノハカリニ對シテ、政府ハ全力ヲ傾注シタルガ如キノ傾キガアルノデアリマス、ソレハ即チ三割ノ増俸ト云フノテ、千四百万以上ノ巨額ノ金ヲ是ニ入レルト云フコトデアルノアル、所ガ官吏ノ増俸——私ハ絶對的ニ之ハ批難ヲセナイガ、若シ我國ノ官吏ガ、歐米諸國ノ先進國ノ官吏ノ如クニ勤勉ニアツテ、一人デスル仕事ヲ一人デスル、餘所ノ二時間デスル仕事ヲ一時間デスルト云フ如ク、勤勉ニアツテ、サウシテ政府ノ此整理即チ人員減ナルモノガソレニ相當スル人員ノ減少ニアリマシタコトナレバ、吾ミハ此増俸全體ヲ認ムルノニモ躊躇フセヌノデアル、然ルニ此度ノ人員減ハ如何ニアリマスカ、先刻島田君カラ述ベラレマシタガ、大藏次官が豫算ノ分科會デ吾ミニ説明セラレタトコロヲ聽クト云フト、奏任以上ノ高等官ニ減セラレタ者ハ殆ド無イト言シテ宜イ、一人カ一人、而シテ判任官ハ三十何人ト云フノデアリマス、サウスルト云フト、此度ノ此人員減ハ單リ下級官吏ニ甚シクシテ、上級ノ官吏ニハ恰モ手ガ觸レナイト云フコトデアル、而シテ其手ヲ觸レナイ理由ハ如何ト質シテ見ルト、大藏次官曰ク、此整理ヲ若シ十分ニヤツタナラバ、ソレハイケルカハ知ラスケレドモ、今ノヤリ方デハ下級ノ判任官ハ減ズルコトハ出來ルガ、係長、課長其以上ノ者ハドウシテモ動スコトハ出來ナイ、ソレ故ニ已ムヲ得ス判任官ノ減少ニ止メタノデアル、トス様ナ答ニアリマシタ、政府苟モ行政整理ヲナシント欲スルナラバ、人員ヲ減シテ、サウシテ官吏ノ増俸ヲ行ハントスルナラバ、ナセ局課ノ廢合ラシナイノアル、ナゼ閑ノ官吏ハ高等官ノ兼任デ間ニ合セナイノアル、ワレマデヤルナラバ判任モ減ズルコトが出來ル、高等官モ減ズルコトが出來ルト云フ結果ヲ生ズルノデアル、然ルニ今度ノ整理ニ於テハ單り人數ノ減シタノが判任官ハカリアル、高等官ハ減シナイノアル、故ニ吾ミハ此人數ヲ減シテ多忙ナ仕事ヲ今迄十人デヤツタコトヲ八人デ引受ケルト云フ此判任官ニ對シテハ、増俸スルノ道理ガアルト云フコトヲ認メルノデアリマス、併ナガラ人員モ減ゼラレナイ、其働く所モ以前ノ通り、煙草ヲ吸ヒ、新聞ヲ讀ミ、遊シテ居ん餘地ノアル此高等官ニ對シテ——サウシテ此高等官ハ少ナクトモ千圓以上ノ給料ヲ取ツテ居ル者アル——千圓前後以上ノ給料ヲ取ツテ居ル者アル、諸君此日本ノ生活ノ程度ハ千圓以上ノ金ヲ取ツテ居ル者が、今日生活ニ窮迫フシテ、其位地ヲ保ツコトノ出來ナイト云フ窮状ニ陥ツテ居ルモノト御考ヘニナリマスルデアリマスカ(「ヒヤー」ト呼フ者アリ)私ハ左様ニ考ヘナイノアル、若シ是等ノ人ニ給料ヲ増スト云フナラバ、ソレハ増シ程宜イコトハナイ、ヨリ以上ノ生活ヲシ、ヨリ以上ノ衣服ヲ著ヨリ、以上ノ交際ヲル云フタメニハ必要デアルカモ知ラナイガ、現時ノ生活狀態、現時ノ位地ヲ維持スル者アリ)私ハ左様ニ考ヘナイノアル、若シ是等ノ人ニ給料ヲ増スト云フナラバ、ソレハ増シ程宜イコトハナイ、ヨリ以上ノ生活ヲシ、ヨリ以上ノ衣服ヲ著ヨリ、以上ノ交際ヲル云フタメニハ必要デアルカモ知ラナイガ、現時ノ生活狀態、現時ノ位地ヲ維持スル者アリ)私ハ左様ニ考ヘナイノアル、若シ是等ノ人ニ給料ヲ増スト云フナラバ、ソレハ増シ程宜イコトハナイ、ヨリ以上ノ生活ヲシ、ヨリ以上ノ衣服ヲ著ヨリ、以上ノ交際ヲル云フタメニハ必要デアルカモ知ラナイガ、現時ノ生活狀態、現時ノ位地ヲ維持スル者アリ)私ハ左様ニ考ヘナイノアル、若シ是等ノ人ニ給料ヲ増スト云フナラバ、ソレハ増シ程宜イコトハナイ、ヨリ以上ノ生活ヲシ、ヨリ以上ノ衣服ヲ著ヨリ、以上ノ交際ヲ

ニ好位地ナリト云フコドが出來ルト思フ、若シサウデナイト云フナラバ、割ノ惡ルイ仕事デアルト云フナラバ、此高等官等ハ續々自ラ辭職シテ逃出ス皆デアル、自分達ハ位地ヲ守ラナイデ、自由競争デ入りタイ者ヲ續々入レル皆デアル、然ルニ今日ハドウデアリマスカ、此官吏ノ關門——高等官ノ關門ニハ入ルベカラズト云フ制札ヲ立テ、即チ此任用令ヲ以テ制限シテ居ルト云フ有様デアリマセヌカ、而シテ此ノ如キ有様ニアツテ、サウシテ此無用ナル官吏ニハ増俸スルカ、諸君が同情ヲ表セラレテ居ルトコロノ、殊ニ生活上ニ苦シニ居リマストコロノ農民ノ稅ハ僅ニ八厘シカ減ジナイト云フノハ、抑々何事ニアリマスカ、此ノ如キコトデアリマシタコラバ、日本五千万ノ國民ハ極メテ不満足ヲ訴ヘルノデアラウ、其不満足ハ即チ政友會諸君ノ雙肩ニ落チザルヲ得ヌト私ハ斷言スルノデアリマス(「ヒヤー」ト呼フ者アリ)拍手起ル)而シテ尙吾ミノ主張ノ中ニハ、此種株ノ費用ガ豫算委員長ノ報告ヨリハヨリ多ク減シテ居ル、ソレカラ阿里山ノ經營ヲ止メルト云フコトデアリマスガ、是ハ先年來ノ議論モアリ、先刻島田君ヨリ委細陳述致サレマシタカラ、此事ニ付アハ茲ニ辯明スルコトヲ省クノデアリマス、唯一言申上グベキコトハ、本年ノ豫算ニ此頭ダケ出シテ、サウシテ十年モ二十年モ繼續事業費トナシテ居ルト云フトコロノモノハ豫算ノ形式上惡例デアルト云フノデ、政友會ノ諸君悉ク之ヲ先日マテ非難シタノデアルガ、吾ミハ此非難ハ尤モ至極トシテ今日モ尙之ヲ主張スルノデアリマスカラ、政友會ノ諸君ハ如何ナル事情ガアルカハ知ラナイガ、昨日迄ノ議論ハ今日モヤハリ御維持ニナツテ、サウシテ吾ミニ御贊成ニナルコトが然ルベキト考ヘルノデアリマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 木村省吾君

(木村省吾君登壇)

○木村省吾君 本員ハ同志ノ贊成ヲ得マシテ、豫算全部ニ付テ修正ノ意見ヲ議長ノ手許マテ提出致シマシタ(「大キナ聲ヲセヨ」ト呼フ者アリ)瑣末ナルコトニ至リマシテハ追々時間モ移リマスルシ、且空腹ニモナクテ參リマスカラ、極ク瑣末ナル點ハ省キマシテ、重要ナル點ニ付テ御話ヲシャライ思フ、其最モ重要ナル點ハ官吏増俸ヲ一割五分増シトセラレタルコト、地租ヲ四分七厘卽チ八厘減トセラレタコト、此ニ點ニアリマス、官吏ノ増俸ト云フコトニ付キマシテハ、委員會等ニ於キマシテモ、屢々政府ノ當局者ヨリ懇々御説明モゴザリマスシ、又吾ミモ其必要アリトハ認メテ居ルノデゴザイマスルケレドモ、事ニハ自ラ緩急ガアルノデゴザイマスカラ、官吏増俸ナルモノト、地租ノ輕減ナルモノトハ何レガ最モ急デアルカト云フ點ニ付キマシテハ、吾ミニ於テ慎重ナル考慮ヲ以テ研究ヲ致シタノデアリマス、官吏ノ一年ニ於ケルトコロノ利率ノ(「分シタ分フタ」ト呼フ者アリ)勘定ヲ以テ拘ラズ、農家ニ於ケルトコロノ一戸、即チ一家五口ト見積リマシテ、一年ニ得ルトコロノ收入ト云フモノハ僅三年額三十四圓、即チ一日九錢強三當ルノミテアリマス、是モ資本ニ該當スベキトコロノ土地其物ニ對スルトコロノ利率ノ(「分シタ分フタ」ト呼フ者アリ)勘定ヲ以テ算定ヲ致シタノデハゴザイマセヌ、若夫レ此資本ニ相當スルトコロノ利率、若クハ勞力ナルモノニ相當ナ賃銀ヲ見積リマシタナラバ、農家今日ノ經濟ト云フモノハ、盜人ニ追錢ト云フ勘定ニナルノデアリマス、故ニ吾ミハ官吏ノ増俸ハ今回行政整理ニ依ヅテ得タル金額ヲ以テ限度トシテ、行政整理ニ依ラザルトコロノ金額ハ乞ニ以テ地租輕減ノ一分ノ資ニ充テタイト云フノガ吾ミニ希望ニアリマス、幸ヒト申シテ宣シイカ、或ハ不幸ト申シ從事シテ居ル者ト、役人トヲ比較致シマスレバ、寧ロ日本ノ現狀ニ於テハ役人ノ方ガ遙

テ宜シカ、今回政府ト政友會トノ妥協ニ依リマシテ、地租ハ幸ニ八厘減ト云フコトニナリマシタノハ、吾ミハ丁度十ヲ望シテハヲ得タノアリマスカラ、聊満足スルトコロデアリマス、ケレドモ「満足シタラ宣イヂヤナイカ」ト呼フ者アリ）現内閣ノ政綱ノ一箇條タルトコロノ行政整理、及國民多年ノ要求ニ掛ルトコロノ稅制整理ノ問題ノ第一著トシテ提出セラレタルトコロノ所得稅法案及ヒ市街通行稅廢止法案ヲ犠牲ニ供シテマデモ、之ヲ以テ官吏増俸ノ資ニ充テラレタト云フコトハ、返スくモ遺憾ナ點テゴザイマス、吾ミ希望スルトコロノ官吏ノ増俸ハ行政整理ニ依シテ行フベシ、政府者ノ云ハルトコロニ依レバ、是以上行政整理ノ餘地ナシト云フコトヲ申サレマスケレドモ、民間ニ於ケルトコロノ營利會社ノソレノ如クニ致シマシタナラバ、是以上ニ於テ官吏増俸ノ資ニ充ツベキ十分ノ餘地アリト信ズルノアリマスカラ、願クハ滿場ノ諸君モ吾ミ意ノアルトコロヲ諒セラレマシテ、御贊同アランコトヲ望ミマス（拍手起ル）

○議長（長谷場純孝君） 田川大吉郎君

○田川大吉郎君 諸君、此場合ニ計數ノ御話ヲ申上ゲルコトハ、諸君ニ取テ御迷惑ノ事情デアルコトヲ萬々察シマスケレドモ、今日ノ問題ニ贊成反対ノ意向ヲ決シマスタメニハ、算數上ノ計算ガ其基礎ヲ爲サケレバナリマセヌ、從シテ私ハ茲ニ一一ノ計算ニ關スル意見ヲ諸君ノ前ニ述ベテ見タイ（「簡單ニ分ルヤウニ」ト呼フ者アリ）固ヨリ簡單……竹越君ハ私等同志ノ意見ヲ評シテ、若シ希望ノ如クニスレバ四千四百万以上ノ金ヲ輕減シナケレバナラヌガ、ソレニ對スル財源何處ニアリヤ、斯ウ云フコトヲ論難セラレタ、今年初メテ此議場ニ此聲ヲ聞クノミテハナイ、昨年ニ於テモ竹越君ヨリ此聲ヲ聞イタ、私ハ尊敬スル竹越君ガ豫算ノ現狀ニ迂闊デアルコトニ驚カガルヲ得ヌノアリマス、今年ノ豫算ハ三十九年、四十年、四十一年、四十一年三箇年ニ涉ル豫算ノ計數ヲ基礎トシテ、ソレニ多少ノ斟酌ヲ加ヘテ編成セラレテアル而シテ其三十九年ニハ租稅ノ收入、經常部ニ屬スル收入ガ豫算ニ超過致シマシタコトガ四千五百九十六万圓デアッタ、四十年ニ於キマシテ豫算ニ收入ノ超過致シマシタコトハ六千三十一万圓デアッタ、四十一年ニ於キマシテハ三千百七十八万圓ノ超過ヲ見タ、豫算ニ對スル實收入ノ超過デアリマス、此二箇年ヲ平均致シマスレバ、一年ノ超過實額ハ四千六百一万圓ノ多キニ達シテ居リマス、獨リ是ノミテハナイ、年々ノ歲計不用額ナルモノ、アルコトハ、豫算ヲ御覽ニナシツ、アル、若シ臨時部ノ豫算ノ收入ト、實際ノ收入トヲ對比致シマシテ、其間ニ於ケル歲計不用額ヲ精細ニ吟味致シマスレバ、二箇年ノ平均ニ於キマシテハ二千九百九十万圓デアル、四十一一年ニ於キマシテハ一千四百七十二万圓デアル、諸君此額ハ私ハ經常部ニ付テ申用額が二千六百三十八万圓デアル、四十年ニ於キマシテハ二千九百九十万圓デアル、六十八万圓ノ歲計不用額ヲ出シツ、アル、此不用額ト此四千六百一万圓ノ收入超過額トヲ加ヘマスレバ、約八千二百万圓ノ豫算ニ對スル剩餘金ヲ見ル譯アリマス、此剩餘金ノ中ニハ臨時部ノ收入ノ減ニ依テ差引カレベキトコロノモノガ三千六百万圓アリマス、本年私等ガ此豫算ニ修正ヲ加ヘヤウト希望致シテ居リマスノハ、先程島田君ノ

御話ニナリマシタ千三百餘万圓ノ外ニ、官吏ノ俸給ニ向シテ豫算ニ對シマシテ千百九十七万圓位ヲ削減シタイト、斯ウナシテ居リマスカラ、削減ノ希望額ノ總高ガ二千五百六十円ナナルノアリマス、私共ハ是タケノ額ヲ今日ノ豫算ニ向ツテ削減ヲ加ヘタイ、サウシテ今日ノ此豫算總收入ノ高四億八千九百万圓ナルモノハ、四十二年度ノ調定濟額ヲ基礎トシテ考ヘマスレバ、ドウシテモ一千萬圓内外ヲ内輪ニ見積ムテ居ルト云フコトヲ信セザルヲ得ナイ、サウ致シマスト其歲計ニ於テ餘シマストコロノモノハ前三箇年ノ平均マテ多クナリマセヌデモ、尙竹越君ノ御心配ナサレマストコロノ四千四百萬圓ノ額ヲ充タスニハ綽々トシテ餘裕ガアルノアリマス、私ハ此點ニ付テ竹越君ガ深ク考ヘラレンコトヲ望ム、モウ一ツノ點ヲ申シタイ、官吏ノ增俸問題ニアリマス、地租ノ八厘減、政友會ノ諸君ノ御盡力ニ依シテ此所ニ參リマシタコトハ私公平ニ之ヲ認メマス、併シ其八厘減ヲ得ルタメニ、多クノ犠牲ヲ拂ツタト云ハレタ武富君ノ言葉ニ相當ノ道理ノアルコトハ、私ハ此場合諸君ニ向シテ御承認ヲ求メタイ、其犠牲トシテ所得稅ノ撤回並通行稅ノ修正デ、政府之ヲ輕減スルノ意アッテ、今日政府ガソレヲ引込メテ居リマストコロノ金高ハ五百四十八万圓ニ上ルノアリマス、八厘減ニ依シテ四十三年度ニ得ルトコロノモノハ七百八十一萬圓デアル、七百八十一萬圓ヲ得ルガタメニ、吾ミガ五百四十八万圓ヲ犠牲ニ供シテ居ルノアリマス、從シテ四十三年度ニ於テ得ルトコロノモノハ二百三十三万圓デアリマス、此二百三十三万圓ナルモノハ、今日ノ田畠地租額合計ニ對シテハ八厘ニ當リマセヌ、僅ニ一厘八毛三朱ニ當リマス、且ツ增俸ノ一割五分ヲ認ムルコト云フコトハ、千二百三十九万圓ノ支出ヲ認ムルコトデアリマス、ソレダケノ負擔ヲ認ムルコトデアリマス、吾ミハ一面ニ於テ一百三十三万圓ヲ國民ノ肩カラ負擔ヲ減ラヌタメニ一面ニ於テハ官吏ノ增俸トシテ千二百三十万圓ノ負擔ヲ此場合ニ於テ引受ケント致シテ居ルノアリマス、二百二十万圓ヲ得テ千二百萬圓ヲ負ントスルコトハ、果シテ國民ノタメニ利カ將タ損カ、政友會ノ諸君ハ其算數ノ計ニ御惑ヒニナラヌ苦デアル、假ニ私ノ斯ク申シテ居リマス千二百萬圓ナルモノハ行政整理ノ分ヲ含シテ居ル、從シテ行政整理ノ分ニ屬シマスル五百八十万圓ヲ除去シテ、其殘リノ一割五分ノ增俸ナルモノハ七百三十二万圓ニ當リマス、此七百三十二万圓ヲ一方ノ代價トシテ、且ツ私ガ二百三十三万圓ノ地租ノ減ニ當ルト申シマスコトハ四十三年度ノ計算デアル、四十三年度ノ計算ヲ標準トシテ御話スルコトハ、諸君ニ向シテハ實ハ私ナガラ無理ト思シテ居ル、此金額ハ四十四年ニ於テ四百五十五万圓ニナルベキモノノアリマス、地租ノ減ハ四百五十五万圓ヲ得ルガタメニ増俸ヲ爲ス七百三十二万圓ヲ負ハントスル、斯様ニ比較シテ讓歩シテ考來リマシテモ、尙斯ウ云フ風ニ損得ノ差が明白ニナシテ參リマス、私ハ最早此上ヲ言フ必要ハナイ、是ダケノ計算、私ノ調査粗末ナリト雖モ、諸君ノ御心ニハ得失ノ差ニ、御感ヒニナラヌダケニ明瞭ニナシテ苦ト私ハ信ズル、要スルニ國民ノ未ダ安カラズ、官吏獨リ増俸ノ安キヲ貪ルベカラザルナリ、私ハ此見地ニ於テ諸君ノ反省ヲ求メル、其餘ノ各款項ニ對シマシテハ私ハ各條毎ニ立シテ意見ヲ述ベルノ機會ヲ與ヘラレンコトヲ此場合ニ於

御話ニナリマシタ千三百餘万圓ノ外ニ、官吏ノ俸給ニ向シテ豫算ニ對シマシテ千百九十七万圓位ヲ削減シタイト、斯ウナシテ居リマスカラ、削減ノ希望額ノ總高ガ二千五百六十円ナナルノアリマス、私共ハ是タケノ額ヲ今日ノ豫算ニ向ツテ削減ヲ加ヘタイ、サウシテ今日ノ此豫算總收入ノ高四億八千九百万圓ナルモノハ、四十二年度ノ調定濟額ヲ基礎トシテ考ヘマスレバ、ドウシテモ一千萬圓内外ヲ内輪ニ見積ムテ居ルト云フコトヲ信セザルヲ得ナイ、サウ致シマスト其歲計ニ於テ餘シマストコロノモノハ前三箇年ノ平均マテ多クナリマセヌデモ、尙竹越君ノ御心配ナサレマストコロノ四千四百萬圓ノ額ヲ充タスニハ綽々トシテ餘裕ガアルノアリマス、私ハ此點ニ付テ竹越君ガ深ク考ヘラレンコトヲ望ム、モウ一ツノ點ヲ申シタイ、官吏ノ增俸問題ニアリマス、地租ノ八厘減、政友會ノ諸君ノ御盡力ニ依シテ此所ニ參リマシタコトハ私公平ニ之ヲ認メマス、併シ其八厘減ヲ得ルタメニ、多クノ犠牲ヲ拂ツタト云ハレタ武富君ノ言葉ニ相當ノ道理ノアルコトハ、私ハ此場合諸君ニ向シテ御承認ヲ求メタイ、其犠牲トシテ所得稅ノ撤回並通行稅ノ修正デ、政府之ヲ輕減スルノ意アッテ、今日政府ガソレヲ引込メテ居リマストコロノ金高ハ五百四十八万圓ニ上ルノアリマス、八厘減ニ依シテ四十三年度ニ得ルトコロノモノハ七百八十一萬圓デアル、七百八十一萬圓ヲ得ルガタメニ、吾ミガ五百四十八万圓ヲ犠牲ニ供シテ居ルノアリマス、從シテ四十三年度ニ於テ得ルトコロノモノハ二百三十三万圓デアリマス、此二百三十三万圓ナルモノハ、今日ノ田畠地租額合計ニ對シテハ八厘ニ當リマセヌ、僅ニ一厘八毛三朱ニ當リマス、且ツ增俸ノ一割五分ヲ認ムルコト云フコトハ、千二百三十九万圓ノ支出ヲ認ムルコトデアリマス、ソレダケノ負擔ヲ認ムルコトデアリマス、吾ミハ一面ニ於テ一百三十三万圓ヲ國民ノ肩カラ負擔ヲ減ラヌタメニ一面ニ於テハ官吏ノ增俸トシテ千二百三十万圓ノ負擔ヲ此場合ニ於テ引受ケント致シテ居ルノアリマス、二百二十万圓ヲ得テ千二百萬圓ヲ負ントスルコトハ、果シテ國民ノタメニ利カ將タ損カ、政友會ノ諸君ハ其算數ノ計ニ御惑ヒニナラヌ苦デアル、假ニ私ノ斯ク申シテ居リマス千二百萬圓ナルモノハ行政整理ノ分ヲ含シテ居ル、從シテ行政整理ノ分ニ屬シマスル五百八十万圓ヲ除去シテ、其殘リノ一割五分ノ增俸ナルモノハ七百三十二万圓ニ當リマス、此七百三十二万圓ヲ一方ノ代價トシテ、且ツ私ガ二百三十三万圓ノ地租ノ減ニ當ルト申シマスコトハ四十三年度ノ計算デアル、四十三年度ノ計算ヲ標準トシテ御話スルコトハ、諸君ニ向シテハ實ハ私ナガラ無理ト思シテ居ル、此金額ハ四十四年ニ於テ四百五十五万圓ニナルベキモノノアリマス、地租ノ減ハ四百五十五万圓ヲ得ルガタメニ増俸ヲ爲ス七百三十二万圓ヲ負ハントスル、斯様ニ比較シテ讓歩シテ考來リマシテモ、尙斯ウ云フ風ニ損得ノ差が明白ニナシテ參リマス、私ハ最早此上ヲ言フ必要ハナイ、是ダケノ計算、私ノ調査粗末ナリト雖モ、諸君ノ御心ニハ得失ノ差ニ、御感ヒニナラヌダケニ明瞭ニナシテ苦ト私ハ信ズル、要スルニ國民ノ未ダ安カラズ、官吏獨リ増俸ノ安キヲ貪ルベカラザルナリ、私ハ此見地ニ於テ諸君ノ反省ヲ求メル、其餘ノ各款項ニ對シマシテハ私ハ各條毎ニ立シテ意見ヲ述ベルノ機會ヲ與ヘラレンコトヲ此場合ニ於

○議長（長谷場純孝君） 井上角五郎君

〔井上角五郎君登壇〕

○井上角五郎君 諸君、本問題ニ就キマシテハソレ、賛否ノ議論ガゴザイマシタ、殊ニ不幸幾度カ御相手ラスルトコロノ島田君、加藤君ニ對シテ、又此度モ御相手ラシナケレバナリマセス、其御相手ラスル前ニ當リテデス、是等兩君ノ立場ガ果シテ何レニアルカト云フコトが分ラナイ、是等兩君ハ目的ガ現内閣ヲ攻メルノアルカ、其目的が唯我政友會ヲ嫉妬半分ニ苛メテ見ルノアルカ（拍手起）凡ソ此演壇ニ立ツ者ハ其立場ヲ極メナケレバナラヌ（「國民ノ敵ヲ攻メルノダ」ト呼フ者アリ）此立場ノ點ニ至シテハ、私ハ尙殘念ナガラ内閣總理大臣桂侯爵亦立場ヲ失シテ居ルト云フコトヲ申上ゲル、ナゼデアルカ此處デ豫算委員長ガ報告ヲシタキニ、起シテ桂侯爵ハ如何ニ言ハレタ、唯今委員長ノ報告シタノハ政府が修正シャウト思ツタ通リテアルカラ同意致シマス、政府各大臣が揃イ、其トニハソレ、立派な人が居シテデス、免ニ角今日ノ時勢ヲハ給料モ上ゲタ方ガ宜カラウト思フ程ノ立派ノ人ガ揃テ居リナガラ（拍手起）修正シャウト思フダナラ、早く修正シテ出シテデス、徒ニ吾ミヲ騒ガセヌテモ宜カッタ、凡ソ此處ニ立ツ人ハ政府ニ於テモ政黨ニ於テモ、立場ヲ極メテ貴ヒタイ、併シ桂侯爵ノ其言葉ハ給料モ上ゲタ方ガ宜來餘リ演説ガ御上手デナイカラ……（笑聲起）私ハ專ラ島田君ニ向シテデス、加藤君ニ向シテデス、一言試ミタ、專ラ此兩君ニ向シテ試ミタ、其次ニ私ガ平生尊敬シテ居木村省吾君ノ御演説ガゴザイマシタ、私ハ是ヲ省イテ論シナイ方ガ宜カラウト思フ、（笑聲起）其次ニ私ハツイ此演壇ニ呼バレルトキニ名ヲ聞漏シマシタが、御姓名ヲ知ラヌ御方が此前ニ演説セラレマシタ、（無禮ノコトヲ言フナ」ト呼フ者アリ）其數字ハ能ク聽取リマシタが、是ハモウ少シ外ノ處デ御演説ナサシタ方ガ宜カラウ、免ニ角豫算委員五十幾人居ル處デハサウ云フ數字ハ御詰ニラヌが、御姓名ヲ知ラヌ御方ガシムレバ吾ニ政友會ノ執ルトコロノ議論トテス、唯其進ミ方ノ度が強イト弱イノ達ヒデアラウト思フ（「君ノ方が弱イダラウ」「無論程度問題タ」ト呼フ者アリ）其程理由デアル（「妥協モ立場」ト呼フ者アリ）諸君、島田君ハ熱心ニ此行政整理ノヤリ方ガ悪ルト云フ差ニ過ギナイデアラウト思フ、サウシテ見レバデス、何故ニ其兩君ガ專ラ吾ミニ向シテ論ズルガ如ク議論ヲスルカト云フコトガ、私ノ兩君ノ立場が如何ニモ分ラヌト云フ理由デアル（「妥協モ立場」ト呼フ者アリ）諸君、島田君ハ熱心ニ此行政整理ノヤリ方ガ悪ルト云フ此主義ハ、唯公債ヲ返スコト、ソレヲ以テ萬能ナリト考ヘル、此主義ハ善クナイト云フコトヲ牒シト論セラレタ、私ハ或程度ニ於テ之ニ同意ヲ表スル、サウシテ考ヘテ見レベデス、此兩君ガ何ガ故ニ吾ニ政友會ヲ敵ノ如クニ論ズルコトガ出來得ルカデヤ、吾ミハ兩君ヲ左程攻メル必要ハナシ、攻メヤウト思ハナシ（「攻メルコトガ出来マ」、「アヤマシタラ宜カラウ」ト呼フ者アリ）諸君、唯加藤君デモ又島田君デモ官吏ノ増俸ハ悪ルイ、元來官吏ト云フモノニ増俸ヲスル必要ハナイト言ハレル、此點ニ付ア又吾ミハ餘程ノ度合マテ兩君ニ御同意ナノダ（「論旨ハ君ノ願ノ如シ」「黙レ」ト呼フ者アリ）諸君、今日日本ニ於キマシテ凡ソ會社ニ從事シ、若クハ諸君ノ如ク議員ト言フテ居リ、又政府ノ役

人トナリマシテ給料ヲ取ル者ニハデス、相當ニ體面ヲ保ツテカラニ相當ノ衣服ヲ著ケテ、サウシテ給料ヲ取テ居る者ハ、ドノ階級ニ於キマシテモ、役人トシテモ民間ノ者トシテモ、決シテ給料ガ高イトハ言ヘナシ、言ヘナシ中ニモデス、今日ノ役人ノ給料ト云フモノハ割合ニマダ廉イト云フコトハ是ハドウシテモ認メナケレバナラヌ、島田君ハ西南ノトキニハ官吏が斯様ナコトモシタ、日清戰爭ノ前ニ當シテハ官吏ハ斯様ナコトモシタト言ハレルガ、今日ノ官吏ニハデス、ソレダケノコトヲスル餘裕ハナシ、官吏ノ給料ハドウカト言ヘバ低イケレモ、併シ一面ニデス、吾ミガ戰爭當時ニ於キマシテ、所謂非常特別稅、非常特別稅ト稱シア種々ナ税ヲ課セラレ、凡ソ其當時思シタ取リ得ルダケノモノハ取り居ルナト思フリニ官吏ノ給料ヲ增シマセス、サウシテ尙（「幾ラ減シタ」ト呼フ者アリ）其官吏ノ給料ヲ程ノ税ヲ課セラレテ居ル、吾ミノ其税ヲ其儘ニシテ置イテ官吏ノ給料ヲ増ス程、ソレ程ニマダ官吏ノ給料ガ廉クハナシ、此處が即チ私共ガヤハリ加藤君、島田君ト同感ヲ懷イテ居ル理由ナシダ（「ヒヤー」「ト呼フ者アリ）ソレデスカラ、今回ノ委員會ハ政府ノ要求通り官吏ノ權衡ヲ得テ貴ヒタイ、成ルベク下級ノ者ヲ手厚クシテ貴ヒタイ、斯ウ云フ條件ヲ附ケタ、此點ニシテハ加藤君モ島田君モ此委員會ノ條件ニハ必ず同意ヲ表セラル、政府ノ要求通り増サズシテ、更ニ委員會ハソレニ一つノ條件ヲ附ケタ其條件ハ成ルベク文武官吏ノ權衡ヲ得テ貴ヒタイ、成ルベク下級ノ者ヲ手厚クシテ貴ヒタイ、斯ウ云フ條件能ク御調バナラバ、丁度行政整理ヲシテタメニ得タト稱スルトコロノ金ガ、上ノ役人ノ增加ニ當シタ位デ、特ニ豫算ノ上カラ金ヲ割イテ官吏増俸ニ用井タル金ト云フモノハ、下級ノ兵卒警察官は是ノ増給ニ過ギナカタト云フコトヲ諸君が認メナケレバナラヌノデアラウト思フ、サウシテ政府ノ要求ヲ減シテカラニ、實際増シタコロノ金ト云フモノヲアル（拍手起）下級ノ兵卒ノ給料ヲ増スト云フコトハ宣イカ惡ルイカ、是ハ私ガ言フヨリモデヤ、加藤君、島田君既ニソレヲ論セラル、以上ハ言フガモノモナカラウ、此外警察官ノ如キ、是三類スルモノハ免ニ角、増シテヤラナケレバナラヌト云フノハ今日ノ場合デアル、ソレ約合シテ上ノ方モ幾ラカ増スト云フ、其上ヲ増斯塔ケ行政整理得タモノヲ以テ増ス、其下ノダケハ一般ノ幸ニ餘ルトコロノ今年ノ金ヲ出サウト云フノガ、是ガ今日ノ官吏増俸ニアシテ、吾ミガ賛成ジタル増俸ハ、斯様ナモノデアルトスレバ島田君ガ——加藤君が頗リニ此官吏増俸ヲ非難セラル、ノハ、政府ノ如ク地租ヲ減ラサウト言ハズ、稅制整理ト稱シテ何ヤラ中途ニマダ取調ガ十分デナイカラ、一度撤回シマスト言ハナケレバナラヌヤウナ整理案ヲ出シテ、其實官吏増俸ヲ專ラトンシテ居タ政府ニ向シテコソ、加藤君大キナ聲テ御賛メニナルモ宣イケレモ、吾ミハ斯様ナ手段ヲ取シテ然ル上ニ島田君ガ言フガ如ク官吏ノ増俸ヨリハ租稅ヲ高クシムノヲ、廉クシナケレバナラヌト云ウテ、其租稅ニ向シテ先づ輕減ヲ努メ、サテ何ラ先キニスベキカ、今日誰モ彼モ云フ年豐ニシテ尙民間ニ菜色アリト言シテ居ル、此農民ノ困難ヲ救フコソ租稅整理ノ第一ノ手段デアル君島田君ノ云フトヨノ度合ト違ヒマスクケレモ、ソレノノアルト云フノガ、取リモ直サズ地租輕減ニ吾ミガ力ヲ用井タノハソレナシテアル、斯様ニシテ官吏ノ増俸ハ或ル程度マテ削リ、其他各種ノソレ、節減ヲ圖シテ、其節減ノ度合ハ成程、加藤ノカ、サウシテハナシ先づ其急ナルモノヲ先キニシテ、地租ノ輕減ニ置イタノガ是ガ我黨ノ方トコロノモノハ、先づ重キラ地租ノ輕減ニ置キ、地租ヲ輕減シタラ其他ノコトハ一切ヤラヌ

針テアル、此時ニ當リマシテ政府が我黨ニ向シテ——吾ニ向テ交渉ヲ試ミ、所謂安協ヲ試ミ、此妥協其モノヲ吾ニハ決シテコソソリヤフタ譯デハナイ、隱スガモノハナイ、其時ノ事ノ前ニハ祕密ニアツタケレドモ、事ノ後ニ於テハ公ケナル仕事デアル、諸君政黨ガ政府ガ、ソレノ相當ノ案ヲ出シテ議會ニ持テ來、議會ハソレノ相當ノ委員ヲ設ケテ之ヲ調査シ議論シ、説明ヲ聽キ又論ヲナシテ、政府ハ政府ヲ要スルグケノ議案ヲ出シ、説明ヲナシ、議會ハソレニ對シテ又ソレダケノ議論ヲ用ヒテ議熱スルニ當リテ、徒ニ論争スルヨリハ、試ニ打解ケテ話ヲシテ見ルト云フコトガ、是ガ何故ニ憲法政治ノ下ニイケナノアルカ(議會ハ會社ニアラズ)「炭礦會社トハ違フゾ」(ト呼フ者アリ)何故ニ是ガ憲法政治ノ上ニ於テイケナイト言フカ、サウレテ其時ニ極タ其物ガ、其儘法律ニナルノヤナノ、其儘規則ニナルノヤナノ、又再ビ議會ニ出テ立派ニ之ヲ極メル餘地ハアル、凡ソ事ヲ平和ニ進メルト云フコトガ第一ノ今日ノ場合デアツテ、即チ此ノ如クシテ吾ミノ意見ハ恰モ政府ノ容ル、トコロトナツテ、從ツテ桂侯爵自ラ間違ツタ、實ハ吾ニハ斯様ニ改正スル積リテアツタ云フガ如ク、遂ハニ至ルマテ政府が吾ニノ説ヲ容レタニ過ギナイノヤル(議場騒然)諸君徒ラニ喧嘩スル勿レ、諸君、要スルニテス、貴族院ト衆議院ト争日、政府ト議會ト争ラシテ居ツテ、此急ナル地租輕減モテス、一年二年三年ノ後ニスセヨリハ、憲法政治何ノ矣協ヲ不可セザル以上ハ、是ニ依テ平和ノ中ニ農民ノ窮ラ教フコソ、加藤君、島田君ノ言フ民力休養グラウト思ヒマス、最早時間モ過ギマシタシ、茲ニ繰キノ辯ヲ費ス必要ハナイト思ヒマスカラ、是ダケ申シテ置キマス

(討論終結)「賛成々々」(ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 佐々木安五郎君

(佐々木安五郎君登壇)

○佐々木安五郎君 諸君、私ハ臺灣臨時部第七款ノ理賃費ノコトニ關シテ修正案ヲ蘭長ノ手許マテ出シテ置キマシス、其案ノ朗讀ハ省略致シマシテ、直ニ大趣意ヲ申シマスレバ、臺灣ノ理賃費がニ三百六萬圓程計上シテアル、是ガ五箇年繼續テ一千五百三十萬圓ニナル、所がソレヲ割ハ三百六萬圓ト云フモノハ百八十八万一千四百九十九圓ト云フモノニ修正出シテ、爾シテ五箇年ノ理賃、云フモノハ認メズ、斯ウ云フコトニ致シタイ

ト云フアトコロノ修正案ヲ提出シテノアリマス、修正ノ理由ヲ申述ベマスレバ(「宜シイ分ヲ分ツタ」ト呼フ者アリ)其臺灣ノ治臺ノ方針ト云フコトニ付テハ、昨年私が質問ヲ提出致シマシタ、然ルニ政府ハ此治臺ノ大體ノ方針ト云フコトニ付テ、目的物トスルトコロノ生蕃ガ自滅スル人種アルカ、増殖スル人種アルカト云フコトスマヨ尙研究中テアツテ、分ラヌト云フコトアル、其目的が既ニ分ラヌト云フコトコロノセノニ向クテ、幾ラ金ヲ費シテ之ヲ整理シヤウシテモ出來ルモノテハナイト考ヘル、ソニテ此臺灣ノ生蕃ト云フ

モノヲ治メルト云フコトガ、其五箇年ノ間ニ治メナケレバナラナイト云フコロノ最モ急ナルコロノ必要ト云フモノハドコニアルカト云フニ、決シテ最モ急ナルトコロノ必要ヲ認ムル

コトハ出來テイノテアル(「生蕃」ト呼フ者アリ)ソコテ幸ニ此處ニ來テ居ラル、トコロノ、義キノ民政長官ニアリシトコロノ後藤新平閣下、唯今ハ遞信大臣トシテサウシテ内閣ノ一員ニ列シテ、此處ニ來テゴザイマスガ、領臺此方十有餘年、今日ニ至ルマテ尙此理賃策ノ大方針ト云フモノハ確立シテ居ナリ、今日唯今ニナツテ初メテ此理賃ノ費用ト云フ

モノヲ請求スルト云フコトハ、如何ナル緩漫ナルコトデアルカ、如何ナル手綱キコトデアルカト云フコトヲ吾輩ハ不思議ニ思フノアル、然ルニ此費用ト云フモノハ今申シマスル通り、幾ラ掛ルカト云フニ五箇年繼續テ一千五百二十万、ソレニ持テ來テ此阿里山ノ經營費ト云フモノガ五百九十万圓アル、此五百九十万圓ト云フモノト五箇年繼續ノ一千五百三千万圓トヲ合セマスルト云フト殆ド一千萬圓ト云フトコロノ費用ヲ理賃ノタメニ費サナケレバナラヌコトニナシテ居ルガ、此理賃ノ方針ノ番人ナルモノハ如何ナルモノデアルカ、増殖スルモノカ自滅スルモノカト云フコトストラモ自カラ知ラザルトコロノ政府ニ向シテ、此ノ如キ多大ナル費用ヲ拠ツト云フコトハ甚ダ以テ輕率テアルト云フコトヲ吾輩ハ信ジテ居ル、之ヲ修正シタイモノデアルト云フ意見ヲ提出シタエレアル

○議長(長谷場純孝君) 長晴登君

討論終局ノ動議ヲ提出致シマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 楽算全部ニ付テ討論終結ニスルノデアリマスカ

○長晴登君 楽算全部ニ對シテ討論終局ノ動議ヲ提出致シマス、而シテ合セテ此問題ハ既ニ議論ハ盡キテ居ルカラ一括シテ御採決アランコトヲ希望致シマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 既ニ討論終結が出て、定規ノ賛成者ガアル以上ハ、之ニ依テ採決ヲ致シマス、討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 既ニ討論終結が出て、定規ノ賛成者ガアル以上ハ、之ニ依テ採決ヲ致シマス、討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、豫算全體ニ付テ總テ討論ハ終

結致シマシタ、是カラ採決ノコトヲ御詰リ致シマス、即チ長君ノ發議ハ議事日程ノ第十九、明治四十三年度歲入歲出總豫算案ヨリ日程ノ二十二特第二號明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案マテヲ一括シテ議題トシ、採決スルト云フ動議デアラウト思ヒマスガ、果シテサウデアリマスカ

○長晴登君 サウテス

(「高木正年君」各省ニ付テ修正案が出テ居ルノハドウシマス」ト呼フ)

○議長(長谷場純孝君) 先づ静ニ御聞下サイ反對ノアル場合ハ後トテ御唱ヘニナレバ宜シウゴザイマス、今ノ長君ノ動議ノヤウニ決シマシタガ、先刻討論ニナシタ修正ノ動議ガ成立シテ居リマスカラ、先ア之ニ付テ採決ヲ致シマス

(「高木正年君」討論ニ漏レテ居ルモノガアリマス」ト呼フ)

○議長(長谷場純孝君) 討論ハ終決致シマシタ、而シテ此修正ノ動議ヲ先キニ採決致シマス

(「高木正年君」總體論ノ討論ヲ閉デルナラ宜シ」「黙レ」「向フヲ見テ言ヘ」ト

呼フ者アリ)(「高木正年君」豫算議定ノ體ヲ爲サナイ」ト呼フ)

○議長(長谷場純孝君) 先づ島田君ノ修正案カラ採決致シマス、是ハ一々數字ヲ讀上ゲマスレバナカク、面倒テアリマスカラ、此修正案ニ付テ採決ヲ致シテ若シ此修正案ガ多數テ成立致シマシタナラバ、之ニ依テ豫算ヲ修正スレバ宜シトイ思ヒマスカラ、島

用案トシテ大體ニ付テ採決ヲ致シマス、島田君ノ修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒ一止法律案島田三郎君外五名提出第一讀會、讀案ノ朗讀ハ省略シマス、島田三郎君マス

○議長(長谷場純孝君) 少數、次ニ木村君ノ修正案ニ付テ採決致シマス、木村君ノ修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、次ニ大石君外數名即チ加藤政之助君ノ説明サレタ案ニ付テ採決致シマス

〔ト部喜太郎君「人ニ依テ修正說ガ幾ツモ出テ居ル、ソレヲ其人ノ案ニ依ッテ……」ト呼フ〕

○議長(長谷場純孝君) 此案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔分ナテ居ル分ナテ居ル「ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 此案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、ソレカラ佐々木安五郎君ノ案ニ付テ採決ヲ致シマス、佐々木君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、何レモ定規ノ賛成ヲ得テ提出サレテアルトコロノ豫算ニ對スル修正案ハ少數ニ依ッテ消滅致シマシタ(「當然ナリ」ト呼フ者アリ)即チ各省所管ニ付テ細カナ修正ハ通告ハアリマスケレドモ、他ニ案ヲ具ヘテ修正動議ヲ提出シテアルノハナイノアリマス(「採決ニ及ハズ」委員長報告通り「ト呼フ者アリ」ソレデ前ニ御諮詢致シマシテ如ク、日程ノ第十九ヨリ第二十二マデ總テ一括シテ委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ……

〔異議アリ異議アリ「ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 異議ガアル以上ハ採決ヲ致シマス、委員長報告ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者

多數

○議長(長谷場純孝君) 多數

〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 歳入ニ於テ政府ノ同意ヲ經ベキモノハ政府ニ交渉致シマシタ、政府ハ直ニ同意ヲ表サレマシタ、因テ是ニテ豫算全部確定致シマシタ

〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ御諧リヲ致シマス、日程ノ第二十四ヨリ第二十七

テハ提出者ヨリ撤回シタイト云フ請求ガアリマス

〔尤ダ「ト呼フ者アリ拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 是ハ許可スルコトニ決シマス、日程ノ二十八鹽專賣法廢

本法ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

(島田三郎君登壇)

鹽專賣法ハ之ヲ廢止ス
附則
(提出)

第一十八 鹽專賣法廢止法律案
島田三郎君外五名 第一讀會

○島田三郎君 本員ハ大切ナル讀案ガ數多クアマ後ニ於テ諸君ニ再ヒ此案ニ付ア審議ヲ請フト云フコトハ、甚ダ諸君ノタメニ不便デアルト心得マシテ、サウシテ或ル便宜ノタメニ之ヲ延期シテ次ノ本會議ニ附スモ可ナリト思ウテ居リマシタガ、併ナガラ政友會ノ諸君ノ御勉勵ナル——大切ナル案ハ今日ニシテ終ルノカ宜カラウト思ヒマスノデ、斯様ナ政友會諸君ノ御勉勵ニ應シテ此壇ニ立ヅテ今日此案ヲ結了スルコトニナックノニアリマスカラ、此ノ如キ手續ニテ本員ヲシテ之ヲ此ニ讀セシムルノアリマスカラ、政友會諸君ハ少ナクトモ本員が如何ナル時間ヲ此案ニ費シテ御聽キニナルベキ義務ガアルト私ハ思フノアリマス(拍手起ル)此ノ如ク禮儀ヲ盡シテ之ヲ延期スルモ尙可ナリト云フタノアリマスガ、政友會諸君ハ、是非之ヲ議スルト云フ誠ニ國事ニ勤勉ナル諸君ノ精神ニ感シテ、是ヨリ本員モ亦云ハント欲スルトコロヲ悉ク言フテ諸君ノ勤勉ニ報ヒナケレバナラヌ(拍手起ル)此鹽專賣法ニ付テハ當初設立ノ際ヨリ本員ハ反對ヲ續ケテ本年行ハレザレバ必ズ之ヲ廢止スルニ至ルマテ毎期毎ニ必ズ此案ヲ提出スル決心デアリマス、要スルニ一昨年來ヨリハ昨年ニ於テ此案ニ同意ヲ表スル人數ヲ殖ヤシ、本年ハ又更ニ此案ニ付テ議員諸君ノ個人ニ於テハ同情ヲ表セラレ其數ヲ増シテ居ルノアリマスガ、スルト結局此案ノ可否ト云フコトニ決スルノアリマスカラ、幸ニ此機會ヲ利用シテ先刻越君が吾ニ同志ノ提出シタルトコロノ讀案ハ假令可ナルモ財源ヲ如何セン、財源ナクシテ討議スルハ空論ニアリト云ハヌハカリニ申サレマシタガ、本員モ此機會ヲ利用シテ先づ以テ豫算書音カ節約ヲ加ヘントシタルトコロノ理由ヲ説明スルノ義務ガアルト思フ、竹越君ハ誤ミテ吾ミノ主張シタルト云ハレシタ故ニ、其誤リノ結果終ニ鹽專賣法廢止モ赤字之ハ云フベクシテ行フベカラズト云フ誤レル結論ニ至ランコトヲ恐レテ、其誤ヲ劈頭第一ニ訂シテ置クノアリマス、吾ミノ豫算ニ對シテ主張シタルトコロノモノハ、官吏増俸ノ總額ニ對シテ下士卒ニ増額ヲシ、サウシテ能ク之ニ(「ソレハモウ濟シ」ト呼フ者アリ拍手起ル議場騒然)諸君ノ靜マルマテ太員ハ待テ居リマスカラユックリ御騒ギニナルガ宜シイ、本員ハ議長ヨリ與ヘラレタル此特權ヲ握テ諸君ノ御騒ギニナル間ハ此演壇ヲ占領シテ居リマス、本員ノ豫算ニ對シテ削減ヲ加ヘントシタルトコロノモノハ、官吏増俸ノ額ヲ除イテ一千三百七十七万圓總計一千五百六十七万圓ナシタ、此コトが行ハルレバ吾ミノ主張スルトコロノモノモ行ハレルノアルガ、併ナカラ此コト既ニ豫算ノ上ニ於テ吾ミノ主張ガ破レタル以上ハ鹽專賣法廢止が行ハルヤ否ヤか問題デアル、所ガ吾ミノ主張スル本論ハ豫算ハ破レタリト雖モ尙之ヲ實行シ得ベシト云フコトヲ確信ス

ルモノデアリマスカラ、是ヨリ其理由ヲ諸君ニ訴ヘテ、併セテ全國良民ノ良心ニ訴ヘルノハ此機會が適當ナリト考ヘテ居ルノデアリマス、鹽專賣不良ナルコトハ當初ヨリ識者ハ認メテ居タノデアリマス、併ナガラ之ヲ政府ハ強テ行フテ而シテ戰時國民ノ政府ニ同情ヲ表示スル時代ニ於テ、此過レル法案ヲ提出シテ終ニ法律ト爲サシメタト云フコトハ、害ヲ後年ニ貽シテ今日ニ至ルマデ尙國民ノ苦痛ヲ増加セシメツ、アルノデアリマス、其事タルヤ幸カ不幸カ昨年鹽ノ大ナル豐作ニ依テ歷然ト現ハレタノデアリマス、昨年ハ旱魃ガ續イタガタメニ米ノ豐熟デアツト同時ニ、鹽ハ前年ニ無キトコロノ專賣法ノ行ハレテ以來比類ナキトコロノ豐作デアツガタメニ、此不條理ナル法律ノ結果政府ハ自ラ其主義ヲ破ラケレバナラストコロノ窮境ニ陥ラト云フコトハ新タニ出テタルトコロノ事實デアリマス、昨年本員が此壇ニ登ツテ鹽專賣ノ非ヲ鳴ラシタ、其外ニ改メテ昨年ノ鹽ノ豐作ニ依テ此法律ノ愈々不便不利ナリト云フコトが確認セラル、ニ至ラクノハ、專賣法ノ廢止ニ近付クトコロノ第一步デアルト本員ハ確信スルノデアリマス、是が相當ナル理由デアツ就レノ場合ニ於テモ鹽專賣ノ不可ナルヲ論ズルニ當ツテ其事實ヲ提ゲテ諸君ニ訴ヘントコロノ好材料デアルト思ヒマス、本年出シタルトコロノ鹽專賣三關スルトコロノ法律ハドウデアルカ、鹽專賣ニ付テハ鹽田整理法ト云フモノガ、唯今委員ノ審査中ニナツテ居リマスガ、此審査中ニカヽツテ居ルトコロノ法律案ハ二百三十箇町村ノ鹽田ヲ禁止シテ、サウシテ是三賠償金ヲ與ヘテ内地ノ鹽ノ過剰ヲ防グト云フコトガ、此法律ノ趣意アリマス、斯様ニシテ政府ハ内地ノ鹽ヲ強イテ禁シナケレバ餘リ鹽が出來過ギテ、政府ハ專賣法ノ結果出來タルモノハ定タル價ヲ買上げナケレバナラスト云フ、義務ヲ負ウテ居リマスカラ、政府ハ多クノ鹽ヲ今日貯ヘテ眞ノ國庫ノ收入ハ貨幣ヲ以テ豫算通り得ルコトが出來ナインデ、其物品ヲ貯ヘテ其物品ノ時ト共ニ減リツ、アルト云フコトハ、政府モ、大ニ困難ヲ感ズルトコロノ大原因ニナツテ居ルノデアリマス、政府ノ望ニテ居リマスルトコロノモノハ凡ソ内地ニ於テ九億七八千万斤ノ鹽が出來テ、臺灣關東ヨリハ凡ソ五六千万斤ノ鹽ガ入ジテ、サウシテ英吉利、獨逸ヨリ凡ソ四千五百万斤ノ鹽が入レバ是ハ政府ノ註文通り專賣局ハ先ダ萬歲ヲ唱ヘテ宜シイ計算アリマスガ、氣候ニ依リ天候ニ依リテ其額ノ變ズル鹽ニ於テハ必ず專賣局ノ理想ノ如キ額ヲ得ルコトハ出來ナイ、昨年ハ内地ニ於テ凡ソ十億二三千萬斤ノ鹽が出來タ、サウシテ其以前ニハ此ノ如キ鹽ノ出來ルノヲ專賣局ハ勿論豫期スルコトハ出來ナカッタ故ニ、滿韓製鹽會社カラ凡ソ二千万斤位ノモノヲ買入ル、ト云フコトデ確約ハセザルモノ凡ソ推定シテ彼モ之ヲ理解シ、吾モ亦之ヲ理解シテ是ダケノ鹽ヲ買入ル、コトニナツテ居ル、圖ラザリキ米ノ能ク出來タノト同シ原因ニ依ツテ内地ノ鹽が非常ニ能ク出來タノデアルカラ、此過剩ノタメニ本年一月十日ノ調ニ依ルト云フト、政府ハ一億九千万斤ノ鹽ヲ庫ノ中ニ貯ヘテ居ルノデアリマス、昨年一月十日ノ調ニ依ルト云フト、政府ハ一億三千万斤政府ハ貯ヘテ居タ、是ダケ貯ヘテ居ノモ專賣局が收入ノ目的ノタメニ計畫サレタノデアルガ、本年一月十日ト昨年一月十日トラ比シテ六千万斤餘計ノ鹽ヲ持テ居ル、此ノ如キ結果ニナツテ果シテ如何ナル影響買入ル、ト云フコトデ確約ハセザルモノ凡ソ推定シテ彼モ之ヲ理解シ、吾モ亦之ヲ理解シテ是ダケノ鹽ヲ買入ル、コトニナツテ居ル、圖ラザリキ米ノ能ク出來タノト同シ原因ニ依ツテ内地ノ鹽が非常ニ能ク出來タノデアルカラ、此過剩ノタメニ本年一月十日ノ調ニ依ルト云フト、政府ハ一億九千万斤ノ鹽ヲ庫ノ中ニ貯ヘテ居ルノデアリマス、昨年一月十日ノ調ニ依ルト云フト、政府ハ一億三千万斤政府ハ貯ヘテ居タ、是ダケ貯ヘテ居ノモ專賣局が收入ノ目的ノタメニ計畫サレタノデアルガ、本年一月十日ト昨年一月十日トラ比シテ六千万斤餘計ノ鹽ヲ持テ居ル、此ノ如キ結果ニナツテ果シテ如何ナル影響

ニ換算致シマスルト、ドレ程ノ金ニナルカト云フコトが第一收入ヲ目的トシテ、專賣法ヲ維持シテ居ルトコロノ誠ニ矛盾ナル結果ト言ハナケレバナラヌ、一億九千万斤ヲ假ニ五大鹽ト致シマシテ買上費用ヲ一圓ト假定シテ見マスルト此金概略百九十万圓サウシテ專賣收入率ヲ之ニ加ヘマスルト百斤ニ付テ約ソ一圓四十八錢、此計數二百八十一萬圓、此買上費即チ賠償費ト竝ニ專賣收入率ト合セテ四百七十八万圓ノ物品ヲ貯藏シテ居ルノデアリマス、之ヲ若モ商賣人ノ計算ニ立テ、見マスレバ、之ヲ貨幣ニ換算シテ之ヲ純收入ト見ルコトが出來ナイ、如何トナレバ鹽ハ貯ヘテ置ケバ、ソレダケ減リノ立ツモノニアテ、決シテ之ヲ純收入ノ貨幣ト同一ニ見ルコトハ出來ナイ、政府ガ鹽專賣ニ依ツテ得ルトコロノ増額ハ一千万餘圓デアリミシテサウシテ、物品ヲ貯ヘテ居ルトコロノ一日ヲ經レバ經ルニ從ツテ減リノ立チマスル物品、四百七十一万圓ヲ倉ノ中ニ貯ヘテ居ルト云フニ至リマシテハ、專賣局大ニ痛苦ヲ感ゼザルヲ得ヌノデアリマス、之が昨年ヨリ今年ニ至ツテ專賣ノタメニ拂ハレタトコロノ國家ノ痛苦ハ此處ニアルノデ、吾々ハ暫ク專賣局ノ官吏ニ身ヲ換ヘテ國民ノ痛苦ヲ直接ニ感ゼザル位置ニ立ツテ見マシテモ、純收入一千六十五万ノ中デ物品ニナツテ日々減リマストコロノモノデ、倉ノ内ニ四百七十一万圓貯ヘテ居ルニ至ツテハ、專賣局大ニ何トカ趣向ヲ變ヘテ此痛苦ヲ減ズル前途ノ計畫ヲ立ネバナラスト云フノガ、即チ唯今本件委員ノ審査ニ掛ツテ居リマストコロノ十州鹽田以前ノ鹽田ヲ禁止シテ、サウシテ内地ノ製鹽ヲ制限スルト云フ此止ムヲ得ザル鹽田禁止法ヲ作リマシテ、之ニ對シテ二百幾万圓ト云フトコロノ償ヒフ出ス、是が鹽專賣ニ依ツテ今日マデ吾々ノ豫定シタル通り現ハレタルトコロノ困難デアリマス、殆ド半分程ト云フモノハ純收入ト見ルコトが出來ナインデアリマス、サウシテ是が如何ナル結果ヲ總テノモノニ與ヘテ居ルカト云ヘバ、先ダ第一ニ吾々ハ政府ノ希望ハ孰レニアルヤト問ハナケレバナラヌノハ收入ノ爲メカ、抑モ内地ノ鹽ヲ作ラネバ國民ノ生活ノ上ニ不便ヲ感ズルが故ニ不利ナリト雖モ強テ之ヲ保護シテ成立タシメルト云フ保護主義カ如何ト問ハナケレバナラヌ、若シ保護主義ト云フコトデアルガ、十州鹽田以外ノ鹽業ヲ禁止シテハ、國民ニ安キ鹽ヲ供給スルコトが出來テ必ズシモ陶汰ニ委シテ、我邦ノ純然タル版圖ニ出來マスル臺灣ノ鹽ヲ入レテ直接ニ吾々ノ希望スルガ如ク專賣ハ廢止スル能ハザルトモ、亦之ニ高キ收入率ヲ掛ケテサウシテ租稅トシテ此安キトコロノ鹽ヲ内ヘ入レマシタラバ、國民ニ安キ鹽ヲ供給スルコトが出來テ必ズシモ成立タシテ吾々モ亦廉キ鹽ヲ得ルコトハ結構ノコトデアル、又關東或ハ朝鮮ヲ開クガタニ考フベキトコロニアテ、臺灣ヲ開キマスニモ、關東ヲ開キマスニモ、或ハ朝鮮ヲ開キマスニモ、我邦ノ資本ヲ純然タル我版圖ノ臺灣ニ下ロシテ、サウシテ其利益アル鹽ヲ彼ニ成立タシテ吾々モ亦廉キ鹽ヲ得ルコトハ結構ノコトデアル、又關東或ハ朝鮮ヲ開クガタニ適當ナル、地ニ鹽田ヲ成立セシメテ之ヲ我國民ノ事業トシ、我經營セラル、ナラバ我勢力範圍ニ於テ何ダ憂フルニ足ラヌ、若シ外國鹽トノ競争ニ對シテ是等ノ鹽ヲ成立タシメタト云フコトデアルナラバ、海關稅ノ作用ヲ以テ獨逸或ハ英吉利ノ山鹽ヲ制限ス

ルモ亦可ナリト吾々ハ此點ニ於テ外國鹽ヲ制限ヲシテ關東鹽賣三朝鮮鹽賣ニ臺灣鹽ノ望ムモ亦之ニ於テ調和仕難キニアラズト考ヘルノデアル、一方ニハ朝鮮ノ業ヲ勧メルト云フガタメニ、東洋拓殖會社ヲ興シテ朝鮮ヲ開カントシ、或ハ關東ニ產業ヲ成立タシメンガタメニ、之ヨロクノ勸業ヲ獎メ、臺灣ニモ亦砂糖ノ成立ヲ望ムがタメニ過大ナル保護ヲ與バ、何故ニ我ガ純然タル版圖ノ鹽ヲ制限シ、又我ガ勢力範圍ノ鹽ヲ制限シテ強イテ我國民ニ高キトコロノ鹽ヲ與ヘントスルノハ何故デアル、茲ニ於テ殆ド解ス可カラザル矛盾デアル（「何時マデヤルノダ」ト呼フ者アリ發言スルモノ多シ）諸君が騒グナラバ靜マルマ本員ハ待テ居リマス、斯様ナケリ竊ニナシテ、此專賣法ト云フモノハ矛盾ノ上ニ維持セラレ居ルノデアルガ、政府ハ何故ニ此ノ如キ苦シキ位置ニ立チナガラ尙專賣法ヲ維持スルヤト云ヘバ、殆ド其根據ハナイノアリマスカラ、吾々ハ此ノ如ク不都合ナル此ノ如ク專賣法ヲ成立タシメテ居ラテ、サウシテ農家ハ疲弊セリ人民ノ生活困難セリト云ヒツ、強イテ價ヲ國民ニ供給シテ、サウシテ農家ハ疲弊セリ人民ノ生活困難セリト云ヒツ、強イテ生活ニ必要ナル鹽ヲ供給シテ居ルカト云フコトヲ怪シムノアリマスカラ、假ニ之府ノ收入ヲ考ヘテ見タナラバ實ニ驚クベキトコロノ事實ガ茲ニアルノアリマス、政府ノ總收入ハ一千五百五十九万圓、サウシテ之ニ賠償金ヲ拂ヒ雜費ヲ拂ヒテ官吏ノ給料ヲ拂ヒテ、サウシテ眞ノ收益ト政府が立テ居リマスノハ一千六十五万圓アリマス、假ニ之ヲ十一億万斤ト致シマシテ、百斤ニ對シテ、政府が賠償金一圓ヲ拂ヒマスルト此内ヨリ一千五百圓ヲ引去シテ、殘ルトコロガ三百九十四万圓ト云フモノハ全ク雜費ノ爲ニ費ヘルノアリマスカラ、千万圓ノ收益ヲ得ガタメニ三百九十四万圓ノ無駄ナ費用ヲ費ストカラ、此粗稅が惡稅ニアラズシテ何ゾヤ（拍手起ル）此專賣法が惡法ニアラズシテ何ゾヤト、本員ハ斷言ヲ下スノアリマス、更ニ前ニ遡テ言ヒマスルト、此一千万圓ノ乍ラカウ物品を以テ四百万圓ヲ引去リマスルト、政府ノ純收入ハ五百五十万圓バカリニアルノアリマスカラ、五百五十万圓ノ收入ヲ得ンガタヌニ、三百九十四万圓ノ雜費ヲ拂ケルト考ク此ノ如キ不法ノ專賣ト云フモノヲ依然トシテ成立タシムルト云フコトハ、粗稅ノ面目賣賣ノ面目ニ對シテモ唯驚クノ外ハナイト本員ハ思フノデアル、サウシテ一般ノ生活ニ如何ナル苦痛ヲ與ヘルカト言ヒマスレバ、無論我國民ノ全體ノ生活費ヲ高メタ上ニ更ニ我海國ノ營業ヲ害スルノアル、我海國ノ漁業ヲ害スルノアリマシテ、例ヘ北海道、權太邊ニ出稼ヲ致シマスル者ハ斯様ナル海業ノタメニ特殊ノ廉ケレバ、權太ニ到ルトコロノ漁業がドレ程ノ鹽ヲ要スルカト云ヒマスレバ、鹽價が廉ケレバ漁業ニ愈益利益がアル、鹽價が高ケレバ開クベキ此沿岸ノ漁業ト云フモノハ妨害ヲ受ルノアリマスカラ、之ガタメニ自然ニ受クベキトコロノ帝國ノ產業ト云フモノハ妨害セラルノミナラズ、此手續ノ煩雜ヲ避ケシガタメニ追ガニ海ノ上ノ事業アリマスルカラ、外

國ノ船ヨリ直接我漁民が鹽ヲ買入レテ是亦七八千斤位ニ至ルト云フコトハ公然ノ祕密デアリマス、知ラザルモノハ唯帝國ノ政府ノミ、知ゾテ尙如何トモスル能ハザル位置ニ立テ居ルノハ我國民ノ最モ遺憾トスルトコロニアツテ、專賣局モ此點ニ於テハ必ス深ク遺憾ニ感ズルトコロニアツテアリマス（拍手起ル）是ハ事實デアリマス、此事實ヲ知ゾテ、一面ニハ租稅ヲ免レテ斯様ナル鹽ヲ海外テ買入レルト云フコトハ誠ニ忌ムヘキコトデアルガ、一面ニ於テハ此ノ如キ法律ノ結果、我善良ナル漁民ヲシテ勢ヒ密買ノ已ムヲ得ザルニ至ラシタリト云フコトハ法律ノ弊害が國民取テ誠ニ憐ムベキ窮地ニ立ツモ寶ヲ知ゾテ、一面ニハ租稅ヲ免レテ斯様ナル鹽ヲ海外テ買入レルト云フコトハ誠ニ忌ムヘキコトデアルガ、一面ニ於テハ此ノ如キ法律ノ結果、我善良ナル漁民ヲシテ勢ヒ密買ノナルニ同情ヲ表サナケレハナラヌノアリマス（拍手起ル）而シテ元來鹽ト國民ノ生活ヲ考ヘテ見マスレバ、列國孰レモ鹽ヲ多ク使フ國民ハ必ズ其文明ノ高イ國民デアル、列國ノ中テ英國ガ一番多ク鹽ヲ使ウノハ何故デアル、凡ソ國民ノ平生生活ニ使フ鹽ハ定マッタル分量ガアリマスルカラ、左様ニ多ク使フモノアリカラ、英國民が列國中ニ於テ一番一人宛ニ於テ多クノ鹽ヲ費ヤスト云フノハ當然デアルト思フノアリマス、例ヘバ布ヲ洒ス業モ、石鹼ヲ造ル業モ、鑽物ヲ分析スル業モ、牧畜ノヤウナ牛皮保存ノタメニモ皆鹽ハ必要ナ原料デアル、是等ノモノハ我農商務省が大ニ勧メテ我國ニ成立タシメントシテ勉勵シテ居ルトコロノモノデアル、ソレニモ拘ラズ、鹽價ヲ高メルト云フコトハ一般國民が生活ノタメニ鹽ヲ買フハカリテハナイ、將ニ起ラントシテ國民が渴望シテ居ルトコロノ我海國ノ漁業ヤ是ガタメニ妨ケラレ、化學ノ製造ノ原料が高イタメニ是ノ業モ妨ケラレサウシテ遂ニ北海道ノ方面ニ於テ密賣ヲ盛シ行ハシムルニ至ラ居ルノハ現在專賣法ノ弊害アリマスルカラ、一年之ヲ成立セシムレバ其弊害ヤ一年存續スルノデ、其密賣ヤ竝ニ國民ノ被ルトコロノ此不便ト云フモノハ年ト共ニ長ズルノアリマス、私ハ國民ノ利益ノタメニ久シク此事ヲ唱ヘマスケレドモ、專賣局ハ未ダ己レニ痛ミヲ感ゼザルカラ冷然トシテ居ラタノデアルケレドモ、昨年鹽が貴ク出來タガタメニ遂ニ内地ノ鹽ヲ制限スルノ已ムヲ得ザルニ至テ今年法律案ヲ提出セラレタノアリマス、サウシテ滿韓地方ノ鹽業者ハ如何ナル痛苦ヲ感シテ居ルカト云ヒマスルト云フト、昨年二千万斤ハ定メテ買入レテ吳レルノアラウト思ウテ造ツタニ、内地ノ鹽が溢レテ政府が之ヲ買フノニ苦シムノデアルカラ、滿韓ヨリ買入レタトコロノモノハ確カ百九十万斤ダト承テ居リマス、滿韓鹽業會社ノ困難ハ是ヨリ來ツタ世ノ中ニ傳ヘラレテ居ルノハ恐ラク事實デアラウト本員ハ推測スルノデアル、然ラハ滿韓方面ニ業ヲ營マントスル者モ、臺灣ニ鹽田ヲ開カントスル者モ、總テ專賣法ノタメニ產業ノ不安ヲ感シテ居ルト云フノハ今日ノ有様アリマス、何レノ方面カラ論ジトモスルコトが出來ナイコトハ正ニ論ノ外ニ置キマス、併ナガラ我千島北海道ノ全部、ワレカラ權太ニ到ルトコロノ漁業がドレ程ノ鹽ヲ要スルカト云ヒマスレバ、鹽價が廉ケレバ、我法律ノ達セザル範圍内ニ於テ此ノ如キ便利ヲ開クト云フノハ專賣局モ亦如何ト云フ慣習が年々ニ殖ヘテ來ルノアリマス、本員ノ承ハリマスルトコロニ依リマスルト云フト、露領或ハ亞米利加領、是等ノ沿岸ニ出稼スルモノハ勿論純然タル外國鹽ヲ用ヰテ我内地ノ鹽業ニ依頼セヌハ當リ前デアル、之ハ外國ノ領分ニ於テ漁業ヲ致シマスルルト云フ箇條ハアリマスルケレドモ、手續ノ煩雜ナルヲ憂ヘテ外國鹽ヲ以テ其不便ヲ除クト云フ慣習が年々ニ殖ヘテ來ルノアリマス、本員ノ承ハリマスルトコロニ依リマスルト云フトモスルコトが出來ナイコトハ正ニ論ノ外ニ置キマス、併ナガラ我千島北海道ノ全部、ワレカラ權太ニ到ルトコロノ漁業がドレ程ノ鹽ヲ要スルカト云ヒマスレバ、鹽價が廉ケレバ、我法律ノ達セザル範圍内ニ於テ此ノ如キ便利ヲ開クト云フノハ專賣局モ亦如何ト云フ慣習が年々ニ殖ヘテ來ルノアリマス、本員ノ承ハリマスルトコロニ依リマスルト云フトモスルコトが出來ナイコトハ正ニ論ノ外ニ置キマス、併ナガラ我千島北海道ノ全部、ワレカラ權太ニ到ルトコロノ漁業がドレ程ノ鹽ヲ要スルカト云ヒマスレバ、鹽價が廉ケレバ、我棉花生產地ハ大ニ反對ヲシタノデアル、サウシテ臺灣ノ砂糖ガ盛ニナルニ至テハ四ルノミナラズ、此手續ノ煩雜ヲ避ケシガタメニ追ガニ海ノ上ノ事業アリマスルカラ、外國ノ砂糖園ノ人々ハ之ヲ憂ヘタノデアリマスルガ、今日ニ至ツテハ却テ河内方面ノ棉

花生産地へ紡績等ノ發達三依シテ變シテ桑畑トナリ、或ハ麥畑トナリ、豫ア曾テ棉花ヲ利用シテ發達シツ、アリシトコロノ此紡績ト並ニ織物ニ依シテ新ラシキ產業ノ利益ヲ得テ、外國棉花ガ裕ニ我國ニ入ルノヲ喜シテ迎ヘツ、アルト云フノガ今日ノ實際アルナラバ、斯様ナル賠償金ヲ出シテ強イテ政府ガ鹽田ヲ禁ズル損害責任ヲ執ランヨリモ、寧ロ如何ニシテモ廢サヌハナラヌ永遠ノ運命ヲ豫見シタバ、斷然此場合廢止シテ外國鹽ハ海關稅ノ作用ニ依シテ之ヲ止メ、裕カナ滿韓鹽ニ之ヲ依頼シ、或ハ十州鹽田ノ中相當ナル利益アルトコロノ天然ノ食キ鹽田ハ其間ニ存在セシメテ、誠ニ政府ニ勞モナク國民モ安

シテ穩當ナル改正デアルト本員ハ確信シテ居リマス、若モ之ヲ不可ナリトセバ、政府が臺灣ノ砂糖ヲ保護シテ其砂糖ヲ自由ニ内地ニ入レテ、四國或ハ九州ノ砂糖ノ園田ヲ枯サシメツ、之ニ價ハナイノハ何故デアルカト反問シナケレバナラス、臺灣ノ精糖ハ可ナリ、臺灣ノ鹽業ハ不可ナリト云フコトハ論理ノ許スベカラガルトコロノ矛盾アリマス、サウスルト詰リツマシテ僅ニ殘ルトコロノモノハ政府ノ算定ノ如ク一千萬圓ノ收入ヲ如何セント云フコトニ論が歸著スルノデアリマスガ、細カク言ヒマスルト、純收入ハ一千萬圓ハナイノア或ハ物品ヲ鹽價ニ積シテ之ヲ算定シテ、之ニ減リガ立ツト云フヤウナ事、竝ニ雜費ノ多イコトヲ引去シテ見マスレバ、國民ノ拂フトコロノ一千五百万圓ハ政府が眞ニ得ルトコロノモノハ七百万圓位ノモノアリト推定シテ居ル、餘リ間違タル算法ナイト本員ハ信ズル

ノテアル、然ラバ前ニ加ヘタルトコロノ修正ノ金ヲ以テ之ヲ廢スルモ亦可ナリデゴザイマス、此修正意見ガ豫算ノ上ニ於テ破レタル以上ハ、他ニ之ヲ以テ之ヲ補フト云フコトハ、丁度前ニ井上角五郎君ハ田川大吉郎君ノ計算ハ聞クニ足ラスト之ヲ論議ノ外ニ措カレマシタケレドモ、若シ一年決算委員ニナラテ彼ノ現計ト決算表ヲ細カニ讀マレマシタバ、年々過剩金ガドレ程アル、是ハ吾ミガ剩餘金ト云フ中三籠ニ居ル縁越金、繼續費ヘ與ヘトコロノ剩餘金ヲ指スニアラズシテ、眞ニ豫算ヨリ超過シタルトコロノ收入ノ三箇年平均ガ一千五百万圓、時ニハ三千万圓ヲ算スルモ又可ナリト云フノデアリマス、更ニ決算ノ上ニ現ハレ現計書ノ上ニ現ハレテ居ルトコロノ政府ノ參考書ト引合セテ見マスレバ、不^レ用ニ歸スル金ガ是又平均二千万圓、千五百万圓ト云フモノガ一度決算委員ノ中ニ誠シタケレドモ、若シ一年決算委員ニナラテ彼ノ現計ト決算表ヲ細カニ讀マレマシタバ、

レル歳出ヲ御協議ニナツノデアリマス、此場合ニ於テ此鹽專賣法ヲ廢止シテ千万以上ノ財源ヲ滅ズルト云フコトハ、是ハ財政ノ基礎ヲ不羣國ニナスコトデアリマスカラ、政府ハ之ニ同意スルコトハ出來ヌノデアリマス否ヲ論ズルノ要ナシ、又島田君ノ言葉ヲ藉リテ言ヘバ、之ハ愚ナル討論ヲナスノ必要ハアリマセヌカラ、討論終結ノ動議ヲ提出シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

(拍手起ル)

○ト部喜太郎君 議長——議長

○議長(長谷場純孝君) 討論終結ノ動議ガアリマス

○ト部喜太郎君 討論終結ハ宜シイガ、本件ハ重大ノ案件デアリマスカラ、二十七名ノ特別委員ニ附託スルノ議ヲ提出致シマス、討論ハ終結ニナリマシタケレドモ、委員ニ附託スルコトハマダ何ニモナイ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 討論終結ノ動議ハ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 討論ハ終結致シマシタ、之ハ重大ナル問題デアルカラ、二十七名ノ委員ニ附託スルト云フ說が出テ贊成者ガアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數

○恆松隆慶君 一讀會ヲ開クベカラズ

○議長(長谷場純孝君) 二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採決致シマス、二讀會ヲ開クベカラズト云フニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數、本案ハ二讀會ヲ開クベカラズト云フコトニ決定ヲ致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、今日ハ

午後八時四十五分散會

○政府委員(若槻禮次郎君) 明治四十三年度ノ總豫算ハ先程本院ヲ通過致シマス、此豫算ニ依リテ依然トシテ專賣法ノ廢止ヲ望ミ、更ニ其收入ニ於テハ豫算ト決算ト比較シテ、其差額ヲ以テ之ヲ補フダケノ勇氣が此議會ニアリマスレバ、誠ニ容易イモノアルト云フモノハ誠ニ手ニ唾シテ得ラル、トコロノモノデアリテ、トハ吾ミノ確信スルトコロデアリマスカラ、其一部ヲ割イテ此專賣法ヲ斷然廢スルト云フコトニナリマスレバ、收額ノ填補ト云フモノハ誠ニ手ニ唾シテ得ラル、トコロノモノデアリテ、トハ吾ミノ確信スルトコロデナイト云フコトヲ本員ハ確信ヲスルガ故ニ、豫算破レタリト雖トモ此ノ如キ堅實ナル理由ニ依テ依然トシテ專賣法ノ廢止ヲ望ミ、更ニ其收入ニ於テハ豫算ト決算ト比較シテ、其差額ヲ以テ之ヲ補フダケノ勇氣が此議會ニアリマスレバ、誠ニ

斯ヤウナ愚ナル法律ヲ長キ間存立セシメタト云フコトヲ、諸君が御悟リニナルノハ遠キコトニアラズト本員ハ確信致シマス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 明治四十三年度ノ總豫算ハ先程本院ヲ通過致シマス、此豫算ニ依リテ依然トシテ專賣法ノ廢止ヲ望ミ、更ニ其收入ニ於テハ豫算ト決算ト比較シテ、其差額ヲ以テ之ヲ補フダケノ勇氣が此議會ニアリマスレバ、誠ニ

